

平成 23 年度（2011 年度）

大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

平成 24 年 2 月



平成 23 年度（2011 年度）
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書
＜ 目 次 ＞

＜ I ・ 調査方法及び回収状況等 ＞

- 1. 調査概要…………… 1
- 2. 注意事項…………… 1
- 3. 回収状況…………… 3
- 4. 表記区分…………… 4

＜ II ・ 調査結果及びその概要 ＞

- 1. 学校全体の学生数…………… 5
- 2. 障害学生数…………… 6
 - (1) 課程別
 - (2) 障害種別・学校種別
 - (3) 障害種別・学科（専攻）別
 - ア 大学
 - イ 短期大学（部）
 - ウ 高等専門学校
 - (4) 身体障害と発達障害の重複について（障害種別）
- 3. 障害学生在籍学校数…………… 12
 - (1) 障害種別・学校種別
 - (2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別
- 4. 支援障害学生数…………… 15
 - (1) 課程別
 - (2) 障害種別・学校種別
 - (3) 障害種別・学科（専攻）別
 - ア 大学
 - イ 短期大学（部）
 - ウ 高等専門学校
 - (4) 身体障害と発達障害の重複について（障害種別）
- 5. 支援障害学生在籍学校数…………… 22
 - (1) 障害種別・学校種別
 - (2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別
- 6. 授業に関する支援の実施状況…………… 25
 - (1) 障害種別・学校種別
 - (2) 授業支援内容別・障害種別
 - ア 総表
 - イ 大学
 - ウ 短期大学（部）
 - エ 高等専門学校
 - (3) 障害種別詳細
 - ア 視覚障害
 - イ 聴覚・言語障害
 - ウ 肢体不自由
 - エ 病弱・虚弱
 - オ 発達障害

7. 障害学生支援に関わる研修・啓発活動実施状況	37
(1) 学校種別・障害学生在籍者数別・支援障害学生在籍者数別	
(2) 学校種別・内容別	
8. 入学時に障害を理由とする特別な措置を行なった入学者数等	40
(1) 課程別	
(2) 障害種別・学校種別	
(3) 入試要項等への障害のある者に対する配慮に関する記載状況	
9. 障害学生の卒業後の進路	43
進路状況（学校種別・障害種別）	
10. 発達障害学生支援状況（一部再掲）	44
(1) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数（学校種別）	
(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数（学科（専攻）別）	
(3) 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数（学校種別）	
(4) 発達障害のある学生への支援（支援内容）	
(5) 発達障害を理由とする特別措置（学校種別）	
(6) 発達障害学生の卒業後の進路状況（学校種別）	
<調査票>	
調査の手引.....	51
調査票（大学・大学院用）.....	63
調査票（短期大学（部）用）.....	75
調査票（高等専門学校用）.....	85

< I ・ 調査方法及び回収状況等 >

1. 調査概要

- (1) 目的：障害のある学生（以下「障害学生」という）の今後の修学支援に関する方策を検討する上で、全国の大学、短期大学及び高等専門学校（以下「学校」という）における障害学生の状況及びその支援状況について把握し、障害学生の修学支援の充実に資する。
- (2) 対象：大学（大学院、大学院大学及び専攻科を含む。以下同じ）、短期大学（部）（大学内に短期大学部を有している場合を含む。専攻科を含む。以下同じ）、高等専門学校（専攻科を含む。以下同じ）
- (3) 調査方法：悉皆調査
各学校が独立行政法人日本学生支援機構のホームページより調査票をダウンロード。回答を記入後、メール添付にて提出する。
- (4) 調査期日：平成 23 年 5 月 1 日現在

2. 注意事項

- (1) 本調査における「障害学生数」は、以下の説明により回答を得た数値である。
- ①身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳を有している学生又は健康診断等において障害があることが明らかになった学生（重複する場合は実数）
- ②障害学生の障害種別の内訳区分については、以下の注釈を付記した。
- 【視覚障害】
盲……視覚による教育が不可能又は著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用しての教育が必要な程度
弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要な程度
- 【聴覚・言語障害】
聾……両耳の聴力損失 60 デシベル以上、又は補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能、又は著しく困難な程度
難聴……両耳の聴力損失 60 デシベル未満、又は補聴器を使用すれば通常の話声を解することが可能な程度
言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害（構音障害、音声障害、流暢性の障害、言語発達遅滞、口蓋裂）
- 【肢体不自由】
上肢機能障害……腕、手、指および各関節に関する機能障害
下肢機能障害……脚、足指および各関節に関する機能障害
上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害
他の機能障害……体幹（胴体）に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害および運動の障害

【病弱・虚弱】

以下のいずれかに該当している者

○心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者

○身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者

※上記は、「学校教育法施行令 障害の程度」及び「身体障害者障害程度等級表」または「小児慢性特定疾患」に該当する者を指す。これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。

【重複】

以下の通り、障害が重複している者

○2つの身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱

○3つ以上の身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

○身体障害と発達障害との重複について

平成22年度より、身体障害と発達障害の重複している学生数についても調査を開始した。基本的には該当する身体障害種の項に計上し、「発達障害（診断書有）」及び「重複」には計上していない。

【発達障害（診断書有）】

発達障害に関する医師の診断書がある者

LD：学習障害

ADHD：注意欠陥／多動性障害

高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群

発達障害の重複：上記の3つのいずれかが重複している者

【その他（診断書有）】

視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複及び発達障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者。又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者

※知的障害、精神障害、精神疾患等はこの区分に計上する。

※その他（内訳）を計上する表では、具体的な障害名を記入（例：統合失調症、パニック障害、高次脳機能障害等）する。

- (2) 「障害学生数」には含めないが、社会情勢を鑑み、以下の定義により発達障害（診断書無・配慮有）の学生について回答を得た。

【発達障害（診断書無・配慮有）】

発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援（教育上の配慮等）を行なっている者

※何らかの支援（教育上の配慮等）とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものは含まない。

LD：学習障害

ADHD：注意欠陥／多動性障害

高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群

(3) 調査対象には、研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生は含まない。

(4) 表中の（ ）内は、平成 22 年度の調査結果の数値である。

(5) 「支援障害学生」とは、学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている（今年度中の支援予定を含む）障害学生

支援例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障、学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援等

(6) 学科（専攻）の分類は、平成 23 年度学校基本調査の手引の「学科系統分類表」による。

(7) 表中の比率（％）については、四捨五入の都合で内訳の和と合計の値が合わない場合がある。

3. 回収状況

回収率は 100.0%。学校種別は以下のとおり。

表 1

区 分		対象校数 (校)	回答校数 (校)	回収率 (%)
大学	国立	86 (86)	86 (86)	100.0 (100.0)
	公立	87 (90)	87 (90)	100.0 (100.0)
	私立	603 (599)	603 (599)	100.0 (100.0)
	小計	776 (775)	776 (775)	100.0 (100.0)
短期大学 (部)	国立	— (—)	— (—)	— (—)
	公立	22 (24)	22 (24)	100.0 (100.0)
	私立	351 (363)	351 (363)	100.0 (100.0)
	小計	373 (387)	373 (387)	100.0 (100.0)
高等専門 学校	国立	51 (51)	51 (51)	100.0 (100.0)
	公立	3 (4)	3 (4)	100.0 (100.0)
	私立	3 (3)	3 (3)	100.0 (100.0)
	小計	57 (58)	57 (58)	100.0 (100.0)
計		1,206 (1,220)	1,206 (1,220)	100.0 (100.0)

4. 表記区分

(1) 課程別

表 2

学校種別	課程別	区 分
大 学	学部(通学)	学部生<通学制>
	学部(通信)	学部生<通信制>
	大学院(通学)	大学院生<通学制>
	大学院(通信)	大学院生<通信制>
	専攻科	専攻科生
短期大学(部)	学科(通学)	学科生<通学制>
	学科(通信)	学科生<通信制>
	専攻科	専攻科生
高等専門学校	学科(通学)	学科生
	専攻科	専攻科生

(2) 学校種別

表 3

学校種別	区 分
大 学	大学(大学院、大学院大学及び専攻科を含む)
短期大学(部)	短期大学(部)(大学内に短期大学部を有している場合を含む。専攻科を含む)
高等専門学校	高等専門学校(専攻科を含む)

(3) 障害種別

表 4

障害種別	区 分
視覚障害	盲、弱視
聴覚・言語障害	聾、難聴、言語障害のみ
肢体不自由	上肢機能障害、下肢機能障害、上下肢機能障害、他の機能障害
病弱・虚弱	病弱・虚弱
重複	重複
発達障害 (診断書有)	LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症等 (アスペルガー症候群を含む)、発達障害の重複
その他	上記に該当しない障害
発達障害(診断書 無・配慮有)	LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症等 (アスペルガー症候群を含む)

< II・調査結果及びその概要 >

1. 学校全体の学生数

表5 学校全体の学生数

区 分		通学 (人)	通信 (人)	大学院 (通学) (人)	大学院 (通信) (人)	専攻科 (人)	計 (人)
大 学	国立	450,749 (450,944)	0 (0)	157,956 (156,933)	0 (0)	299 (372)	609,004 (608,249)
	公立	124,517 (124,120)	0 (0)	16,598 (16,457)	0 (0)	45 (53)	141,160 (140,630)
	私立	1,988,661 (1,977,871)	179,982 (186,447)	92,531 (94,683)	3,603 (3,478)	1,690 (687)	2,266,467 (2,263,166)
	小計	2,563,927 (2,552,935)	179,982 (186,447)	267,085 (268,073)	3,603 (3,478)	2,034 (1,112)	3,016,631 (3,012,045)
短期大学 (部)	国立	—	—	—	—	—	—
	公立	8,147 (8,720)	—	—	—	250 (263)	8,397 (8,983)
	私立	136,819 (141,078)	11,768 (17,024)	—	—	2,703 (3,086)	151,290 (161,188)
	小計	144,966 (149,798)	11,768 (17,024)	—	—	2,953 (3,349)	159,687 (170,171)
高等 専門学校	国立	49,960 (50,142)	—	—	—	3,373 (3,359)	53,333 (53,501)
	公立	3,782 (3,772)	—	—	—	220 (175)	4,002 (3,947)
	私立	1,874 (1,859)	—	—	—	48 (44)	1,922 (1,903)
	小計	55,616 (55,773)	—	—	—	3,641 (3,578)	59,257 (59,351)
計		2,764,509 (2,758,506)	191,750 (203,471)	267,085 (268,073)	3,603 (3,478)	8,628 (8,039)	3,235,575 (3,241,567)

2. 障害学生数

(1) 課程別

< 概要 >

障害学生の総数は10,236人(前年度8,810人)で、障害学生在籍率(=障害学生数÷学生数×100(%))は、0.32%(同0.27%)であった。

< 結果 >

表6 障害学生数 [課程別]

区 分		障害学生数 (人)		学生数 (人)		障害学生 在籍率※1 (%)	
大学	学部(通学)	7,502	(6,507)	2,563,927	(2,552,935)	0.29	(0.25)
	学部(通信)	1,300	(1,084)	179,982	(186,447)	0.72	(0.58)
	大学院(通学)	563	(535)	267,085	(268,073)	0.21	(0.20)
	大学院(通信)	37	(19)	3,603	(3,478)	1.03	(0.55)
	専攻科	2	(4)	2,034	(1,112)	0.10	(0.36)
	小計	9,404	(8,149)	3,016,631	(3,012,045)	0.31	(0.27)
短期 大学 (部)	学科(通学)	463	(354)	144,966	(149,798)	0.32	(0.24)
	学科(通信)	11	(7)	11,768	(17,024)	0.09	(0.04)
	専攻科	11	(10)	2,953	(3,349)	0.37	(0.30)
	小計	485	(371)	159,687	(170,171)	0.30	(0.22)
高等 専門 学校	本科(通学)	328	(274)	55,616	(55,773)	0.59	(0.49)
	専攻科	19	(16)	3,641	(3,578)	0.52	(0.45)
	小計	347	(290)	59,257	(59,351)	0.59	(0.49)
計		10,236	(8,810)	3,235,575	(3,241,567)	0.32	(0.27)

※1 障害学生在籍率：障害学生数÷学生数×100(%)

(2) 障害種別・学校種別

< 概要 >

障害学生10,236人の障害種別内訳は、「視覚障害」681人（前年度669人）、「聴覚・言語障害」1,556人（同1,537人）、「肢体不自由」2,491人（同2,353人）、「病弱・虚弱」2,047人（同1,619人）、「重複」170人（同165人）、「発達障害（診断書有）」1,453人（同1,064人）であった。

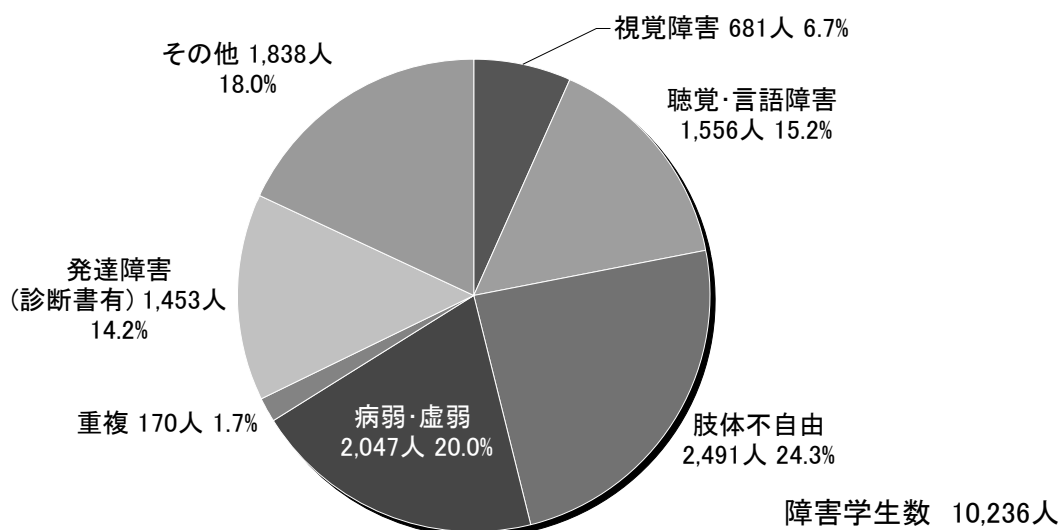
また、障害種別の構成比は、「視覚障害」6.7%（同7.6%）、「聴覚・言語障害」15.2%（同17.4%）、「肢体不自由」24.3%（同26.7%）、「病弱・虚弱」20.0%（同18.4%）、「重複」1.7%（同1.9%）、「発達障害（診断書有）」14.2%（同12.1%）であった。

< 結果 >

表7 障害学生数 [障害種別・学校種別]

区 分		大学 (人)	短期大学(部) (人)	高等専門学校 (人)	計 (人)	構成比 (%)	
視覚障害	盲	130 (150)	4 (5)	0 (1)	134 (156)	1.3	(1.8)
	弱視	519 (492)	20 (16)	8 (5)	547 (513)	5.3	(5.8)
	小計	649 (642)	24 (21)	8 (6)	681 (669)	6.7	(7.6)
聴覚・ 言語障害	聾	565 (565)	8 (9)	3 (2)	576 (576)	5.6	(6.5)
	難聴	867 (882)	68 (46)	23 (23)	958 (951)	9.4	(10.8)
	言語障害のみ	17 (8)	3 (2)	2 (0)	22 (10)	0.2	(0.1)
小計	1,449 (1,455)	79 (57)	28 (25)	1,556 (1,537)	15.2	(17.4)	
肢体 不自由	上肢機能障害	293 (265)	9 (11)	6 (8)	308 (284)	3.0	(3.2)
	下肢機能障害	912 (812)	41 (44)	12 (12)	965 (868)	9.4	(9.9)
	上下肢機能障害	749 (728)	23 (19)	10 (8)	782 (755)	7.6	(8.6)
	他の機能障害	415 (431)	15 (9)	6 (6)	436 (446)	4.3	(5.1)
小計	2,369 (2,236)	88 (83)	34 (34)	2,491 (2,353)	24.3	(26.7)	
病弱・虚弱		1,870 (1,477)	132 (100)	45 (42)	2,047 (1,619)	20.0	(18.4)
重複		167 (159)	3 (5)	0 (1)	170 (165)	1.7	(1.9)
発達障害 (診断書有)	LD	104 (71)	5 (2)	7 (8)	116 (81)	1.1	(0.9)
	ADHD	154 (98)	11 (5)	51 (37)	216 (140)	2.1	(1.6)
	高機能自閉症等	849 (696)	55 (38)	133 (109)	1,037 (843)	10.1	(9.6)
	重複	72 (—)	3 (—)	9 (—)	84 (—)	0.8	(—)
小計	1,179 (865)	74 (45)	200 (154)	1,453 (1,064)	14.2	(12.1)	
その他		1,721 (1,315)	85 (60)	32 (28)	1,838 (1,403)	18.0	(15.9)
計		9,404 (8,149)	485 (371)	347 (290)	10,236 (8,810)	100.0	(100.0)

図1 障害学生数(障害種別)



(3)-ア 障害種別・学科（専攻）別（大学）

< 概要 >

障害学生10,236人のうち、大学（大学院含む）に在籍している障害学生数は、9,404人であった。学科（専攻）別には、「社会科学」3,008人で大学全体の32.0%、「人文科学」2,087人（同22.2%）、「工学」1,355人（同14.4%）であった。

< 結果 >

表8 障害学生数 [障害種別・学科（専攻）別（大学）]

区 分		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健 (医・歯学)	保健 (医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
大学	視覚障害	盲	21	34	2	15	1	0	15	0	0	4	9	29	130
		弱視	70	124	14	51	6	2	108	0	7	30	12	95	519
		小計	91	158	16	66	7	2	123	0	7	34	21	124	649
	聴覚・ 言語障害	聾	66	134	7	228	7	1	18	0	5	62	15	22	565
		難聴	147	281	18	116	21	21	53	0	21	89	44	56	867
		言語障害のみ	3	6	1	5	0	0	0	0	0	1	0	1	17
	小計	216	421	26	349	28	22	71	0	26	152	59	79	1,449	
	肢体 不自由	上肢機能障害	54	117	3	32	8	3	10	0	5	17	12	32	293
		下肢機能障害	182	339	20	101	5	26	53	0	6	41	30	109	912
		上下肢機能障害	168	317	18	64	9	5	16	0	5	20	14	113	749
		他の機能障害	73	191	3	43	1	1	13	0	3	40	5	42	415
	小計	477	964	44	240	23	35	92	0	19	118	61	296	2,369	
	病弱・虚弱	426	606	54	238	26	19	148	0	68	80	54	151	1,870	
	重複	29	63	1	21	0	0	17	0	1	4	5	26	167	
	発達障害 (診断書有)	LD	27	22	2	18	0	1	0	0	0	4	3	27	104
		ADHD	38	20	12	30	2	1	4	0	1	8	8	30	154
		高機能自閉症等	206	194	50	193	28	13	16	0	12	18	42	77	849
		重複	22	11	2	12	2	1	0	0	0	2	5	15	72
	小計	293	247	66	253	32	16	20	0	13	32	58	149	1,179	
	その他	555	549	50	188	38	16	62	0	37	86	63	77	1,721	
計		2,087	3,008	257	1,355	154	110	533	0	171	506	321	902	9,404	
構成比 (%)		22.2	32.0	2.7	14.4	1.6	1.2	5.7	0.0	1.8	5.4	3.4	9.6	100.0	

(3)-イ 障害種別・学科(専攻)別(短期大学(部))

< 概要 >

障害学生10,236人のうち、短期大学(部)に在籍している障害学生数は、485人であった。学科(専攻)別には、「家政」110人で短期大学(部)全体の22.9%、「教育」99人(同20.6%)、「人文」82人(同17.0%)、「社会」52人(同10.8%)であった。

< 結果 >

表9 障害学生数[障害種別・学科(専攻)別(短期大学(部))]]

区分		人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	芸術	その他	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
短期大学(部)	視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
		弱視	6	3	0	0	0	0	2	4	2	3	20
		小計	6	3	0	0	0	0	2	4	6	3	24
	聴覚・言語障害	聾	1	2	0	0	0	0	2	3	0	0	8
		難聴	7	8	0	0	2	6	19	10	5	11	68
		言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3
	小計	8	10	0	0	2	6	22	15	5	11	79	
	肢体不自由	上肢機能障害	4	1	0	0	0	0	1	2	0	1	9
		下肢機能障害	5	10	0	0	0	1	10	6	4	5	41
		上下肢機能障害	3	6	0	0	0	0	4	4	4	2	23
		他の機能障害	4	0	0	1	0	0	4	3	0	3	15
	小計	16	17	0	1	0	1	19	15	8	11	88	
	病弱・虚弱	23	11	0	4	0	10	27	41	2	14	132	
	重複	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3	
	発達障害(診断書有)	LD	1	0	0	0	1	0	2	0	1	0	5
		ADHD	0	0	0	0	0	0	3	5	2	1	11
		高機能自閉症等	12	4	0	2	1	1	10	7	9	9	55
		重複	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
		小計	14	5	0	3	2	1	15	12	12	10	74
	その他	14	5	0	2	0	5	24	12	9	14	85	
計		82	52	0	10	4	23	110	99	42	63	485	
構成比 (%)		17.0	10.8	0.0	2.1	0.8	4.7	22.9	20.6	8.7	13.1	100.0	

(3)-ウ 障害種別・学科（専攻）別（高等専門学校）

< 概要 >

障害学生10,236人のうち、高等専門学校に在籍している障害学生数は、347人であった。学科（専攻）別には、「工業」342人で、高等専門学校全体の98.6%であった。

< 結果 >

表10 障害学生数 [障害種別・学科（専攻）別（高等専門学校）]

区 分		社 会	工 業	商 船	芸 術	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
高等 専門 学校	視覚障害	盲	0	0	0	0	0
		弱視	1	7	0	0	8
		小計	1	7	0	0	8
	聴覚・ 言語障害	聾	0	3	0	0	3
		難聴	0	23	0	0	23
		言語障害のみ	0	2	0	0	2
		小計	0	28	0	0	28
	肢体 不自由	上肢機能障害	0	6	0	0	6
		下肢機能障害	0	12	0	0	12
		上下肢機能障害	0	10	0	0	10
		他の機能障害	0	6	0	0	6
		小計	0	34	0	0	34
	病弱・虚弱		0	43	2	0	45
	重複		0	0	0	0	0
	発達障害 (診断書 有)	LD	0	7	0	0	7
		ADHD	0	49	2	0	51
		高機能自閉症等	0	133	0	0	133
		重複	0	9	0	0	9
		小計	0	198	2	0	200
	その他		0	32	0	0	32
計		1	342	4	0	347	
構成比 (%)		0.3	98.6	1.2	0.0	100.0	

(4) 身体障害と発達障害の重複について（障害種別）

< 概要 >

障害学生10,236人のうち、身体障害と発達障害の重複している障害学生数は32人で、身体障害の障害種別内訳は、「視覚障害」1人、「聴覚・言語障害」11人、「肢体不自由」9人、「病弱・虚弱」7人であった。

また、身体障害の障害種別の構成比は、「視覚障害」3.1%、「聴覚・言語障害」34.4%、「肢体不自由」28.1%、「病弱・虚弱」21.9%であった。

< 結果 >

表11 身体障害と発達障害の重複している障害学生数[障害種別]

区分	大学					短期大学(部)					高等専門学校					計	構成比 (%)
	L D	A D H D	高 機 能 自 閉 症 等	発 達 障 害 の 重 複	計	L D	A D H D	高 機 能 自 閉 症 等	発 達 障 害 の 重 複	計	L D	A D H D	高 機 能 自 閉 症 等	発 達 障 害 の 重 複	計		
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		
視覚 障害	盲	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3.1
	弱視	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3.1
聴覚・ 言語 障害	聾	1	1	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12.5
	難聴	3	1	3	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	21.9
	言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	4	2	5	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	34.4
肢体 不自 由	上肢機能障害	1	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	9.4
	下肢機能障害	3	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12.5
	上下肢機能障害	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	6.3
	他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	4	1	2	1	8	1	0	0	0	1	0	0	0	0	9	28.1
病弱・虚弱	1	1	5	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	21.9	
重複	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
その他	1	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	12.5	
計	10	4	15	1	30	1	0	0	0	1	0	0	1	0	32	100.0	

3. 障害学生在籍学校数

(1) 障害種別・学校種別

< 概要 >

「障害学生が在籍している」と回答のあった学校は807校(前年度785校)で、全体の66.9%(同64.3%)であった。

障害種別の障害学生在籍校数は、「視覚障害」231校(同221校)、「聴覚・言語障害」415校(同387校)、「肢体不自由」547校(同538校)、「病弱・虚弱」356校(同325校)、「重複」84校(同77校)、「発達障害(診断書有)」382校(同324校)であった。

< 結果 >

表12 障害学生在籍学校数 [障害種別・学校種別]

区 分		大学 (校)	短期大学(部) (校)	高等専門学校 (校)	計 (校)
視覚障害	盲	53 (56)	4 (5)	0 (1)	57 (62)
	弱視	180 (169)	19 (15)	6 (4)	205 (188)
	視覚障害学生が 1人以上在籍する学校数	203 (198)	22 (18)	6 (5)	231 (221)
聴覚・ 言語障害	聾	108 (105)	6 (8)	3 (2)	117 (115)
	難聴	295 (283)	44 (36)	15 (14)	354 (333)
	言語障害のみ	16 (8)	2 (2)	2 (0)	20 (10)
	聴覚・言語障害学生が 1人以上在籍する学校数	348 (326)	49 (45)	18 (16)	415 (387)
肢体 不自由	上肢機能障害	159 (156)	9 (10)	6 (7)	174 (173)
	下肢機能障害	335 (323)	36 (38)	11 (8)	382 (369)
	上下肢機能障害	271 (263)	20 (18)	8 (6)	299 (287)
	他の機能障害	142 (132)	11 (8)	5 (6)	158 (146)
	肢体不自由学生が 1人以上在籍する学校数	458 (454)	67 (65)	22 (19)	547 (538)
病弱・虚弱	病弱・虚弱学生が 1人以上在籍する学校数	291 (265)	51 (44)	14 (16)	356 (325)
重複	重複障害学生が 1人以上在籍する学校数	81 (71)	3 (5)	0 (1)	84 (77)
発達障害 (診断書有)	LD	56 (37)	5 (1)	6 (7)	67 (45)
	ADHD	80 (66)	10 (5)	22 (20)	112 (91)
	高機能自閉症等	258 (225)	37 (26)	37 (31)	332 (282)
	重複	41 (—)	3 (—)	8 (—)	52 (—)
	発達障害(診断書有)学生が 1人以上在籍する学校数	298 (255)	44 (31)	40 (38)	382 (324)
その他	その他障害学生が 1人以上在籍する学校数	257 (216)	41 (34)	11 (13)	309 (263)
障害学生在籍学校数		597 (593)	158 (140)	52 (52)	807 (785)
全学校数		776 (775)	373 (387)	57 (58)	1,206 (1,220)
在籍率 (%) ※1		76.9 (76.5)	42.4 (36.2)	91.2 (89.7)	66.9 (64.3)

※1 在籍率：障害学生在籍学校数÷全学校数×100(%)

(2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別

< 概要 >

障害学生が1人以上在籍している807校について、在籍学生数別に学校数を見ると、在籍学生「10,000人以上」の学校では71校に障害学生が1人以上在籍しており、在籍率は100%であった。同様に在籍学生「5,000～9,999人」の学校では101校99.0%、「4,000～4,999人」の学校では36校100%、「3,000～3,999人」の学校では39校86.7%、「2,000～2,999人」の学校では84校87.5%、「1,000～1,999人」の学校では181校84.6%、「500～999人」の学校では146校60.1%、「1～499人」の学校では149校37.3%であった。

< 結果 >

表13 障害学生在籍学校数〔学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別〕

区分	学校種別	障害学生在籍者数別								計 (校)	1人以上 在籍 (校)	1人以上 在籍率 (%)
		21人 以上 (校)	11～ 20人 (校)	6～ 10人 (校)	2～5人 (校)	1人 (校)	0人 (校)	22年度 在籍校 ※1 (校)				
10,000人 以上	大 学	46 (39)	15 (17)	7 (11)	3 (3)	0 (1)	0 (0)	(0)	71 (71)	71 (71)	100.0 (100.0)	
	短期大学(部)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	(0)	0 (-)	0 (-)	0.0 (-)	
	高等専門学校	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	(0)	0 (-)	0 (-)	0.0 (-)	
	小 計	46 (39)	15 (17)	7 (11)	3 (3)	0 (1)	0 (0)	(0)	71 (71)	71 (71)	100.0 (100.0)	
5,000 ～ 9,999人	大 学	20 (17)	29 (27)	32 (25)	16 (27)	4 (3)	1 (1)	(0)	102 (100)	101 (99)	99.0 (99.0)	
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (1)	0 (1)	0.0 (100.0)	
	高等専門学校	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	(0)	0 (-)	0 (-)	0.0 (-)	
	小 計	20 (17)	29 (27)	32 (25)	16 (28)	4 (3)	1 (1)	(0)	102 (101)	101 (100)	99.0 (99.0)	
4,000 ～ 4,999人	大 学	10 (9)	8 (8)	9 (12)	8 (9)	0 (1)	0 (2)	(0)	35 (41)	35 (39)	100.0 (95.1)	
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	(0)	1 (1)	1 (0)	100.0 (0.0)	
	高等専門学校	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	(0)	0 (-)	0 (-)	0.0 (-)	
	小 計	10 (9)	8 (8)	9 (12)	9 (9)	0 (1)	0 (3)	(0)	36 (42)	36 (39)	100.0 (92.9)	
3,000 ～ 3,999人	大 学	7 (4)	6 (4)	11 (13)	10 (12)	4 (3)	6 (5)	(3)	44 (41)	38 (36)	86.4 (87.8)	
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	(0)	1 (1)	1 (1)	100.0 (100.0)	
	高等専門学校	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	(0)	0 (-)	0 (-)	0.0 (-)	
	小 計	7 (4)	6 (4)	11 (13)	11 (13)	4 (3)	6 (5)	(3)	45 (42)	39 (37)	86.7 (88.1)	
2,000 ～ 2,999人	大 学	7 (6)	15 (16)	21 (23)	32 (29)	6 (7)	12 (8)	(5)	93 (89)	81 (81)	87.1 (91.0)	
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (4)	0 (0)	0 (1)	(0)	3 (5)	3 (4)	100.0 (80.0)	
	高等専門学校	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	(0)	0 (-)	0 (-)	0.0 (-)	
	小 計	7 (6)	15 (16)	23 (23)	33 (33)	6 (7)	12 (9)	(5)	96 (94)	84 (85)	87.5 (90.4)	
1,000 ～ 1,999人	大 学	17 (10)	14 (12)	26 (22)	58 (58)	25 (32)	30 (38)	(6)	170 (172)	140 (134)	82.4 (77.9)	
	短期大学(部)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	2 (7)	5 (1)	2 (3)	(2)	11 (12)	9 (9)	81.8 (75.0)	
	高等専門学校	2 (1)	4 (5)	12 (6)	10 (14)	4 (6)	1 (1)	(0)	33 (33)	32 (32)	97.0 (97.0)	
	小 計	19 (11)	19 (17)	39 (29)	70 (79)	34 (39)	33 (42)	(8)	214 (217)	181 (175)	84.6 (80.6)	
500 ～ 999人	大 学	6 (4)	7 (4)	11 (16)	41 (41)	19 (24)	52 (42)	(11)	136 (131)	84 (89)	61.8 (67.9)	
	短期大学(部)	1 (0)	2 (1)	3 (2)	25 (19)	11 (12)	41 (48)	(3)	83 (82)	42 (34)	50.6 (41.5)	
	高等専門学校	0 (0)	3 (2)	5 (3)	9 (12)	3 (3)	4 (4)	(1)	24 (24)	20 (20)	83.3 (83.3)	
	小 計	7 (4)	12 (7)	19 (21)	75 (72)	33 (39)	97 (94)	(15)	243 (237)	146 (143)	60.1 (60.3)	
1 ～ 499人	大 学	2 (1)	3 (3)	5 (3)	15 (19)	22 (18)	78 (86)	(5)	125 (130)	47 (44)	37.6 (33.8)	
	短期大学(部)	0 (0)	2 (1)	6 (5)	44 (48)	50 (37)	172 (194)	(25)	274 (285)	102 (91)	37.2 (31.9)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	(0)	0 (1)	0 (0)	0.0 (0.0)	
	小 計	2 (1)	5 (4)	11 (8)	59 (67)	72 (55)	250 (281)	(30)	399 (416)	149 (135)	37.3 (32.5)	
学校 種別計	大 学	115 (90)	97 (91)	122 (125)	183 (198)	80 (89)	179 (182)	(30)	776 (775)	597 (593)	76.9 (76.5)	
	短期大学(部)	1 (0)	5 (2)	12 (8)	74 (80)	66 (50)	215 (247)	(30)	373 (387)	158 (140)	42.4 (36.2)	
	高等専門学校	2 (1)	7 (7)	17 (9)	19 (26)	7 (9)	5 (6)	(1)	57 (58)	52 (52)	91.2 (89.7)	
計	118 (91)	109 (100)	151 (142)	276 (304)	153 (148)	399 (435)	(61)	1,206 (1,220)	807 (785)	66.9 (64.3)		
構成比 (%)	9.8 (7.5)	9.0 (8.2)	12.5 (11.6)	22.9 (24.9)	12.7 (12.1)	33.1 (35.7)	(-)	100.0 (100.0)				

※1 「22年度在籍校」：平成23年度障害学生数0人の学校のうち、22年度に1人以上の障害学生が在籍していた学校数

图2 障害学生在籍学校数(障害学生在籍者数別)

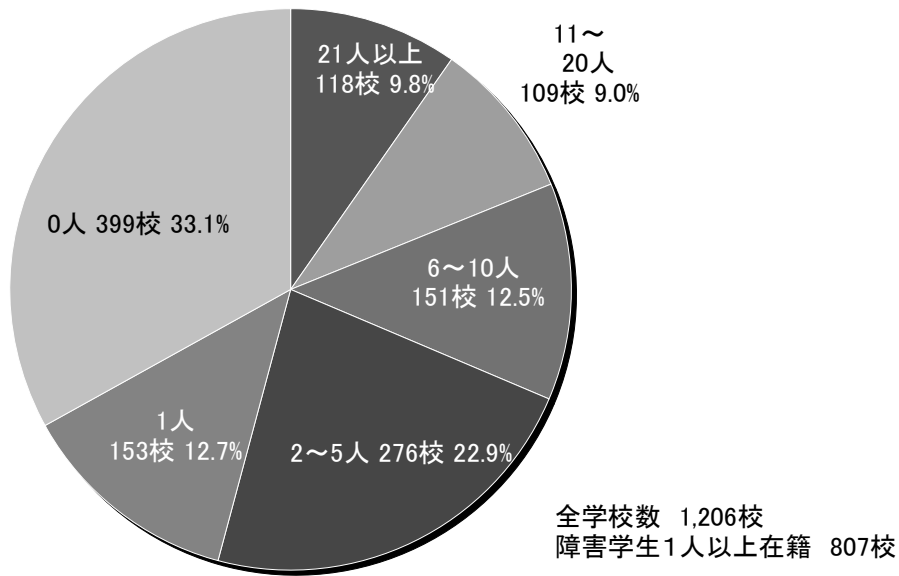


图3 障害学生在籍学校構成比(在籍学生数別・障害学生在籍者数別)

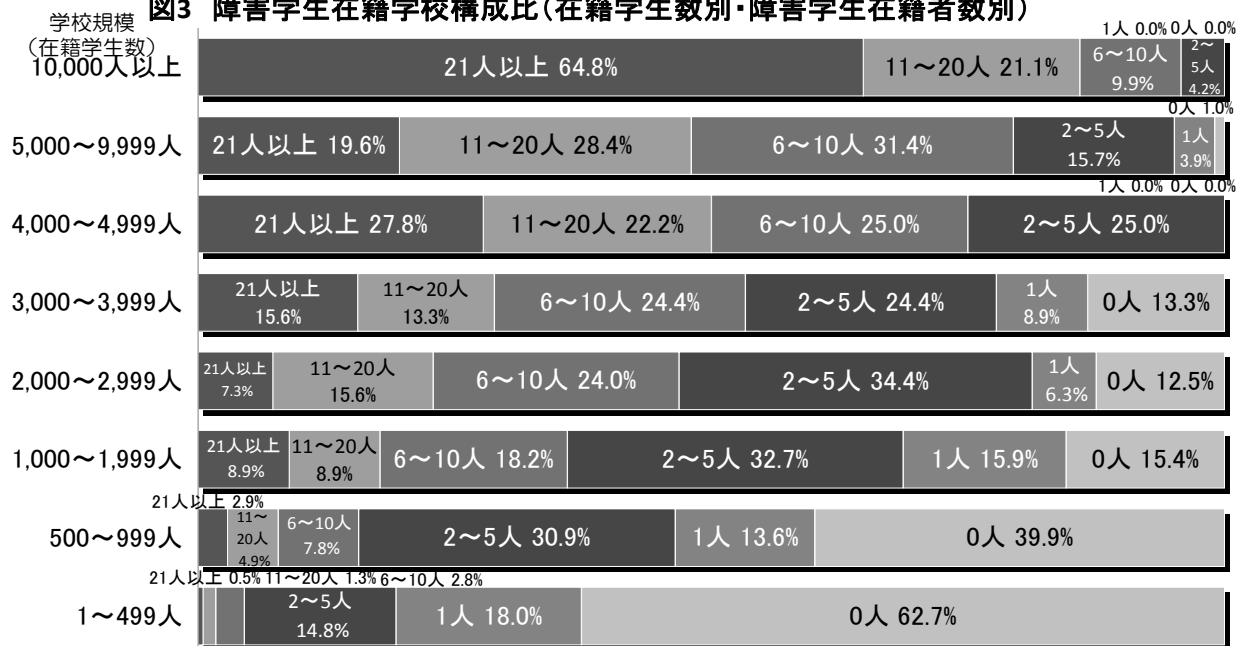
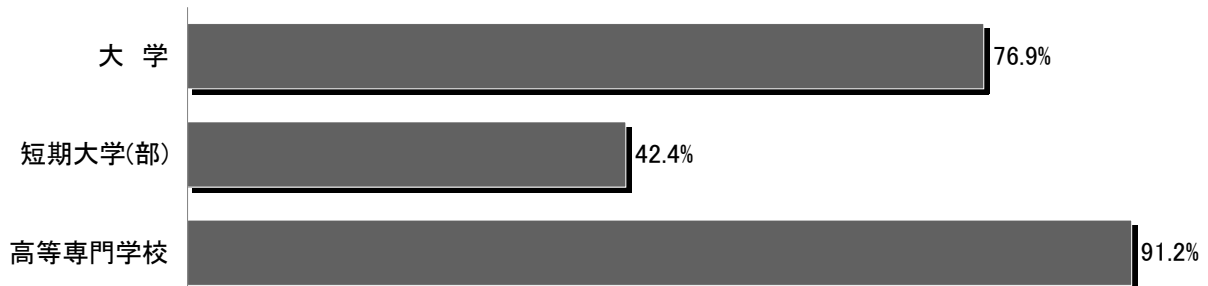


图4 障害学生1人以上在籍率(学校種別)



4. 支援障害学生数

(1) 課程別

< 概要 >

障害学生10,236人のうち、「学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている（今年度中の予定を含む）障害学生（以下「支援障害学生」という）」の総数は、5,897人（前年度5,253人）で、支援障害学生在籍率（＝支援障害学生数÷学生数×100（％））は0.18％（同0.16％）であった。

また、障害学生支援率（＝支援障害学生数÷障害学生数×100（％））は57.6％（同59.6％）であった。

< 結果 >

表14 支援障害学生数 [課程別]

区 分		学生数 (人)	障害 学生数 (人)	支援 障害 学生数 (人)	支援 障害学生 在籍率※1 (%)	障害学生 支援率※2 (%)
大 学	学部(通学)	2,563,927 (2,552,935)	7,502 (6,507)	4,374 (4,046)	0.17 (0.16)	58.3 (62.2)
	学部(通信)	179,982 (186,447)	1,300 (1,084)	722 (548)	0.40 (0.29)	55.5 (50.6)
	大学院(通学)	267,085 (268,073)	563 (535)	319 (295)	0.12 (0.11)	56.7 (55.1)
	大学院(通信)	3,603 (3,478)	37 (19)	15 (12)	0.42 (0.35)	40.5 (63.2)
	専攻科	2,034 (1,112)	2 (4)	2 (3)	0.10 (0.27)	100.0 (75.0)
	小計	3,016,631 (3,012,045)	9,404 (8,149)	5,432 (4,904)	0.18 (0.16)	57.8 (60.2)
短期大学(部)	学科(通学)	144,966 (149,798)	463 (354)	255 (196)	0.18 (0.13)	55.1 (55.4)
	学科(通信)	11,768 (17,024)	11 (7)	4 (1)	0.03 (0.01)	36.4 (14.3)
	専攻科	2,953 (3,349)	11 (10)	8 (3)	0.27 (0.09)	72.7 (30.0)
	小計	159,687 (170,171)	485 (371)	267 (200)	0.17 (0.12)	55.1 (53.9)
高等専門学校	学科(通学)	55,616 (55,773)	328 (274)	191 (142)	0.34 (0.25)	58.2 (51.8)
	専攻科	3,641 (3,578)	19 (16)	7 (7)	0.19 (0.20)	36.8 (43.8)
	小計	59,257 (59,351)	347 (290)	198 (149)	0.33 (0.25)	57.1 (51.4)
計		3,235,575 (3,241,567)	10,236 (8,810)	5,897 (5,253)	0.18 (0.16)	57.6 (59.6)

※1 支援障害学生在籍率：支援障害学生数÷学生数×100（％）

※2 障害学生支援率：支援障害学生数÷障害学生数×100（％）

(2) 障害種別・学校種別

< 概要 >

支援障害学生5,897人の障害種別内訳は、「視覚障害」525人(前年度520人)、「聴覚・言語障害」1,040人(同1,032人)、「肢体不自由」1,286人(同1,228人)、「病弱・虚弱」748人(同693人)、「重複」128人(同125人)、「発達障害(診断書有)」1,063人(同811人)であった。

また、障害種別の構成比は、「視覚障害」8.9%(同9.9%)、「聴覚・言語障害」17.6%(同19.6%)、「肢体不自由」21.8%(同23.4%)、「病弱・虚弱」12.7%(同13.2%)、「重複」2.2%(同2.4%)、「発達障害(診断書有)」18.0%(同15.4%)であった。

更に、障害種別の障害学生支援率は、「視覚障害」77.1%(同77.7%)、「聴覚・言語障害」66.8%(同67.1%)、「肢体不自由」51.6%(同52.2%)、「病弱・虚弱」36.5%(同42.8%)、「重複」75.3%(同75.8%)、「発達障害(診断書有)」73.2%(同76.2%)であった。

< 結果 >

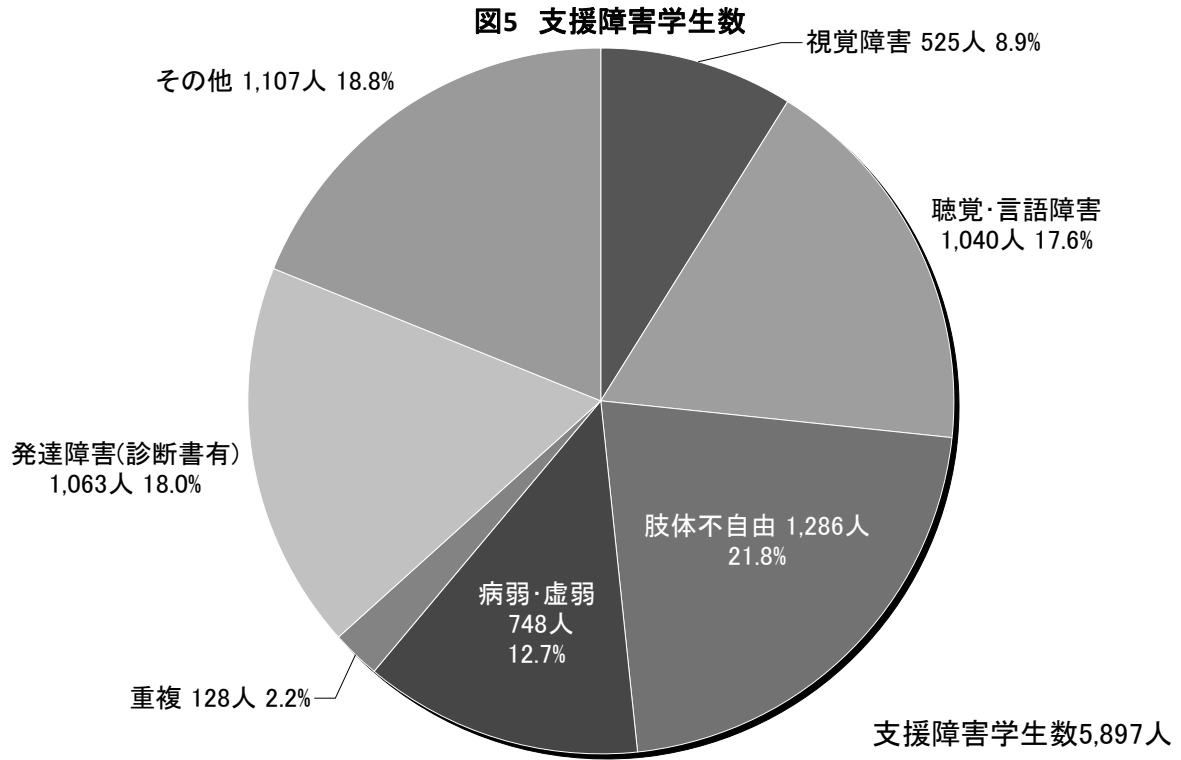
表15 支援障害学生数 [障害種別・学校種別]

区分	大学			短期大学(部)			高等専門学校			計				
	数障害学生 (人)	学支 生援 数障 害 (人)	※支障 1援害 率学 生 (%)	数障害学生 (人)	学支 生援 数障 害 (人)	※支障 1援害 率学 生 (%)	数障害学生 (人)	学支 生援 数障 害 (人)	※支障 1援害 率学 生 (%)	数障害学生 (人)	学支 生援 数障 害 (人)	※構 2成 比 (%)	※支障 1援害 率学 生 (%)	
視覚障害	盲	130 (150)	121 (147)	93.1 (98.0)	4 (5)	4 (4)	100.0 (80.0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	134 (156)	125 (151)	2.1 (2.9)	93.3 (96.8)
	弱視	519 (492)	382 (356)	73.6 (72.4)	20 (16)	14 (10)	70.0 (62.5)	8 (5)	4 (3)	50.0 (60.0)	547 (513)	400 (369)	6.8 (7.0)	73.1 (71.9)
	小計	649 (642)	503 (503)	77.5 (78.3)	24 (21)	18 (14)	75.0 (66.7)	8 (6)	4 (3)	50.0 (50.0)	681 (669)	525 (520)	8.9 (9.9)	77.1 (77.7)
聴覚・言語障害	聾	565 (565)	524 (529)	92.7 (93.6)	8 (9)	7 (9)	87.5 (100.0)	3 (2)	2 (2)	66.7 (100.0)	576 (576)	533 (540)	9.0 (10.3)	92.5 (93.8)
	難聴	867 (882)	449 (449)	51.8 (50.9)	68 (46)	39 (28)	57.4 (60.9)	23 (23)	9 (9)	39.1 (39.1)	958 (951)	497 (486)	8.4 (9.3)	51.9 (51.1)
	言語障害のみ	17 (8)	5 (4)	29.4 (50.0)	3 (2)	3 (2)	100.0 (100.0)	2 (0)	2 (0)	100.0 (-)	22 (10)	10 (6)	0.2 (0.1)	45.5 (60.0)
	小計	1,449 (1,455)	978 (982)	67.5 (67.5)	79 (57)	49 (39)	62.0 (68.4)	28 (25)	13 (11)	46.4 (44.0)	1,556 (1,537)	1,040 (1,032)	17.6 (19.6)	66.8 (67.1)
肢体不自由	上肢機能障害	293 (265)	93 (82)	31.7 (30.9)	9 (11)	3 (1)	33.3 (9.1)	6 (8)	2 (2)	33.3 (25.0)	308 (284)	98 (85)	1.7 (1.6)	31.8 (29.9)
	下肢機能障害	912 (812)	461 (408)	50.5 (50.2)	41 (44)	25 (24)	61.0 (54.5)	12 (12)	9 (9)	75.0 (75.0)	965 (868)	495 (441)	8.4 (8.4)	51.3 (50.8)
	上下肢機能障害	749 (728)	480 (484)	64.1 (66.5)	23 (19)	6 (11)	26.1 (57.9)	10 (8)	7 (4)	70.0 (50.0)	782 (755)	493 (499)	8.4 (9.5)	63.0 (66.1)
	他の機能障害	415 (431)	187 (193)	45.1 (44.8)	15 (9)	7 (5)	46.7 (55.6)	6 (6)	6 (5)	100.0 (83.3)	436 (446)	200 (203)	3.4 (3.9)	45.9 (45.5)
	小計	2,369 (2,236)	1,221 (1,167)	51.5 (52.2)	88 (83)	41 (41)	46.6 (49.4)	34 (34)	24 (20)	70.6 (58.8)	2,491 (2,353)	1,286 (1,228)	21.8 (23.4)	51.6 (52.2)
	病弱・虚弱	1,870 (1,477)	680 (641)	36.4 (43.4)	132 (100)	52 (38)	39.4 (38.0)	45 (42)	16 (14)	35.6 (33.3)	2,047 (1,619)	748 (693)	12.7 (13.2)	36.5 (42.8)
重複	167 (159)	125 (123)	74.9 (77.4)	3 (5)	3 (2)	100.0 (40.0)	0 (1)	0 (0)	0.0 (0.0)	170 (165)	128 (125)	2.2 (2.4)	75.3 (75.8)	
発達障害 (診断書有)	LD	104 (71)	76 (54)	73.1 (76.1)	5 (2)	3 (2)	60.0 (100.0)	7 (8)	4 (4)	57.1 (50.0)	116 (81)	83 (60)	1.4 (1.1)	71.6 (74.1)
	ADHD	154 (98)	110 (63)	71.4 (64.3)	11 (5)	8 (5)	72.7 (100.0)	51 (37)	37 (25)	72.5 (67.6)	216 (140)	155 (93)	2.6 (1.8)	71.8 (66.4)
	高機能自閉症等	849 (696)	649 (575)	76.4 (82.6)	55 (38)	38 (25)	69.1 (65.8)	133 (109)	82 (58)	61.7 (53.2)	1,037 (843)	769 (658)	13.0 (12.5)	74.2 (78.1)
	重複	72 (-)	48 (-)	66.7 (-)	3 (-)	1 (-)	33.3 (-)	9 (-)	7 (-)	77.8 (-)	84 (-)	56 (-)	0.9 (-)	66.7 (-)
	小計	1,179 (865)	883 (692)	74.9 (80.0)	74 (45)	50 (32)	67.6 (71.1)	200 (154)	130 (87)	65.0 (56.5)	1,453 (1,064)	1,063 (811)	18.0 (15.4)	73.2 (76.2)
その他	1,721 (1,315)	1,042 (796)	60.5 (60.5)	85 (60)	54 (34)	63.5 (56.7)	32 (28)	11 (14)	34.4 (50.0)	1,838 (1,403)	1,107 (844)	18.8 (16.1)	60.2 (60.2)	
計	9,404 (8,149)	5,432 (4,904)	57.8 (60.2)	485 (371)	267 (200)	55.1 (53.9)	347 (290)	198 (149)	57.1 (51.4)	10,236 (8,810)	5,897 (5,253)	100.0 (100.0)	57.6 (59.6)	

※1 障害学生支援率：支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

※2 構成比：支援障害学生数÷支援障害学生数の計×100(%)

図5 支援障害学生数



(3)-ア 障害種別・学科（専攻）別（大学）

< 概要 >

支援障害学生5,897人のうち、大学（大学院含む）に在籍している支援障害学生数は、5,432人であった。学科（専攻）別には、「社会科学」1,631人で大学全体の30.0%、「人文科学」1,171人（同21.6%）、「工学」826人（同15.2%）であった。

< 結果 >

表16 支援障害学生数〔障害種別・学科（専攻）別（大学）〕

区 分		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健 (医・歯学)	保健 (医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
大学	視覚障害	盲	20	30	2	15	1	0	13	0	0	4	8	28	121
		弱視	44	75	10	36	4	0	98	0	5	14	5	91	382
		小計	64	105	12	51	5	0	111	0	5	18	13	119	503
	聴覚・ 言語障害	聾	55	124	6	225	7	1	15	0	5	51	15	20	524
		難聴	76	155	14	46	9	4	21	0	11	50	26	37	449
		言語障害のみ	1	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5
		小計	132	280	20	274	16	5	36	0	16	101	41	57	978
	肢体 不自由	上肢機能障害	14	33	2	9	4	1	4	0	1	3	2	20	93
		下肢機能障害	82	176	10	43	1	9	28	0	1	15	11	85	461
		上下肢機能障害	105	191	9	37	8	2	9	0	4	7	5	103	480
		他の機能障害	36	83	1	12	0	0	9	0	1	7	2	36	187
		小計	237	483	22	101	13	12	50	0	7	32	20	244	1221
	病弱・虚弱		154	198	17	74	14	8	44	0	11	23	25	112	680
	重複		22	41	1	18	0	0	14	0	1	3	1	24	125
	発達障害 (診断書有)	LD	17	15	1	13	0	1	0	0	0	2	1	26	76
		ADHD	18	14	8	24	2	0	4	0	0	8	5	27	110
		高機能自閉症等	163	130	41	150	25	11	11	0	9	16	24	69	649
		重複	9	6	2	11	1	1	0	0	0	2	2	14	48
		小計	207	165	52	198	28	13	15	0	9	28	32	136	883
	その他		355	359	18	110	31	2	37	0	27	44	26	33	1,042
計		1,171	1,631	142	826	107	40	307	0	76	249	158	725	5,432	
構成比 (%)		21.6	30.0	2.6	15.2	2.0	0.7	5.7	0.0	1.4	4.6	2.9	13.3	100.0	

(3)-イ 障害種別・学科（専攻）別（短期大学（部））

< 概要 >

支援障害学生5,897人のうち、短期大学（部）に在籍している支援障害学生数は、267人であった。

学科（専攻）別には、「家政」63人で短期大学（部）全体の23.6%、「人文」、「教育」とともに43人（同16.1%）、「社会」35人（同13.1%）であった。

< 結果 >

表17 支援障害学生数〔障害種別・学科（専攻）別（短期大学（部））〕

区 分		人 文	社 会	教 養	工 業	農 業	保 健	家 政	教 育	芸 術	そ の 他	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
短期大学（部）	視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
		弱視	5	3	0	0	0	0	1	1	2	2	14
		小計	5	3	0	0	0	0	1	1	6	2	18
	聴覚・言語障害	聾	1	1	0	0	0	0	2	3	0	0	7
		難聴	5	6	0	0	2	1	8	4	5	8	39
		言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3
		小計	6	7	0	0	2	1	11	9	5	8	49
	肢体不自由	上肢機能障害	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	3
		下肢機能障害	4	9	0	0	0	0	8	0	1	3	25
		上下肢機能障害	1	2	0	0	0	0	0	1	2	0	6
		他の機能障害	0	0	0	1	0	0	3	2	0	1	7
		小計	5	12	0	1	0	0	12	4	3	4	41
	病弱・虚弱		6	8	0	0	0	4	14	15	2	3	52
	重複		1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	発達障害（診断書有）	LD	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	3
		ADHD	0	0	0	0	0	0	2	3	2	1	8
		高機能自閉症等	9	2	0	2	1	0	4	6	6	8	38
		重複	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		小計	9	2	0	3	2	0	7	9	9	9	50
	その他		11	2	0	1	0	3	17	5	8	7	54
計		43	35	0	5	4	8	63	43	33	33	267	
構成比 (%)		16.1	13.1	0.0	1.9	1.5	3.0	23.6	16.1	12.4	12.4	100.0	

(3)-ウ 障害種別・学科（専攻）別（高等専門学校）

< 概要 >

支援障害学生5,897人のうち、高等専門学校に在籍している障害学生数は、198人であった。学科（専攻）別には、「工業」195人で高等専門学校全体の98.5%であった。

< 結果 >

表18 支援障害学生数〔障害種別・学科（専攻）別（高等専門学校）〕

区 分		社 会 (人)	工 業 (人)	商 船 (人)	芸 術 (人)	計 (人)	
高等 専門 学校	視覚障害	盲	0	0	0	0	0
		弱視	1	3	0	0	4
		小計	1	3	0	0	4
	聴覚・ 言語障害	聾	0	2	0	0	2
		難聴	0	9	0	0	9
		言語障害のみ	0	2	0	0	2
		小計	0	13	0	0	13
	肢体 不自由	上肢機能障害	0	2	0	0	2
		下肢機能障害	0	9	0	0	9
		上下肢機能障害	0	7	0	0	7
		他の機能障害	0	6	0	0	6
		小計	0	24	0	0	24
	病弱・虚弱		0	15	1	0	16
	重複		0	0	0	0	0
	発達障害 (診断書有)	LD	0	4	0	0	4
		ADHD	0	36	1	0	37
		高機能自閉症等	0	82	0	0	82
		重複	0	7	0	0	7
		小計	0	129	1	0	130
	その他		0	11	0	0	11
計		1	195	2	0	198	
構成比 (%)		0.5	98.5	1.0	0.0	100.0	

(4) 身体障害と発達障害の重複について（障害種別）

< 概要 >

支援障害学生5,897人のうち、身体障害と発達障害の重複している支援障害学生数は20人で、身体障害の障害種別内訳は、「視覚障害」1人、「聴覚・言語障害」8人、「肢体不自由」3人、「病弱・虚弱」4人であった。

また、身体障害の障害種別の構成比は、「視覚障害」5.0%、「聴覚・言語障害」40.0%、「肢体不自由」15.0%、「病弱・虚弱」20.0%であった。

< 結果 >

表19 身体障害と発達障害の重複している支援障害学生数[障害種別]

区分	大学					短期大学(部)					高等専門学校					計	構成比	
	L D	A D H D	高 機 能 自 閉 症 等	重 複	計	L D	A D H D	高 機 能 自 閉 症 等	重 複	計	L D	A D H D	高 機 能 自 閉 症 等	重 複	計			
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)			(人)
視覚障害	盲	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5.0
	弱視	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5.0
聴覚・言語障害	聾	1	1	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	20.0
	難聴	1	1	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	20.0
	言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	2	2	4	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	40.0
肢体不自由	上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	下肢機能障害	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5.0
	上下肢機能障害	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	10.0
	他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	0	0	2	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	15.0
病弱・虚弱	0	1	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	20.0	
重複	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
その他	1	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4	20.0	
計	3	3	12	0	18	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	20	100.0	

5. 支援障害学生在籍学校数

(1) 障害種別・学校種別

< 概要 >

「支援障害学生が在籍している」と回答のあった学校は649校（前年度627校）で、全学校数の53.8%（同51.4%）であった。また、障害学生在籍校807校（同785校）の中では80.4%（同79.9%）であった。

障害種別の支援障害学生在籍校数は、「視覚障害」170校（同175校）、「聴覚・言語障害」314校（同291校）、「肢体不自由」373校（同362校）、「病弱・虚弱」180校（同145校）、「重複」56校（同51校）、「発達障害（診断書有）」301校（同256校）であった。

< 結果 >

表20 支援障害学生在籍学校数 [障害種別・学校種別]

区 分		大学 (校)	短期大学 (部) (校)	高等 専門学校 (校)	計 (校)
視覚障害	盲	50 (56)	4 (4)	0 (0)	54 (60)
	弱視	123 (126)	13 (10)	4 (3)	140 (139)
	支援視覚障害学生が 1人以上在籍する学校数	150 (159)	16 (13)	4 (3)	170 (175)
聴覚・ 言語障害	聾	98 (91)	6 (8)	2 (2)	106 (101)
	難聴	206 (198)	29 (24)	8 (8)	243 (230)
	言語障害のみ	5 (4)	2 (2)	2 (0)	9 (6)
	支援聴覚・言語障害学生が 1人以上在籍する学校数	268 (248)	34 (33)	12 (10)	314 (291)
肢体不自由	上肢機能障害	56 (52)	3 (1)	2 (2)	61 (55)
	下肢機能障害	203 (194)	21 (21)	8 (6)	232 (221)
	上下肢機能障害	203 (206)	4 (10)	7 (4)	214 (220)
	他の機能障害	76 (69)	4 (4)	5 (5)	85 (78)
	支援肢体不自由学生が 1人以上在籍する学校数	325 (315)	30 (34)	18 (13)	373 (362)
病弱・虚弱	支援病弱・虚弱学生が 1人以上在籍する学校数	154 (122)	19 (16)	7 (7)	180 (145)
重複	支援重複障害学生が1人 以上在籍する学校数	53 (49)	3 (2)	0 (0)	56 (51)
発達障害 (診断書有)	LD	41 (28)	3 (1)	3 (3)	47 (32)
	ADHD	57 (49)	7 (5)	16 (10)	80 (64)
	高機能自閉症等	208 (188)	27 (19)	29 (22)	264 (229)
	重複	29 (—)	1 (—)	6 (—)	36 (—)
	支援発達障害(診断書有)学生が 1人以上在籍する学校数	238 (208)	31 (24)	32 (24)	301 (256)
その他	支援その他障害学生が 1人以上在籍する学校数	168 (141)	23 (22)	7 (7)	198 (170)
支援障害学生在籍学校数		506 (494)	99 (96)	44 (37)	649 (627)
全学校数		776 (775)	373 (387)	57 (58)	1,206 (1,220)
在籍率 (%) ※1		65.2 (63.7)	26.5 (24.8)	77.2 (63.8)	53.8 (51.4)
障害学生在籍学校数		597 (593)	158 (140)	52 (52)	807 (785)
在籍率 (%) ※2		84.8 (83.3)	62.7 (68.6)	84.6 (71.2)	80.4 (79.9)

※1 在籍率：支援障害学生在籍学校数÷全学校数×100(%)

※2 在籍率：支援障害学生在籍学校数÷障害学生在籍学校数×100(%)

(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別

< 概要 >

支援障害学生が1人以上在籍している649校について、在籍学生数別に学校数を見ると、在籍学生「10,000人以上」の学校では70校に障害学生が1人以上在籍しており、在籍率は98.6%であった。同様に在籍学生「5,000～9,999人」の学校では96校94.1%、「4,000～4,999人」の学校では30校83.3%、「3,000～3,999人」の学校では34校75.6%、「2,000～2,999人」の学校では73校76.0%、「1,000～1,999人」の学校では147校68.7%、「500～999人」の学校では109校44.9%、「1～499人」の学校では90校22.6%であった。

< 結果 >

表21 支援障害学生在籍学校数 [学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別]

区分	学校種別	支援障害学生在籍者数別							計 (校)	1人以上 在籍 (校)	1人以上 在籍率 (%)	
		21人 以上 (校)	11～ 20人 (校)	6～ 10人 (校)	2～5人 (校)	1人 (校)	0人 (校)	22年度 在籍校 ※1 (校)				
10,000人 以上	大 学	24 (20)	17 (14)	17 (20)	11 (14)	1 (1)	1 (2)	(0)	71 (71)	70 (69)	98.6 (97.2)	
	短期大学(部)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	(0)	0 (—)	0 (—)	0.0 (—)	
	高等専門学校	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	(0)	0 (—)	0 (—)	0.0 (—)	
	小 計	24 (20)	17 (14)	17 (20)	11 (14)	1 (1)	1 (2)	(0)	71 (71)	70 (69)	98.6 (97.2)	
5,000 ～ 9,999人	大 学	10 (8)	13 (12)	28 (18)	31 (44)	14 (10)	6 (8)	(3)	102 (100)	96 (92)	94.1 (92.0)	
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	(0)	0 (1)	0 (1)	0.0 (100.0)	
	高等専門学校	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	(0)	0 (—)	0 (—)	0.0 (—)	
	小 計	10 (8)	13 (12)	28 (18)	31 (44)	14 (11)	6 (8)	(3)	102 (101)	96 (93)	94.1 (92.1)	
4,000 ～ 4,999人	大 学	6 (6)	6 (3)	4 (8)	10 (13)	3 (3)	6 (8)	(2)	35 (41)	29 (33)	82.9 (80.5)	
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	(0)	1 (1)	1 (0)	100.0 (0.0)	
	高等専門学校	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	(0)	0 (—)	0 (—)	0.0 (—)	
	小 計	6 (6)	6 (3)	4 (8)	11 (13)	3 (3)	6 (9)	(2)	36 (42)	30 (33)	83.3 (78.6)	
3,000 ～ 3,999人	大 学	2 (3)	4 (2)	6 (7)	17 (13)	5 (3)	10 (13)	(1)	44 (41)	34 (28)	77.3 (68.3)	
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	(0)	1 (1)	0 (0)	0.0 (0.0)	
	高等専門学校	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	(0)	0 (—)	0 (—)	0.0 (—)	
	小 計	2 (3)	4 (2)	6 (7)	17 (13)	5 (3)	11 (14)	(1)	45 (42)	34 (28)	75.6 (66.7)	
2,000 ～ 2,999人	大 学	5 (4)	4 (8)	15 (10)	29 (33)	18 (12)	22 (22)	(6)	93 (89)	71 (67)	76.3 (75.3)	
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (4)	0 (0)	1 (1)	(1)	3 (5)	2 (4)	66.7 (80.0)	
	高等専門学校	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	(0)	0 (—)	0 (—)	0.0 (—)	
	小 計	5 (4)	4 (8)	16 (10)	30 (37)	18 (12)	23 (23)	(7)	96 (94)	73 (71)	76.0 (75.5)	
1,000 ～ 1,999人	大 学	10 (6)	6 (5)	15 (10)	51 (47)	33 (39)	55 (65)	(11)	170 (172)	115 (107)	67.6 (62.2)	
	短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	2 (3)	3 (4)	6 (4)	(5)	11 (12)	5 (8)	45.5 (66.7)	
	高等専門学校	0 (0)	2 (2)	8 (4)	10 (12)	7 (5)	6 (10)	(3)	33 (33)	27 (23)	81.8 (69.7)	
	小 計	10 (6)	8 (7)	23 (15)	63 (62)	43 (48)	67 (79)	(19)	214 (217)	147 (138)	68.7 (63.6)	
500 ～ 999人	大 学	2 (1)	7 (4)	5 (7)	31 (29)	18 (26)	73 (64)	(14)	136 (131)	63 (67)	46.3 (51.1)	
	短期大学(部)	0 (0)	3 (1)	2 (0)	14 (8)	10 (14)	54 (59)	(6)	83 (82)	29 (23)	34.9 (28.0)	
	高等専門学校	0 (0)	1 (0)	1 (2)	10 (8)	5 (4)	7 (10)	(2)	24 (24)	17 (14)	70.8 (58.3)	
	小 計	2 (1)	11 (5)	8 (9)	55 (45)	33 (44)	134 (133)	(22)	243 (237)	109 (104)	44.9 (43.9)	
1 ～ 499人	大 学	1 (1)	2 (1)	3 (2)	5 (13)	17 (14)	97 (99)	(9)	125 (130)	28 (31)	22.4 (23.8)	
	短期大学(部)	0 (0)	1 (0)	3 (4)	25 (24)	33 (32)	212 (225)	(24)	274 (285)	62 (60)	22.6 (21.1)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	(0)	0 (1)	0 (0)	0.0 (0.0)	
	小 計	1 (1)	3 (1)	6 (6)	30 (37)	50 (46)	309 (325)	(33)	399 (416)	90 (91)	22.6 (21.9)	
学校 種別計	大 学	60 (49)	59 (49)	93 (82)	185 (206)	109 (108)	270 (281)	(46)	776 (775)	506 (494)	65.2 (63.7)	
	短期大学(部)	0 (0)	4 (1)	6 (5)	43 (39)	46 (51)	274 (291)	(36)	373 (387)	99 (96)	26.5 (24.8)	
	高等専門学校	0 (0)	3 (2)	9 (6)	20 (20)	12 (9)	13 (21)	(5)	57 (58)	44 (37)	77.2 (63.8)	
計	60 (49)	66 (52)	108 (93)	248 (265)	167 (168)	557 (593)	(87)	1,206 (1,220)	649 (627)	53.8 (51.4)		
構成比 (%)	5.0 (4.0)	5.5 (4.3)	9.0 (7.6)	20.6 (21.7)	13.8 (13.8)	46.2 (48.6)	(—)	100.0 (100.0)				

※1 「22年度在籍校」：平成23年度支援障害学生数0人の学校のうち、22年度に1人以上の支援障害学生が在籍していた学校数

图6 支援障害学生在籍学校数(障害学生在籍者数別)

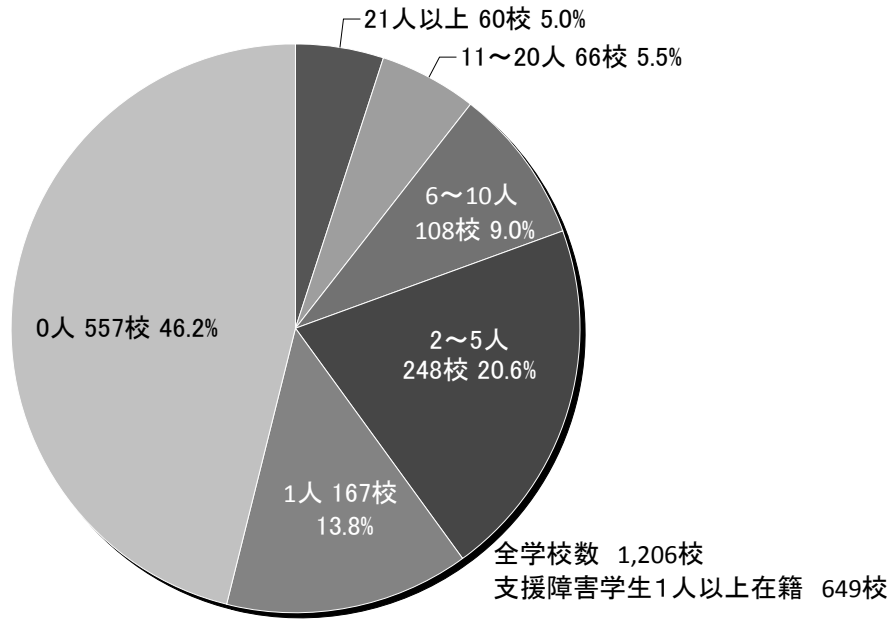


图7 支援障害学生在籍学校構成比(在籍学生数別・支援障害学生在籍者数別)

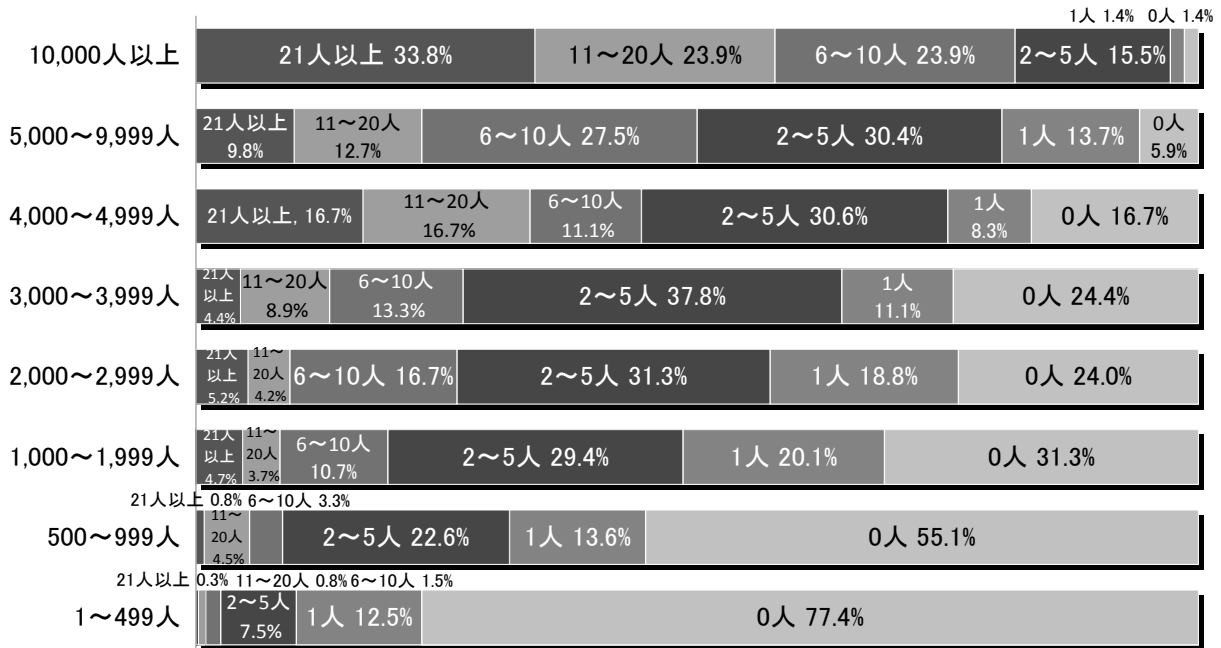
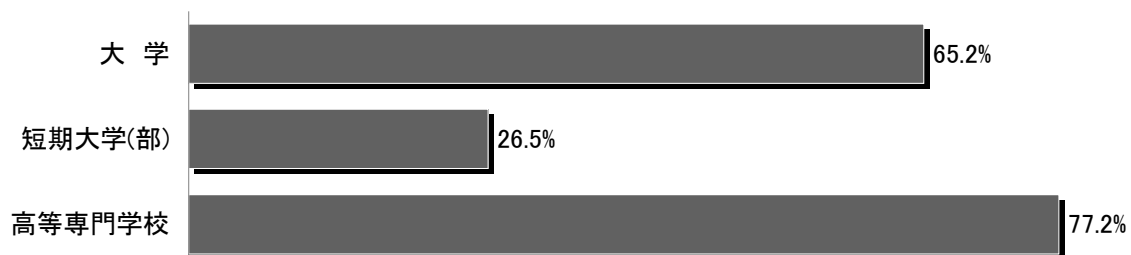


图8 支援障害学生1人以上在籍率(学校種別)



6. 授業に関する支援の実施状況

(1) 障害種別・学校種別

< 概要 >

障害種別に関わらず授業に関する支援（例：ノートテイク、手話通訳、点訳・墨訳など）を行っていると回答した学校は625校（前年度606校）であり、教職員が支援を行なっている学校は214校、学生が支援を行なっている学校は235校、外部（手話通訳者、ノートテイク等）が支援を行なっている学校は142校であった。

障害種別には、「視覚障害」168校、「聴覚・言語障害」302校、「肢体不自由」350校、「病弱・虚弱」142校、「重複」45校、「発達障害」293校であった。

< 結果 >

表22 授業支援実施状況 [障害種別・学校種別]

区 分		大学 (校)	短期大学 (部) (校)	高等 専門学校 (校)	計 (校)	
障害種別 区分なし	実施校数	490 (477)	94 (90)	41 (39)	625 (606)	
	支援者	教職員	177	24	13	214
		学生	218	13	4	235
		外部	129	11	2	142
視覚障害	実施校数	148 (157)	16 (13)	4 (3)	168 (173)	
	支援者	教職員	108	11	3	122
		学生	60	4	0	64
		外部	43	5	0	48
聴覚・ 言語障害	実施校数	262 (242)	29 (33)	11 (10)	302 (285)	
	支援者	教職員	60	6	0	66
		学生	174	7	1	182
		外部	90	5	1	96
肢体不自由	実施校数	306 (291)	27 (32)	17 (12)	350 (335)	
	支援者	教職員	39	4	4	47
		学生	61	3	1	65
		外部	13	1	0	14
病弱・虚弱	実施校数	126 (101)	10 (12)	6 (6)	142 (119)	
	支援者	教職員	4	2	0	6
		学生	4	1	0	5
		外部	2	0	0	2
重複	実施校数	43 (43)	2 (1)	0 (0)	45 (44)	
	支援者	教職員	20	0	0	20
		学生	17	1	0	18
		外部	7	0	0	7
発達障害 ※	実施校数	226 (188)	39 (33)	28 (25)	293 (246)	
	支援者	教職員	27	6	8	41
		学生	21	1	2	24
		外部	3	0	1	4
その他	実施校数	107 (111)	16 (14)	6 (5)	129 (130)	
	支援者	教職員	9	3	0	12
		学生	6	0	0	6
		外部	2	0	0	2

※発達障害：発達障害（診断書有）及び発達障害（診断書無・配慮有） 44ページ参照

※支援者区分については複数回答あり

(2)-ア 授業支援内容別・障害種別(総表)

< 概要 >

授業支援内容別・障害種別の状況は以下のとおりであった。

< 結果 >

表23 授業支援実施状況 [授業支援内容別・障害種別(総表)]

区 分	視覚障害					聴覚・言語障害					肢体不自由					病弱・虚弱				
	実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者		
			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部
(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	
1 点訳・墨訳	54 (53)	32.1 (30.6)	32 (31)	15 (13)	41 (40)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2 教材のテキストデータ化	63 (62)	37.5 (35.8)	52 (56)	20 (18)	14 (13)	17 (17)	5.6 (6.0)	15 (16)	2 (2)	1 (0)	7 (6)	2.0 (1.8)	7 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
3 教材の拡大	98 (92)	58.3 (53.2)	95 (89)	18 (16)	3 (2)	4 (8)	1.3 (2.8)	4 (8)	1 (0)	1 (0)	17 (13)	4.9 (3.9)	16 (11)	1 (2)	0 (0)	0 (1)	0.0 (0.8)	0 (1)	0 (0)	0 (0)
4 ガイドヘルプ	38 (37)	22.6 (21.4)	24 (20)	25 (29)	7 (4)	2 (2)	0.7 (0.7)	0 (1)	1 (1)	1 (0)	45 (48)	12.9 (14.3)	16 (19)	32 (35)	10 (8)	3 (1)	2.1 (0.8)	1 (0)	3 (1)	1 (0)
5 リーディングサービス	28 (27)	16.7 (15.6)	18 (15)	18 (17)	3 (3)	2 (3)	0.7 (1.1)	1 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0.0 (0.3)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	1 (1)	0.7 (0.8)	0 (1)	0 (1)	1 (1)
6 手話通訳	1 (0)	0.6 (0.0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	75 (74)	24.8 (26.0)	13 (12)	30 (28)	59 (60)	1 (0)	0.3 (0.0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
7 ノートテイク	17 (17)	10.1 (9.8)	4 (5)	15 (15)	2 (0)	181 (183)	59.9 (64.2)	22 (29)	166 (157)	57 (57)	32 (29)	9.1 (8.7)	3 (2)	31 (4)	4 (4)	0 (2)	0.0 (1.7)	0 (1)	0 (1)	0 (0)
8 パソコンテイク	5 (17)	3.0 (9.8)	1 (2)	4 (4)	0 (0)	95 (89)	31.5 (31.2)	17 (16)	76 (77)	34 (26)	8 (7)	2.3 (2.1)	3 (1)	7 (6)	0 (1)	0 (1)	0.0 (0.8)	0 (0)	0 (1)	0 (0)
9 ビデオ教材字幕付け	5 (0)	3.0 (0.0)	4 (0)	1 (0)	0 (0)	59 (60)	19.5 (21.1)	27 (30)	45 (45)	10 (8)	1 (4)	0.3 (1.2)	0 (2)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	21 (18)	12.5 (10.4)	7 (6)	17 (13)	1 (1)	31 (26)	10.3 (9.1)	9 (9)	25 (20)	0 (0)	22 (17)	6.3 (5.1)	13 (6)	14 (12)	0 (1)	6 (7)	4.2 (5.9)	5 (6)	2 (3)	0 (0)
11 試験時間延長・別室受験	90 (88)	53.6 (50.9)	- (-)	- (-)	- (-)	25 (29)	8.3 (10.2)	- (-)	- (-)	- (-)	115 (115)	32.9 (34.3)	- (-)	- (-)	- (-)	15 (19)	10.6 (16.0)	- (-)	- (-)	- (-)
12 解答方法配慮	83 (77)	49.4 (44.5)	- (-)	- (-)	- (-)	21 (23)	7.0 (8.1)	- (-)	- (-)	- (-)	78 (81)	22.3 (24.2)	- (-)	- (-)	- (-)	6 (6)	4.2 (5.0)	- (-)	- (-)	- (-)
13 パソコンの持込使用許可	52 (46)	31.0 (26.6)	- (-)	- (-)	- (-)	34 (30)	11.3 (10.5)	- (-)	- (-)	- (-)	62 (53)	17.7 (15.8)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (3)	1.4 (2.5)	- (-)	- (-)	- (-)
14 注意事項等文書伝達	38 (40)	22.6 (23.1)	- (-)	- (-)	- (-)	116 (112)	38.4 (39.3)	- (-)	- (-)	- (-)	40 (37)	11.4 (11.0)	- (-)	- (-)	- (-)	13 (15)	9.2 (12.6)	- (-)	- (-)	- (-)
15 使用教室配慮	37 (35)	22.0 (20.2)	- (-)	- (-)	- (-)	33 (26)	10.9 (9.1)	- (-)	- (-)	- (-)	186 (185)	53.1 (55.2)	- (-)	- (-)	- (-)	23 (17)	16.2 (14.3)	- (-)	- (-)	- (-)
16 実技・実習配慮	64 (62)	38.1 (35.8)	- (-)	- (-)	- (-)	74 (82)	24.5 (28.8)	- (-)	- (-)	- (-)	174 (171)	49.7 (51.0)	- (-)	- (-)	- (-)	63 (57)	44.4 (47.9)	- (-)	- (-)	- (-)
17 教室内座席配慮	85 (75)	50.6 (43.4)	- (-)	- (-)	- (-)	151 (141)	50.0 (49.5)	- (-)	- (-)	- (-)	219 (205)	62.6 (61.2)	- (-)	- (-)	- (-)	33 (31)	23.2 (26.1)	- (-)	- (-)	- (-)
18 FM補聴器・マイク使用	0 (3)	0.0 (1.7)	- (-)	- (-)	- (-)	103 (77)	34.1 (27.0)	- (-)	- (-)	- (-)	6 (6)	1.7 (1.8)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
19 専用机・イス・スペース確保	17 (15)	10.1 (8.7)	- (-)	- (-)	- (-)	20 (12)	6.6 (4.2)	- (-)	- (-)	- (-)	196 (198)	56.0 (59.1)	- (-)	- (-)	- (-)	13 (8)	9.2 (6.7)	- (-)	- (-)	- (-)
20 読み上げソフト使用	48 (44)	28.6 (25.4)	- (-)	- (-)	- (-)	5 (1)	1.7 (0.4)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (2)	0.0 (0.6)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
21 講義内容録音許可	41 (38)	24.4 (22.0)	- (-)	- (-)	- (-)	34 (25)	11.3 (8.8)	- (-)	- (-)	- (-)	42 (38)	12.0 (11.3)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (4)	2.8 (3.4)	- (-)	- (-)	- (-)
22 休憩室の確保	24 (22)	14.3 (12.7)	- (-)	- (-)	- (-)	19 (12)	6.3 (4.2)	- (-)	- (-)	- (-)	78 (91)	22.3 (27.2)	- (-)	- (-)	- (-)	52 (40)	36.6 (33.6)	- (-)	- (-)	- (-)
23 その他	41 (41)	24.4 (23.7)	- (-)	- (-)	- (-)	37 (39)	12.3 (13.7)	- (-)	- (-)	- (-)	57 (62)	16.3 (18.5)	- (-)	- (-)	- (-)	26 (27)	18.3 (22.7)	- (-)	- (-)	- (-)
実施校数	168 (173)		122 (125)	64 (64)	48 (46)	302 (285)		66 (75)	182 (174)	96 (96)	350 (335)		47 (41)	65 (68)	14 (14)	142 (119)		6 (8)	5 (6)	2 (1)
* 授業以外の支援	44 (51)		- (43)	- (13)	- (5)	74 (72)		- (55)	- (20)	- (5)	162 (165)		- (120)	- (26)	- (9)	75 (65)		- (56)	- (-)	- (3)

※各障害種別に授業支援内容は複数回答あり

※実施率:授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

区 分	重複					発達障害					その他					実施校数 (校)	実施率 (%)	
	実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者			実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者			実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者					
			教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)			教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)			教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)			
1	点訳・墨訳	4 (5)	8.9 (11.4)	4 (4)	1 (0)	2 (3)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0.8 (0.0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	55 (55)	8.8 (9.1)
2	教材のテキスト データ化	8 (4)	17.8 (9.1)	8 (4)	0 (1)	4 (2)	2 (1)	0.7 (0.4)	2 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0.8 (0.0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	82 (77)	13.1 (12.7)
3	教材の拡大	9 (6)	20.0 (13.6)	9 (6)	2 (1)	1 (0)	2 (2)	0.7 (0.8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	2.3 (1.5)	3 (2)	0 (0)	1 (0)	118 (114)	18.9 (18.8)
4	ガイドヘルプ	12 (8)	26.7 (18.2)	7 (5)	9 (6)	4 (3)	10 (7)	3.4 (2.8)	9 (7)	2 (2)	0 (0)	2 (1)	1.6 (0.8)	2 (1)	0 (0)	1 (0)	85 (83)	13.6 (13.7)
5	リーディング サービス	3 (3)	6.7 (6.8)	2 (2)	2 (0)	2 (3)	0 (1)	0.0 (0.4)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0.8 (0.0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	32 (30)	5.1 (5.0)
6	手話通訳	2 (2)	4.4 (4.5)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	0.3 (0.0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0.8 (0.0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	76 (74)	12.2 (12.2)
7	ノートテイク	6 (9)	13.3 (20.5)	2 (1)	6 (8)	1 (0)	8 (9)	2.7 (3.7)	4 (2)	6 (8)	0 (0)	3 (5)	2.3 (3.8)	1 (1)	3 (4)	2 (0)	204 (208)	32.6 (34.3)
8	パソコンテイク	2 (5)	4.4 (11.4)	1 (1)	1 (4)	0 (1)	1 (1)	0.3 (0.4)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	2.3 (0.0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	103 (101)	16.5 (16.7)
9	ビデオ教材 字幕付け	4 (2)	8.9 (4.5)	2 (2)	3 (2)	0 (0)	1 (1)	0.3 (0.4)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0.8 (0.8)	1 (0)	1 (1)	0 (1)	63 (64)	10.1 (10.6)
10	チューター又はティーチ ング・アシスタントの活用	4 (6)	8.9 (13.6)	3 (3)	3 (5)	2 (1)	40 (40)	13.7 (16.3)	27 (21)	18 (22)	3 (2)	10 (5)	7.8 (3.8)	8 (3)	4 (4)	1 (0)	85 (77)	13.6 (12.7)
11	試験時間延長 ・別室受験	24 (19)	53.3 (43.2)	- (-)	- (-)	- (-)	35 (35)	11.9 (14.2)	- (-)	- (-)	- (-)	31 (40)	24.0 (30.8)	- (-)	- (-)	- (-)	211 (214)	33.8 (35.3)
12	解答方法配慮	17 (16)	37.8 (36.4)	- (-)	- (-)	- (-)	27 (21)	9.2 (8.5)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (8)	5.4 (6.2)	- (-)	- (-)	- (-)	170 (166)	27.2 (27.4)
13	パソコンの持込 使用許可	15 (15)	33.3 (34.1)	- (-)	- (-)	- (-)	12 (12)	4.1 (4.9)	- (-)	- (-)	- (-)	6 (6)	4.7 (4.6)	- (-)	- (-)	- (-)	132 (121)	21.1 (20.0)
14	注意事項等文書伝 達	9 (13)	20.0 (29.5)	- (-)	- (-)	- (-)	91 (55)	31.1 (22.4)	- (-)	- (-)	- (-)	21 (18)	16.3 (13.8)	- (-)	- (-)	- (-)	207 (185)	33.1 (30.5)
15	使用教室配慮	19 (16)	42.2 (36.4)	- (-)	- (-)	- (-)	22 (10)	7.5 (4.1)	- (-)	- (-)	- (-)	11 (8)	8.5 (6.2)	- (-)	- (-)	- (-)	238 (224)	38.1 (37.0)
16	実技・実習配慮	22 (19)	48.9 (43.2)	- (-)	- (-)	- (-)	99 (70)	33.8 (28.5)	- (-)	- (-)	- (-)	32 (36)	24.8 (27.7)	- (-)	- (-)	- (-)	310 (292)	49.6 (48.2)
17	教室内座席配慮	24 (20)	53.3 (45.5)	- (-)	- (-)	- (-)	67 (50)	22.9 (20.3)	- (-)	- (-)	- (-)	26 (37)	20.2 (28.5)	- (-)	- (-)	- (-)	381 (347)	61.0 (57.3)
18	FM補聴器・マイク使 用	3 (3)	6.7 (6.8)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	0.3 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	0.8 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	108 (84)	17.3 (13.9)
19	専用机・イス ・スペース確保	15 (15)	33.3 (34.1)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (5)	2.4 (2.0)	- (-)	- (-)	- (-)	5 (2)	3.9 (1.5)	- (-)	- (-)	- (-)	229 (218)	36.6 (36.0)
20	読み上げソフト 使用	7 (5)	15.6 (11.4)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (1)	0.0 (0.4)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	0.8 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	54 (46)	8.6 (7.6)
21	講義内容録音許可	10 (8)	22.2 (18.2)	- (-)	- (-)	- (-)	36 (28)	12.3 (11.4)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (4)	5.4 (3.1)	- (-)	- (-)	- (-)	122 (102)	19.5 (16.8)
22	休憩室の確保	15 (13)	33.3 (29.5)	- (-)	- (-)	- (-)	92 (81)	31.4 (32.9)	- (-)	- (-)	- (-)	49 (43)	38.0 (33.1)	- (-)	- (-)	- (-)	181 (178)	29.0 (29.4)
23	その他	10 (11)	22.2 (25.0)	- (-)	- (-)	- (-)	79 (75)	27.0 (30.5)	- (-)	- (-)	- (-)	35 (37)	27.1 (28.5)	- (-)	- (-)	- (-)	170 (167)	27.2 (27.6)
実施校数		45 (44)		20 (15)	18 (17)	7 (8)	293 (246)		41 (30)	24 (29)	4 (4)	129 (130)		12 (7)	6 (7)	2 (2)	625 (606)	
*	授業以外の支援	23 (26)		- (21)	- (5)	- (2)	480 (266)		- (-)	- (-)	- (-)	75 (221)		- (210)	- (28)	- (12)	572 (434)	

※発達障害：発達障害(診断書有)及び発達障害(診断書無・配慮有)

(2)-イ 授業支援内容別・障害種別 (大学)

< 概要 >

授業支援内容別・障害種別の状況は以下のとおりであった。

< 結果 >

表24 授業支援実施状況 [授業支援内容別・障害種別(大学)]

区 分	視覚障害					聴覚・言語障害					肢体不自由					病弱・虚弱				
	実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者		
			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部
(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	
1 点訳・墨訳	49 (49)	33.1 (31.2)	31 (28)	15 (13)	36 (39)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2 教材のテキストデータ化	58 (58)	39.2 (36.9)	48 (52)	20 (18)	13 (13)	12 (12)	4.6 (5.0)	11 (11)	2 (2)	0 (0)	7 (6)	2.3 (2.1)	7 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
3 教材の拡大	86 (84)	58.1 (53.5)	83 (81)	16 (16)	3 (2)	4 (6)	1.5 (2.5)	4 (6)	1 (0)	1 (0)	15 (12)	4.9 (4.1)	14 (10)	1 (2)	0 (0)	0 (1)	0.0 (1.0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)
4 ガイドヘルプ	33 (34)	22.3 (21.7)	21 (19)	22 (27)	6 (4)	1 (1)	0.4 (0.4)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	39 (41)	12.7 (14.1)	13 (15)	29 (31)	9 (7)	2 (0)	1.6 (0.0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)
5 リーディングサービス	26 (25)	17.6 (15.9)	16 (14)	17 (16)	3 (3)	1 (3)	0.4 (1.2)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0.0 (0.3)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	0.8 (1.0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)
6 手話通訳	1 (0)	0.7 (0.0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	72 (70)	27.5 (28.9)	11 (11)	29 (27)	57 (56)	1 (0)	0.3 (0.0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
7 ノートテイク	17 (17)	11.5 (10.8)	4 (5)	15 (15)	2 (0)	169 (163)	64.5 (67.4)	20 (23)	158 (145)	54 (52)	31 (29)	10.1 (10.0)	2 (2)	30 (28)	4 (4)	0 (2)	0.0 (2.0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)
8 パソコンテイク	5 (5)	3.4 (3.2)	1 (2)	4 (4)	0 (0)	89 (83)	34.0 (34.3)	17 (16)	72 (71)	32 (26)	8 (7)	2.6 (2.4)	3 (1)	7 (6)	0 (1)	0 (1)	0.0 (1.0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)
9 ビデオ教材字幕付け	4 (0)	2.7 (0.0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	55 (53)	21.0 (21.9)	24 (24)	44 (42)	10 (8)	1 (4)	0.3 (1.4)	0 (2)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	20 (17)	13.5 (10.8)	6 (5)	17 (13)	1 (1)	27 (24)	10.3 (9.9)	7 (7)	23 (19)	0 (0)	20 (15)	6.5 (5.2)	11 (4)	14 (12)	0 (1)	4 (4)	3.2 (4.0)	3 (3)	2 (2)	0 (0)
11 試験時間延長・別室受験	83 (84)	56.1 (53.5)	- (-)	- (-)	- (-)	22 (27)	8.4 (11.2)	- (-)	- (-)	- (-)	111 (110)	36.3 (37.8)	- (-)	- (-)	- (-)	13 (18)	10.3 (17.8)	- (-)	- (-)	- (-)
12 解答方法配慮	75 (71)	50.7 (45.2)	- (-)	- (-)	- (-)	20 (22)	7.6 (9.1)	- (-)	- (-)	- (-)	74 (79)	24.2 (27.1)	- (-)	- (-)	- (-)	6 (6)	4.8 (5.9)	- (-)	- (-)	- (-)
13 パソコンの持込使用許可	48 (45)	32.4 (28.7)	- (-)	- (-)	- (-)	33 (30)	12.6 (12.4)	- (-)	- (-)	- (-)	59 (51)	19.3 (17.5)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (3)	1.6 (3.0)	- (-)	- (-)	- (-)
14 注意事項等文書伝達	34 (37)	23.0 (23.6)	- (-)	- (-)	- (-)	109 (103)	41.6 (42.6)	- (-)	- (-)	- (-)	39 (37)	12.7 (12.7)	- (-)	- (-)	- (-)	11 (12)	8.7 (11.9)	- (-)	- (-)	- (-)
15 使用教室配慮	33 (33)	22.3 (21.0)	- (-)	- (-)	- (-)	29 (19)	11.1 (7.9)	- (-)	- (-)	- (-)	167 (162)	54.6 (55.7)	- (-)	- (-)	- (-)	23 (17)	18.3 (16.8)	- (-)	- (-)	- (-)
16 実技・実習配慮	59 (58)	39.9 (36.9)	- (-)	- (-)	- (-)	68 (73)	26.0 (30.2)	- (-)	- (-)	- (-)	148 (141)	48.4 (48.5)	- (-)	- (-)	- (-)	53 (45)	42.1 (44.6)	- (-)	- (-)	- (-)
17 教室内座席配慮	71 (66)	48.0 (42.0)	- (-)	- (-)	- (-)	125 (117)	47.7 (48.3)	- (-)	- (-)	- (-)	192 (181)	62.7 (62.2)	- (-)	- (-)	- (-)	28 (29)	22.2 (28.7)	- (-)	- (-)	- (-)
18 FM補聴器・マイク使用	0 (3)	0.0 (1.9)	- (-)	- (-)	- (-)	93 (69)	35.5 (28.5)	- (-)	- (-)	- (-)	5 (4)	1.6 (1.4)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
19 専用机・イス・スペース確保	15 (14)	10.1 (8.9)	- (-)	- (-)	- (-)	19 (11)	7.3 (4.5)	- (-)	- (-)	- (-)	178 (181)	58.2 (62.2)	- (-)	- (-)	- (-)	13 (8)	10.3 (7.9)	- (-)	- (-)	- (-)
20 読み上げソフト使用	44 (42)	29.7 (26.8)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (1)	1.1 (0.4)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (2)	0.0 (0.7)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
21 講義内容録音許可	34 (35)	23.0 (22.3)	- (-)	- (-)	- (-)	32 (22)	12.2 (9.1)	- (-)	- (-)	- (-)	41 (36)	13.4 (12.4)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (4)	3.2 (4.0)	- (-)	- (-)	- (-)
22 休憩室の確保	22 (21)	14.9 (13.4)	- (-)	- (-)	- (-)	18 (11)	6.9 (4.5)	- (-)	- (-)	- (-)	73 (85)	23.9 (29.2)	- (-)	- (-)	- (-)	47 (36)	37.3 (35.6)	- (-)	- (-)	- (-)
23 その他	35 (37)	23.6 (23.6)	- (-)	- (-)	- (-)	31 (34)	11.8 (14.0)	- (-)	- (-)	- (-)	52 (55)	17.0 (18.9)	- (-)	- (-)	- (-)	25 (24)	19.8 (23.8)	- (-)	- (-)	- (-)
実施校数	148 (157)		108 (114)	60 (62)	43 (45)	262 (242)		60 (63)	174 (161)	90 (88)	306 (291)		39 (34)	61 (64)	13 (13)	126 (101)		4 (5)	4 (5)	2 (1)
* 授業以外の支援	38 (46)		- (39)	- (13)	- (13)	63 (65)		- (51)	- (20)	- (5)	136 (146)		- (109)	- (24)	- (9)	62 (53)		- (45)	- (8)	- (3)

※各障害種別に授業支援内容は複数回答あり

※実施率:授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

区 分	重複					発達障害					その他					実施校数 (校)	実施率 (%)
	実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者			実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者			実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者				
			教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)			教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)			教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)		
1 点訳・墨訳	4 (5)	9.3 (11.6)	4 (4)	1 (0)	2 (3)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0.9 (0.0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	50 (51)	10.2 (10.7)
2 教材のテキストデータ化	8 (4)	18.6 (9.3)	8 (4)	0 (1)	4 (2)	2 (1)	0.9 (0.5)	2 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0.9 (0.0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	72 (68)	14.7 (14.3)
3 教材の拡大	9 (6)	20.9 (14.0)	9 (6)	2 (1)	1 (0)	0 (1)	0.0 (0.5)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	2.8 (1.8)	3 (2)	0 (0)	1 (0)	102 (102)	20.8 (21.4)
4 ガイドヘルプ	11 (7)	25.6 (16.3)	7 (5)	8 (5)	4 (3)	5 (4)	2.2 (2.1)	5 (4)	0 (2)	0 (0)	2 (0)	1.9 (0.0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	69 (69)	14.1 (14.5)
5 リーディングサービス	3 (3)	7.0 (7.0)	2 (2)	2 (0)	2 (3)	0 (1)	0.0 (0.5)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0.9 (0.0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	30 (28)	6.1 (5.9)
6 手話通訳	2 (2)	4.7 (4.7)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	0.4 (0.0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0.9 (0.0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	73 (70)	14.9 (14.7)
7 ノートテイク	5 (8)	11.6 (18.6)	2 (1)	5 (7)	1 (0)	7 (8)	3.1 (4.3)	3 (1)	6 (8)	0 (0)	3 (5)	2.8 (4.5)	1 (1)	3 (4)	0 (2)	189 (187)	38.6 (39.2)
8 パソコンテイク	2 (5)	4.7 (11.6)	1 (1)	1 (4)	0 (1)	1 (1)	0.4 (0.5)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	2.8 (0.0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	97 (95)	19.8 (19.9)
9 ビデオ教材字幕付け	4 (2)	9.3 (4.7)	2 (2)	3 (2)	0 (0)	1 (1)	0.4 (0.5)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0.9 (0.9)	1 (0)	1 (1)	0 (1)	59 (57)	12.0 (11.9)
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	4 (6)	9.3 (14.0)	3 (3)	3 (5)	2 (1)	30 (29)	13.3 (15.4)	19 (12)	17 (21)	2 (1)	7 (5)	6.5 (4.5)	5 (3)	4 (4)	1 (0)	70 (64)	14.3 (13.4)
11 試験時間延長・別室受験	22 (18)	51.2 (41.9)	- (-)	- (-)	- (-)	31 (29)	13.7 (15.4)	- (-)	- (-)	- (-)	30 (35)	28.0 (31.5)	- (-)	- (-)	- (-)	189 (193)	38.6 (40.5)
12 解答方法配慮	16 (16)	37.2 (37.2)	- (-)	- (-)	- (-)	23 (16)	10.2 (8.5)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (8)	6.5 (7.2)	- (-)	- (-)	- (-)	152 (152)	31.0 (31.9)
13 パソコンの持込使用許可	14 (14)	32.6 (32.6)	- (-)	- (-)	- (-)	11 (11)	4.9 (5.9)	- (-)	- (-)	- (-)	6 (6)	5.6 (5.4)	- (-)	- (-)	- (-)	122 (116)	24.9 (24.3)
14 注意事項等文書伝達	9 (13)	20.9 (30.2)	- (-)	- (-)	- (-)	65 (44)	28.8 (23.4)	- (-)	- (-)	- (-)	20 (18)	18.7 (16.2)	- (-)	- (-)	- (-)	173 (162)	35.3 (34.0)
15 使用教室配慮	18 (16)	41.9 (37.2)	- (-)	- (-)	- (-)	19 (7)	8.4 (3.7)	- (-)	- (-)	- (-)	8 (8)	7.5 (7.2)	- (-)	- (-)	- (-)	205 (191)	41.8 (40.0)
16 実技・実習配慮	21 (19)	48.8 (44.2)	- (-)	- (-)	- (-)	71 (51)	31.4 (27.1)	- (-)	- (-)	- (-)	27 (29)	25.2 (26.1)	- (-)	- (-)	- (-)	246 (232)	50.2 (48.6)
17 教室内座席配慮	23 (20)	53.5 (46.5)	- (-)	- (-)	- (-)	50 (32)	22.1 (17.0)	- (-)	- (-)	- (-)	24 (2)	22.4 (1.8)	- (-)	- (-)	- (-)	311 (286)	63.5 (60.0)
18 FM補聴器・マイク使用	3 (3)	7.0 (7.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	0.4 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	0.9 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	97 (74)	19.8 (15.5)
19 専用机・イス・スペース確保	14 (15)	32.6 (34.9)	- (-)	- (-)	- (-)	6 (5)	2.7 (2.7)	- (-)	- (-)	- (-)	5 (2)	4.7 (1.8)	- (-)	- (-)	- (-)	206 (199)	42.0 (41.7)
20 読み上げソフト使用	7 (5)	16.3 (11.6)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (1)	0.0 (0.5)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	0.9 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	48 (44)	9.8 (9.2)
21 講義内容録音許可	10 (8)	23.3 (18.6)	- (-)	- (-)	- (-)	33 (25)	14.6 (13.3)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (4)	6.5 (3.6)	- (-)	- (-)	- (-)	111 (92)	22.7 (19.3)
22 休憩室の確保	15 (13)	34.9 (30.2)	- (-)	- (-)	- (-)	75 (63)	33.2 (33.5)	- (-)	- (-)	- (-)	38 (37)	35.5 (33.3)	- (-)	- (-)	- (-)	150 (151)	30.6 (31.7)
23 その他	10 (11)	23.3 (25.6)	- (-)	- (-)	- (-)	63 (62)	27.9 (33.0)	- (-)	- (-)	- (-)	29 (33)	27.1 (29.7)	- (-)	- (-)	- (-)	140 (140)	28.6 (29.4)
実施校数	43 (43)		20 (15)	17 (16)	7 (8)	226 (188)		27 (19)	21 (28)	3 (3)	107 (111)		9 (6)	6 (7)	2 (2)	490 (477)	
* 授業以外の支援	22 (25)		- (21)	- (5)	- (2)	363 (210)		- (-)	- (-)	- (-)	62 (185)		- (176)	- (27)	- (12)	434 (342)	

※発達障害：発達障害(診断書有)及び発達障害(診断書無・配慮有)

(2)-ウ 授業支援内容別・障害種別（短期大学（部））

< 概要 >

授業支援内容別・障害種別の状況は以下のとおりであった。

< 結果 >

表25 授業支援実施状況〔授業支援内容別・障害種別（短期大学（部））〕

区分	視覚障害					聴覚・言語障害					肢体不自由					病弱・虚弱				
	実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者			実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者			実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者			実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者		
			教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)			教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)			教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)			教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)
1 点訳・墨訳	5 (4)	31.3 (30.8)	1 (3)	0 (0)	5 (1)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2 教材のテキストデータ化	4 (3)	25.0 (23.1)	3 (3)	0 (0)	1 (0)	4 (5)	13.8 (15.2)	4 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
3 教材の拡大	9 (6)	56.3 (46.2)	9 (6)	2 (0)	0 (0)	0 (2)	0.0 (6.1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3.7 (0.0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
4 ガイドヘルプ	5 (3)	31.3 (23.1)	3 (1)	3 (2)	1 (0)	0 (1)	0.0 (3.0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (4)	11.1 (12.5)	0 (1)	2 (3)	1 (1)	1 (1)	10.0 (8.3)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
5 リーディングサービス	2 (2)	12.5 (15.4)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	3.4 (0.0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
6 手話通訳	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (4)	10.3 (12.1)	2 (1)	1 (1)	2 (4)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
7 ノートテイク	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (19)	37.9 (57.6)	2 (6)	7 (11)	3 (5)	1 (0)	3.7 (0.0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
8 パソコンテイク	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (6)	17.2 (18.2)	0 (0)	3 (6)	2 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
9 ビデオ教材字幕付け	1 (0)	6.3 (0.0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (7)	13.8 (21.2)	3 (6)	1 (3)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	1 (1)	6.3 (7.7)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	10.3 (6.1)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	7.4 (6.3)	2 (2)	0 (0)	0 (3)	2 (3)	20.0 (25.0)	2 (3)	0 (0)	0 (0)
11 試験時間延長・別室受験	6 (1)	37.5 (7.7)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	6.9 (6.1)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	7.4 (6.3)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (3)	10.0 (25.0)	- (-)	- (-)	- (-)
12 解答方法配慮	7 (5)	43.8 (38.5)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (1)	0.0 (3.0)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (0)	7.4 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
13 パソコンの持込使用許可	4 (1)	25.0 (7.7)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	3.4 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	3.7 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
14 注意事項等文書伝達	4 (3)	25.0 (23.1)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (9)	24.1 (27.3)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	3.7 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	20.0 (16.7)	- (-)	- (-)	- (-)
15 使用教室配慮	4 (2)	25.0 (15.4)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (6)	13.8 (18.2)	- (-)	- (-)	- (-)	10 (13)	37.0 (40.6)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
16 実技・実習配慮	5 (4)	31.3 (30.8)	- (-)	- (-)	- (-)	5 (8)	17.2 (24.2)	- (-)	- (-)	- (-)	13 (21)	48.1 (65.6)	- (-)	- (-)	- (-)	6 (9)	60.0 (75.0)	- (-)	- (-)	- (-)
17 教室内座席配慮	10 (6)	62.5 (46.2)	- (-)	- (-)	- (-)	20 (19)	69.0 (57.6)	- (-)	- (-)	- (-)	14 (14)	51.9 (43.8)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (2)	40.0 (16.7)	- (-)	- (-)	- (-)
18 FM補聴器・マイク使用	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (6)	24.1 (18.2)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (1)	0.0 (3.1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
19 専用机・イス・スペース確保	1 (0)	6.3 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	3.4 (3.0)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (8)	25.9 (25.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
20 読み上げソフト使用	4 (2)	25.0 (15.4)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	3.4 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
21 講義内容録音許可	7 (3)	43.8 (23.1)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (3)	6.9 (9.1)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	3.7 (3.1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
22 休憩室の確保	2 (1)	12.5 (7.7)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	3.4 (3.0)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (4)	11.1 (12.5)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (3)	40.0 (25.0)	- (-)	- (-)	- (-)
23 その他	5 (3)	31.3 (23.1)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (5)	13.8 (15.2)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (6)	7.4 (18.8)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (2)	10.0 (16.7)	- (-)	- (-)	- (-)
実施校数	16 (13)		11 (9)	4 (2)	5 (1)	29 (33)		6 (12)	7 (12)	5 (8)	27 (32)		4 (3)	3 (3)	1 (1)	10 (12)		2 (3)	1 (1)	0 (0)
* 授業以外の支援	5 (3)		- (2)	- (0)	- (0)	9 (7)		- (7)	- (0)	- (0)	17 (13)		- (7)	- (1)	- (0)	12 (9)		- (8)	- (0)	- (0)

※各障害種別に授業支援内容は複数回答あり

※実施率:授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

区 分	重複					発達障害					その他					実施校数 (校)	実施率 (%)
	実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者			実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者			実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者				
			教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)			教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)			教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)		
1	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	5	5.3
	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(4)	(4.4)
2	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	8	8.5
	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(8)	(8.9)
3	0	0.0	0	0	0	2	5.1	2	0	0	0	0.0	0	0	0	12	12.8
	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(3.0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(9)	(10.0)
4	1	50.0	0	1	0	1	2.6	0	1	0	0	0.0	0	0	0	8	8.5
	(1)	(100.0)	(0)	(1)	(0)	(2)	(6.1)	(2)	(0)	(0)	(1)	(7.1)	(1)	(0)	(0)	(10)	(11.1)
5	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	2	2.1
	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(2.2)
6	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	3	3.2
	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(4)	(4.4)
7	1	50.0	0	1	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	13	13.8
	(1)	(100.0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(3.0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(20)	(22.2)
8	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	5	5.3
	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(6)	(6.7)
9	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	4	4.3
	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(7)	(7.8)
10	0	0.0	0	0	0	5	12.8	5	0	0	3	18.8	3	0	0	9	9.6
	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(6)	(18.2)	(6)	(0)	(0)	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(8)	(8.9)
11	2	100.0	-	-	-	0	0.0	-	-	-	1	6.3	-	-	-	14	14.9
	(1)	(100.0)	(-)	(-)	(-)	(3)	(9.1)	(-)	(-)	(-)	(2)	(14.3)	(-)	(-)	(-)	(11)	(12.2)
12	1	50.0	-	-	-	2	5.1	-	-	-	0	0.0	-	-	-	12	12.8
	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(2)	(6.1)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(8)	(8.9)
13	1	50.0	-	-	-	0	0.0	-	-	-	0	0.0	-	-	-	7	7.4
	(1)	(100.0)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(2)	(2.2)
14	0	0.0	-	-	-	14	35.9	-	-	-	1	6.3	-	-	-	22	23.4
	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(6)	(18.2)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(18)	(20.0)
15	1	50.0	-	-	-	1	2.6	-	-	-	1	6.3	-	-	-	20	21.3
	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(2)	(6.1)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(21)	(23.3)
16	1	50.0	-	-	-	16	41.0	-	-	-	3	18.8	-	-	-	38	40.4
	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(8)	(24.2)	(-)	(-)	(-)	(5)	(35.7)	(-)	(-)	(-)	(40)	(44.4)
17	1	50.0	-	-	-	10	25.6	-	-	-	1	6.3	-	-	-	43	45.7
	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(10)	(30.3)	(-)	(-)	(-)	(2)	(14.3)	(-)	(-)	(-)	(38)	(42.2)
18	0	0.0	-	-	-	0	0.0	-	-	-	0	0.0	-	-	-	7	7.4
	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(7)	(7.8)
19	1	50.0	-	-	-	0	0.0	-	-	-	0	0.0	-	-	-	10	10.6
	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(9)	(10.0)
20	0	0.0	-	-	-	0	0.0	-	-	-	0	0.0	-	-	-	5	5.3
	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(2)	(2.2)
21	0	0.0	-	-	-	2	5.1	-	-	-	0	0.0	-	-	-	10	10.6
	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(1)	(3.0)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(8)	(8.9)
22	0	0.0	-	-	-	13	33.3	-	-	-	9	56.3	-	-	-	23	24.5
	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(12)	(36.4)	(-)	(-)	(-)	(5)	(35.7)	(-)	(-)	(-)	(19)	(21.1)
23	0	0.0	-	-	-	8	20.5	-	-	-	6	37.5	-	-	-	20	21.3
	(0)	(0.0)	(-)	(-)	(-)	(6)	(18.2)	(-)	(-)	(-)	(4)	(28.6)	(-)	(-)	(-)	(18)	(20.0)
実施校数	2		0	1	0	39		6	1	0	16		3	0	0	94	
	(1)		(0)	(1)	(0)	(33)		(8)	(0)	(0)	(14)		(1)	(0)	(0)	(90)	
* 授業以外の支援	1		-	-	-	76		-	-	-	11		-	-	-	95	
	(1)		(0)	(0)	(0)	(24)		(-)	(-)	(-)	(26)		(24)	(0)	(0)	(54)	

※発達障害：発達障害(診断書有)及び発達障害(診断書無・配慮有)

(2)-エ 授業支援内容別・障害種別（高等専門学校）

< 概要 >

授業支援内容別・障害種別の状況は以下のとおりであった。

< 結果 >

表26 授業支援実施状況〔授業支援内容別・障害種別（高等専門学校）〕

区 分	視覚障害					聴覚・言語障害					肢体不自由					病弱・虚弱				
	実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者			実施校数	実施率	支援者		
			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部			教職員	学生	外部
(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(校)	(校)	(校)	
1 点訳・墨訳	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2 教材のテキストデータ化	1 (1)	25.0 (33.3)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	9.1 (10.0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
3 教材の拡大	3 (2)	75.0 (66.7)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	5.9 (8.3)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
4 ガイドヘルプ	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	9.1 (10.0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	3 (3)	17.6 (25.0)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
5 リーディングサービス	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
6 手話通訳	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
7 ノートテイク	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	9.1 (10.0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
8 パソコンテイク	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	9.1 (10.0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
9 ビデオ教材字幕付け	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	9.1 (10.0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
11 試験時間延長・別室受験	1 (1)	25.0 (33.3)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	9.1 (20.0)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (3)	11.8 (25.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	16.7 (16.7)	- (-)	- (-)	- (-)
12 解答方法配慮	1 (1)	25.0 (33.3)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	9.1 (10.0)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	11.8 (16.7)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
13 パソコンの持込使用許可	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	11.8 (16.7)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
14 注意事項等文書伝達	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (10.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (1)	0.0 (16.7)	- (-)	- (-)	- (-)
15 使用教室配慮	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (1)	0.0 (10.0)	- (-)	- (-)	- (-)	9 (10)	52.9 (83.3)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
16 実技・実習配慮	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	9.1 (10.0)	- (-)	- (-)	- (-)	13 (9)	76.5 (75.0)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (3)	66.7 (50.0)	- (-)	- (-)	- (-)
17 教室内座席配慮	4 (3)	100.0 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	6 (5)	54.5 (50.0)	- (-)	- (-)	- (-)	13 (10)	76.5 (83.3)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	16.7 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
18 FM補聴器・マイク使用	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (2)	27.3 (20.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	5.9 (8.3)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
19 専用机・イス・スペース確保	1 (1)	25.0 (33.3)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	11 (9)	64.7 (75.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
20 読み上げソフト使用	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	9.1 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
21 講義内容録音許可	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (1)	0.0 (8.3)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
22 休憩室の確保	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	11.8 (16.7)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	16.7 (16.7)	- (-)	- (-)	- (-)
23 その他	1 (1)	25.0 (33.3)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (0)	18.2 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (1)	17.6 (8.3)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (1)	0.0 (16.7)	- (-)	- (-)	- (-)
実施校数	4 (3)		3 (2)	0 (0)	0 (0)	11 (11)		0 (0)	1 (1)	1 (0)	17 (12)		4 (4)	1 (1)	0 (0)	6 (6)		0 (0)	0 (0)	0 (0)
* 授業以外の支援	1 (2)		- (2)	- (0)	- (0)	2 (0)		- (0)	- (0)	- (0)	9 (6)		- (4)	- (1)	- (0)	1 (3)		- (3)	- (0)	- (0)

※各障害種別に授業支援内容は複数回答あり

※実施率:授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

区 分	重複					発達障害					その他					実施校数 (校)	実施率 (%)	
	実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者			実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者			実施校数 (校)	実施率 (%)	支援者					
			教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)			教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)			教職員 (校)	学生 (校)	外部 (校)			
1	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	
2	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	4.9 (2.6)	
3	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (3)	9.8 (7.7)	
4	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	4 (4.0)	14.3 (4.0)	4 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (4)	19.5 (10.3)	
5	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	
6	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	
7	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3.6 (0.0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	4.9 (2.6)	
8	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2.4 (0.0)	
9	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	
10	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (5)	5 (20.0)	17.9 (20.0)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (5)	14.6 (12.8)	
11	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (3)	14.3 (12.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (3)	0.0 (60.0)	- (-)	- (-)	- (-)	8 (10)	19.5 (25.6)	
12	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (3)	7.1 (12.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	6 (6)	14.6 (15.4)	
13	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	3.6 (4.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (3)	7.3 (7.7)	
14	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	12 (5)	42.9 (20.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	12 (5)	29.3 (12.8)	
15	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (1)	7.1 (4.0)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (0)	33.3 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	13 (12)	31.7 (30.8)	
16	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	12 (11)	42.9 (44.0)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	33.3 (40.0)	- (-)	- (-)	- (-)	26 (20)	63.4 (51.3)	
17	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (8)	25.0 (32.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	16.7 (20.0)	- (-)	- (-)	- (-)	27 (23)	65.9 (59.0)	
18	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (3)	9.8 (7.7)	
19	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	3.6 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	13 (10)	31.7 (25.6)	
20	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	2.4 (0.0)	
21	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (2)	3.6 (8.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (2)	2.4 (5.1)	
22	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (6)	14.3 (24.0)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (1)	33.3 (20.0)	- (-)	- (-)	- (-)	8 (8)	19.5 (20.5)	
23	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	8 (7)	28.6 (28.0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0.0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	10 (9)	24.4 (23.1)	
実施校数		0 (0)		0 (0)	0 (0)	28 (25)		8 (3)	2 (1)	1 (1)	6 (5)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	41 (39)		
*	授業以外の支援	0 (0)		- (0)	- (0)	- (0)	41 (32)		- (-)	- (-)	- (-)	2 (10)		- (10)	- (1)	- (0)	43 (38)	

※発達障害：発達障害(診断書有)及び発達障害(診断書無・配慮有)

(3)-ア 障害種別詳細（視覚障害）

< 概要 >

視覚障害学生に対する授業支援実施校168校中、授業支援内容の多い順に「教材の拡大」（98校 実施率58.3%）、「試験時間延長・別室受験」（90校 同53.6%）、「教室内座席配慮」（85校 同50.6%）であった。

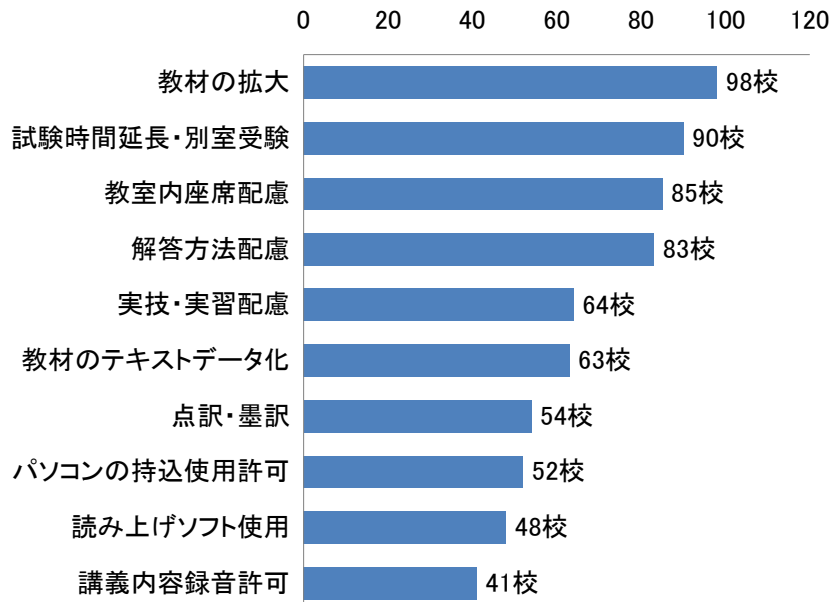
< 結果 >

表27 視覚障害 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
教材の拡大	98	58.3
試験時間延長・別室受験	90	53.6
教室内座席配慮	85	50.6
解答方法配慮	83	49.4
実技・実習配慮	64	38.1
教材のテキストデータ化	63	37.5
点訳・墨訳	54	32.1
パソコンの持込使用許可	52	31.0
読み上げソフト使用	48	28.6
講義内容録音許可	41	24.4

※複数回答あり

図9 視覚障害 主な授業支援内容



(3)-イ 障害種別詳細（聴覚・言語障害）

< 概要 >

聴覚・言語障害学生に対する授業支援実施校302校中、授業支援内容の多い順に「ノートテイク」（181校 実施率59.9%）、「教室内座席配慮」（151校 同50.0%）、「注意事項等文書伝達」（116校 同38.4%）であった。

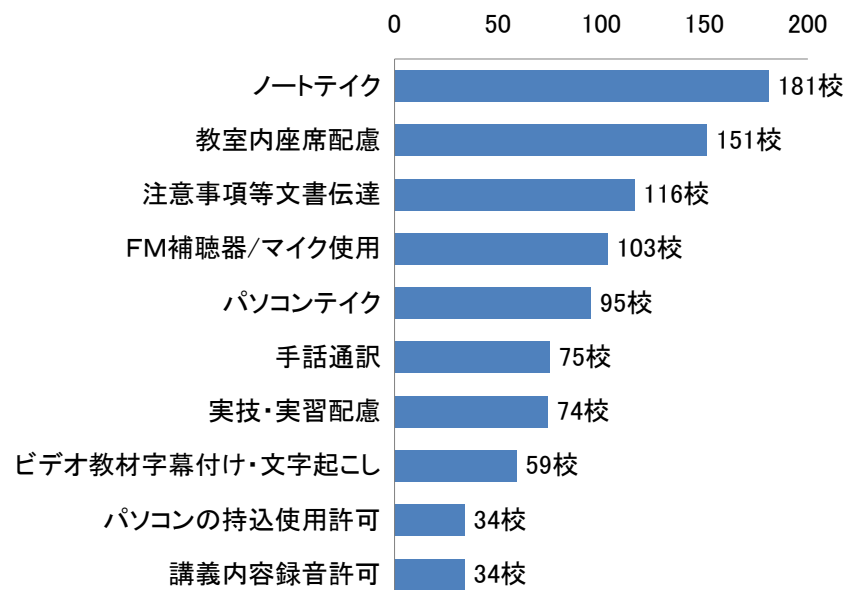
< 結果 >

表28 聴覚・言語障害 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
ノートテイク	181	59.9
教室内座席配慮	151	50.0
注意事項等文書伝達	116	38.4
FM補聴器/マイク使用	103	34.1
パソコンテイク	95	31.5
手話通訳	75	24.8
実技・実習配慮	74	24.5
ビデオ教材字幕付け・文字起こし	59	19.5
パソコンの持込使用許可	34	11.3
講義内容録音許可	34	11.3

※複数回答あり

図10 聴覚・言語障害 主な授業支援内容



(3)-ウ 障害種別詳細（肢体不自由）

< 概要 >

肢体不自由学生に対する授業支援実施校350校中、授業支援内容の多い順に「教室内座席配慮」（219校 実施率62.6%）、「専用機・イス・スペース確保」（196校 同56.0%）、「使用教室配慮」（186校 同53.1%）であった。

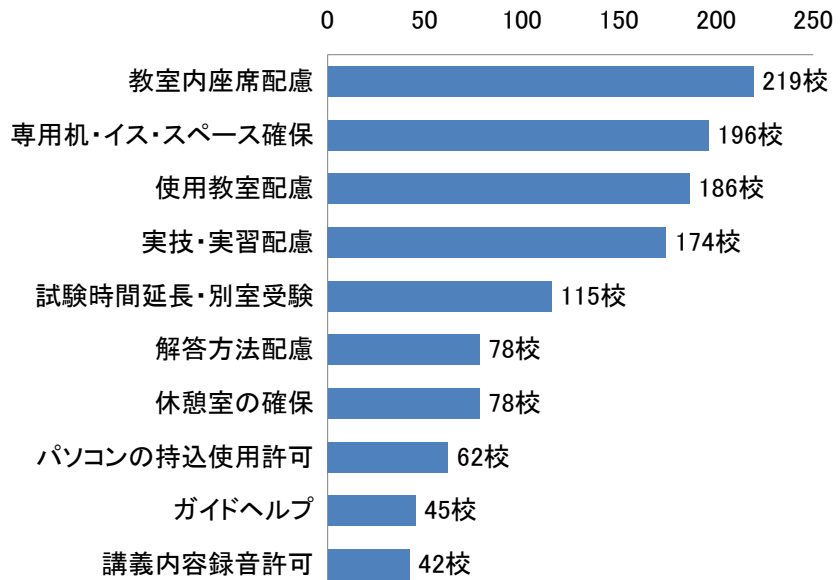
< 結果 >

表29 肢体不自由 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
教室内座席配慮	219	62.6
専用機・イス・スペース確保	196	56.0
使用教室配慮	186	53.1
実技・実習配慮	174	49.7
試験時間延長・別室受験	115	32.9
解答方法配慮	78	22.3
休憩室の確保	78	22.3
パソコンの持込使用許可	62	17.7
ガイドヘルプ	45	12.9
講義内容録音許可	42	12.0

※複数回答あり

図11 肢体不自由 主な授業支援内容



(3)-エ 障害種別詳細（病弱・虚弱）

< 概要 >

病弱・虚弱学生に対する授業支援実施校142校中、授業支援内容の多い順に「実技・実習配慮」（63校 実施率44.4%）、「休憩室の確保」（52校 同36.6%）、「教室内座席配慮」（33校 同23.2%）であった。

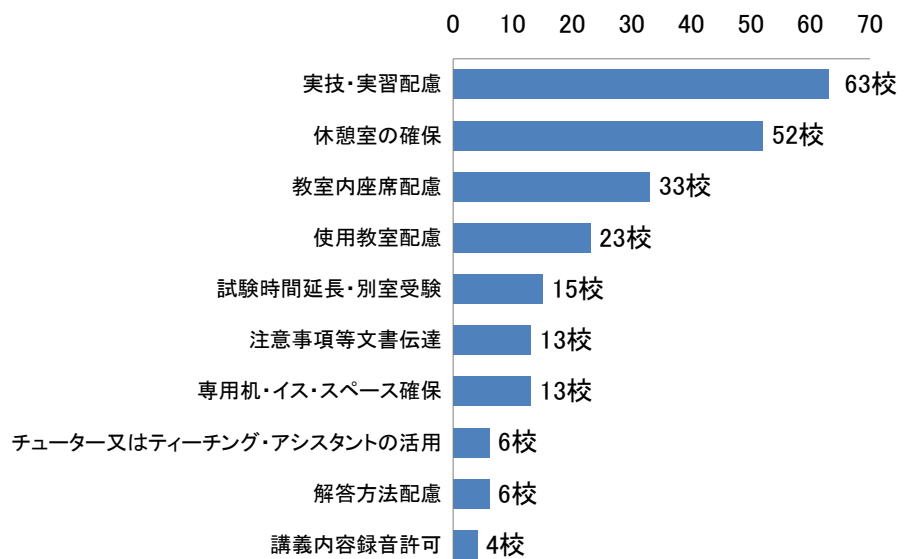
< 結果 >

表30 病弱・虚弱 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
実技・実習配慮	63	44.4
休憩室の確保	52	36.6
教室内座席配慮	33	23.2
使用教室配慮	23	16.2
試験時間延長・別室受験	15	10.6
注意事項等文書伝達	13	9.2
専用機・イス・スペース確保	13	9.2
チューター又はティーチング・アシスタントの活用	6	4.2
解答方法配慮	6	4.2
講義内容録音許可	4	2.8

※複数回答あり

図12 病弱・虚弱 主な授業支援内容



(3)-才 障害種別詳細（発達障害）

< 概要 >

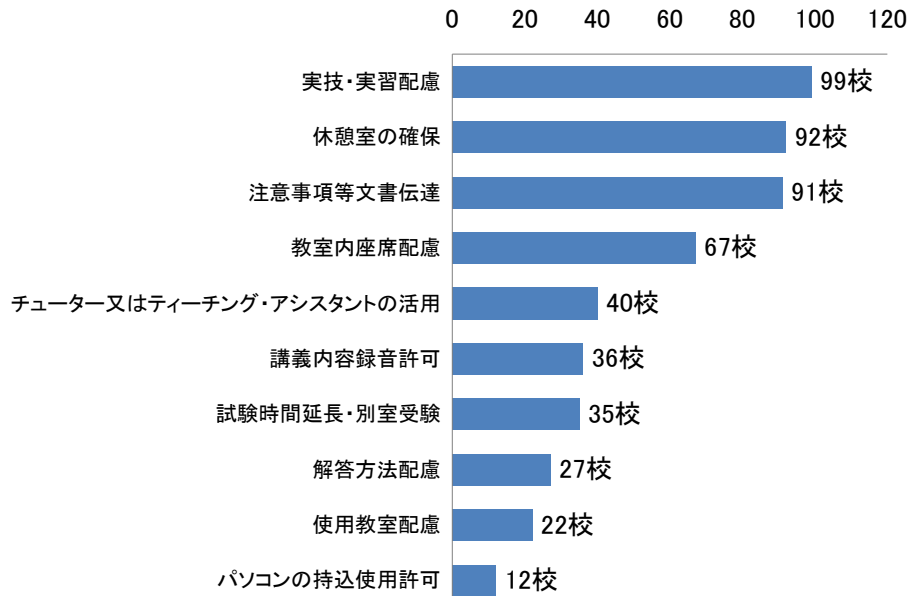
発達障害学生に対する授業支援実施校293校中、授業支援内容の多い順に「実技・実習配慮」（99校 実施率33.8%）、「休憩室の確保」（92校 同31.4%）、「注意事項等文書伝達」（91校 同31.1%）であった。

< 結果 >

表31 発達障害 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
実技・実習配慮	99	33.8
休憩室の確保	92	31.4
注意事項等文書伝達	91	31.1
教室内座席配慮	67	22.9
チューター又はティーチング・アシスタントの活用	40	13.7
講義内容録音許可	36	12.3
試験時間延長・別室受験	35	11.9
解答方法配慮	27	9.2
使用教室配慮	22	7.5
パソコンの持込使用許可	12	4.1

図13 発達障害 主な授業支援内容



※複数回答あり

※発達障害：発達障害（診断書有）及び発達障害（診断書無・配慮有） 44ページ参照

7. 障害学生支援に関わる研修・啓発活動実施状況

(1) 学校種別・障害学生在籍者数別・支援障害学生在籍者数別

< 概要 >

「障害学生支援に関わる教職員に対する研修や、教職員・学生に対する啓発活動（以下「研修・啓発活動」という）などを行なっている」と回答した学校は748校（前年度764校）で、実施率（＝研修・啓発活動実施校数÷学校数（計）×100(%)）は62.0%（同62.6%）であった。

障害学生在籍者数別の研修・啓発活動の実施率は、「21人以上」75.4%（同94.5%）、「11～20人」88.1%（同91.0%）、「6～10人」77.5%（同84.5%）であった。

また、支援障害学生在籍者数別の実施率は、「21人以上」76.7%（同100%）、「11～20人」77.3%（同94.2%）、「6人～10人」85.2%（同93.5%）であった。

< 結果 >

表32 研修・啓発活動実施状況〔学校種別〕

学校種別	学校数 (校)	研修・啓発 実施校数 (校)	実施率 ※1 (%)
大学	776 (775)	536 (528)	69.1 (68.1)
短期大学(部)	373 (387)	165 (187)	44.2 (48.3)
高等専門学校	57 (58)	47 (49)	82.5 (84.5)
計	1,206 (1,220)	748 (764)	62.0 (62.6)

表33 研修・啓発活動実施状況〔障害学生数別・支援障害学生数別〕

障害学生					支援障害学生				
区分	学校種別	学校数 (校)	研修・啓発 実施校数 (校)	実施率 ※1 (%)	区分	学校種別	学校数 (校)	研修・啓発 実施校数 (校)	実施率 ※1 (%)
21人以上	大学	115 (90)	86 (85)	74.8 (94.4)	21人以上	大学	60 (49)	46 (49)	76.7 (100.0)
	短期大学(部)	1 (0)	1 (0)	100.0 (0.0)		短期大学(部)	0 (0)	0 (0)	- (0.0)
	高等専門学校	2 (1)	2 (1)	100.0 (100.0)		高等専門学校	0 (0)	0 (0)	- (0.0)
	小計	118 (91)	89 (86)	75.4 (94.5)		小計	60 (49)	46 (49)	76.7 (100.0)
11～20人	大学	97 (91)	85 (82)	87.6 (90.1)	11～20人	大学	59 (49)	44 (46)	74.6 (93.9)
	短期大学(部)	5 (2)	5 (2)	100.0 (100.0)		短期大学(部)	4 (1)	4 (1)	100.0 (100.0)
	高等専門学校	7 (7)	6 (7)	85.7 (100.0)		高等専門学校	3 (2)	3 (2)	100.0 (100.0)
	小計	109 (100)	96 (91)	88.1 (91.0)		小計	66 (52)	51 (49)	77.3 (94.2)
6～10人	大学	122 (125)	92 (105)	75.4 (84.0)	6～10人	大学	93 (82)	79 (76)	84.9 (92.7)
	短期大学(部)	12 (8)	9 (7)	75.0 (87.5)		短期大学(部)	6 (5)	4 (5)	66.7 (100.0)
	高等専門学校	17 (9)	16 (8)	94.1 (88.9)		高等専門学校	9 (6)	9 (6)	100.0 (100.0)
	小計	151 (142)	117 (120)	77.5 (84.5)		小計	108 (93)	92 (87)	85.2 (93.5)
2～5人	大学	183 (198)	126 (162)	68.9 (81.8)	2～5人	大学	185 (206)	139 (182)	75.1 (88.3)
	短期大学(部)	74 (80)	48 (60)	64.9 (75.0)		短期大学(部)	43 (39)	35 (32)	81.4 (82.1)
	高等専門学校	19 (26)	17 (24)	89.5 (92.3)		高等専門学校	20 (20)	19 (19)	95.0 (95.0)
	小計	276 (304)	191 (246)	69.2 (80.9)		小計	248 (265)	193 (233)	77.8 (87.9)
1人	大学	80 (89)	53 (55)	66.3 (61.8)	1人	大学	109 (108)	69 (73)	63.3 (67.6)
	短期大学(部)	66 (50)	42 (36)	63.6 (72.0)		短期大学(部)	46 (51)	31 (41)	67.4 (80.4)
	高等専門学校	7 (9)	4 (6)	57.1 (66.7)		高等専門学校	12 (9)	9 (8)	75.0 (88.9)
	小計	153 (148)	99 (97)	64.7 (65.5)		小計	167 (168)	109 (122)	65.3 (72.6)
0人	大学	179 (182)	94 (39)	52.5 (21.4)	0人	大学	270 (281)	159 (102)	58.9 (36.3)
	短期大学(部)	215 (247)	60 (82)	27.9 (33.2)		短期大学(部)	274 (291)	91 (108)	33.2 (37.1)
	高等専門学校	5 (6)	2 (3)	40.0 (50.0)		高等専門学校	13 (21)	7 (14)	53.8 (66.7)
	小計	399 (435)	156 (124)	39.1 (28.5)		小計	557 (593)	257 (224)	46.1 (37.8)

※1 実施率：研修・啓発活動実施校数÷学校数×100(%)

(2) 学校種別・内容別

< 概要 >

研修・啓発活動のうち最も多く実施されている活動は「障害学生と支援スタッフ（支援を行なう学生など）に対する相談対応、懇談会等の実施」570校（前年度572校）で、研修・啓発活動実施校の76.2%（同74.9%）、全学校の47.3%（同46.9%）であった。

また、平成22年度より調査を始めた「障害学生に対する就職支援、キャリア教育支援の実施」は375校（前年度376校）で実施されており、これは研修・啓発活動実施校の50.1%（同49.2%）、全学校の31.1%（同30.8%）であった。

< 結果 >

表34 研修・啓発活動実施状況[学校種別・内容別]

区 分		大学 (校)	短期 大学 (部) (校)	高等 専門 学校 (校)	実施 校数 (校)	実施校 (748校) の実施率 (%)	全学校 (1,206校) の実施率 (%)
1	関連する講義（ボランティア論など）の開講	192 (200)	41 (55)	0 (1)	233 (256)	31.1 (33.5)	19.3 (21.0)
2	学生向け各種研修（ノートテイク養成研修など）の実施	121 (126)	20 (20)	2 (0)	143 (146)	19.1 (19.1)	11.9 (12.0)
3	各種イベント（障害体験講座、講演など）の実施	61 (59)	8 (7)	8 (2)	77 (68)	10.3 (8.9)	6.4 (5.6)
4	学内における教職員向け各種研修（FD、SD研修など）の実施	116 (108)	28 (33)	18 (22)	162 (163)	21.7 (21.3)	13.4 (13.4)
	教員向け各種研修(FD研修)の実施	96 (87)	27 (28)	18 (21)	141 (136)	18.9 (17.8)	11.7 (11.1)
	職員向け各種研修(SD研修)の実施	75 (75)	22 (24)	8 (10)	105 (109)	14.0 (14.3)	8.7 (8.9)
5	学外における各種研修等への教職員の派遣	150 (192)	34 (52)	24 (27)	208 (271)	27.8 (35.5)	17.2 (22.2)
6	障害学生と支援スタッフ（支援を行なう学生など）に対する相談対応、懇談会等の実施	412 (411)	118 (123)	40 (38)	570 (572)	76.2 (74.9)	47.3 (46.9)
7	支援マニュアル、パンフレット等の作成配布	125 (113)	20 (30)	12 (10)	157 (153)	21.0 (20.0)	13.0 (12.5)
8	ホームページで障害学生修学支援情報の公開	85 (68)	10 (6)	4 (1)	99 (75)	13.2 (9.8)	8.2 (6.1)
9	入学式等の学内イベントでの障害学生修学支援についての情報提供	127 (114)	31 (26)	10 (7)	168 (147)	22.5 (19.2)	13.9 (12.0)
10	障害学生に対する就職支援、キャリア教育支援の実施	279 (275)	87 (89)	9 (12)	375 (376)	50.1 (49.2)	31.1 (30.8)

※複数回答あり

図14 研修・啓発活動実施状況(内容別)

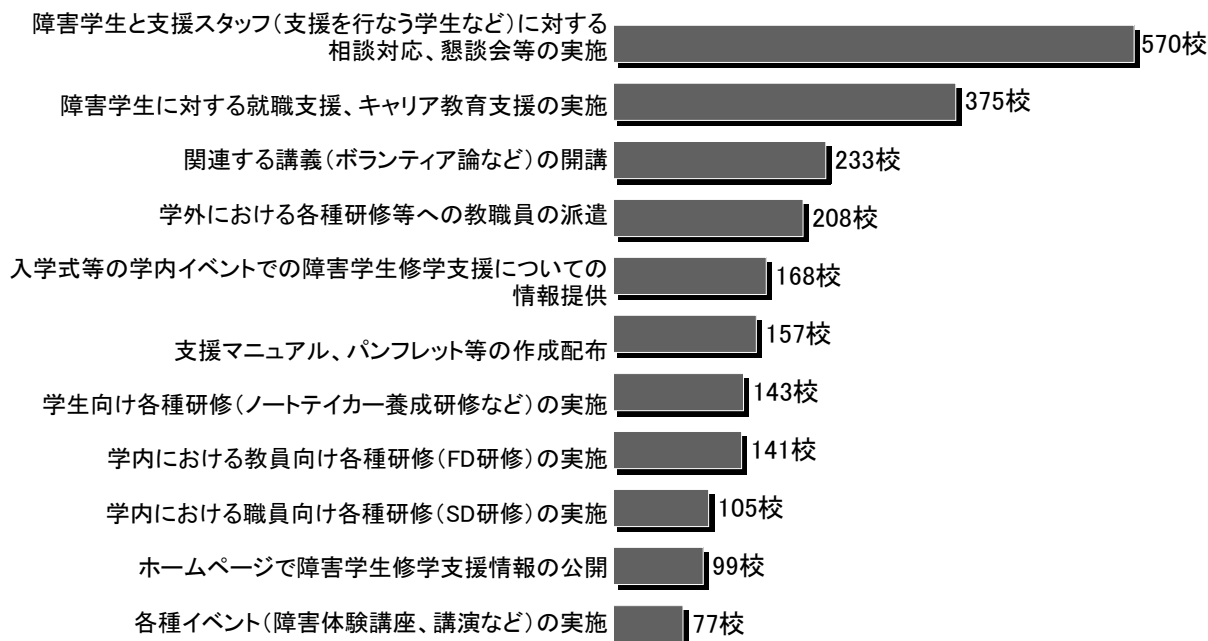
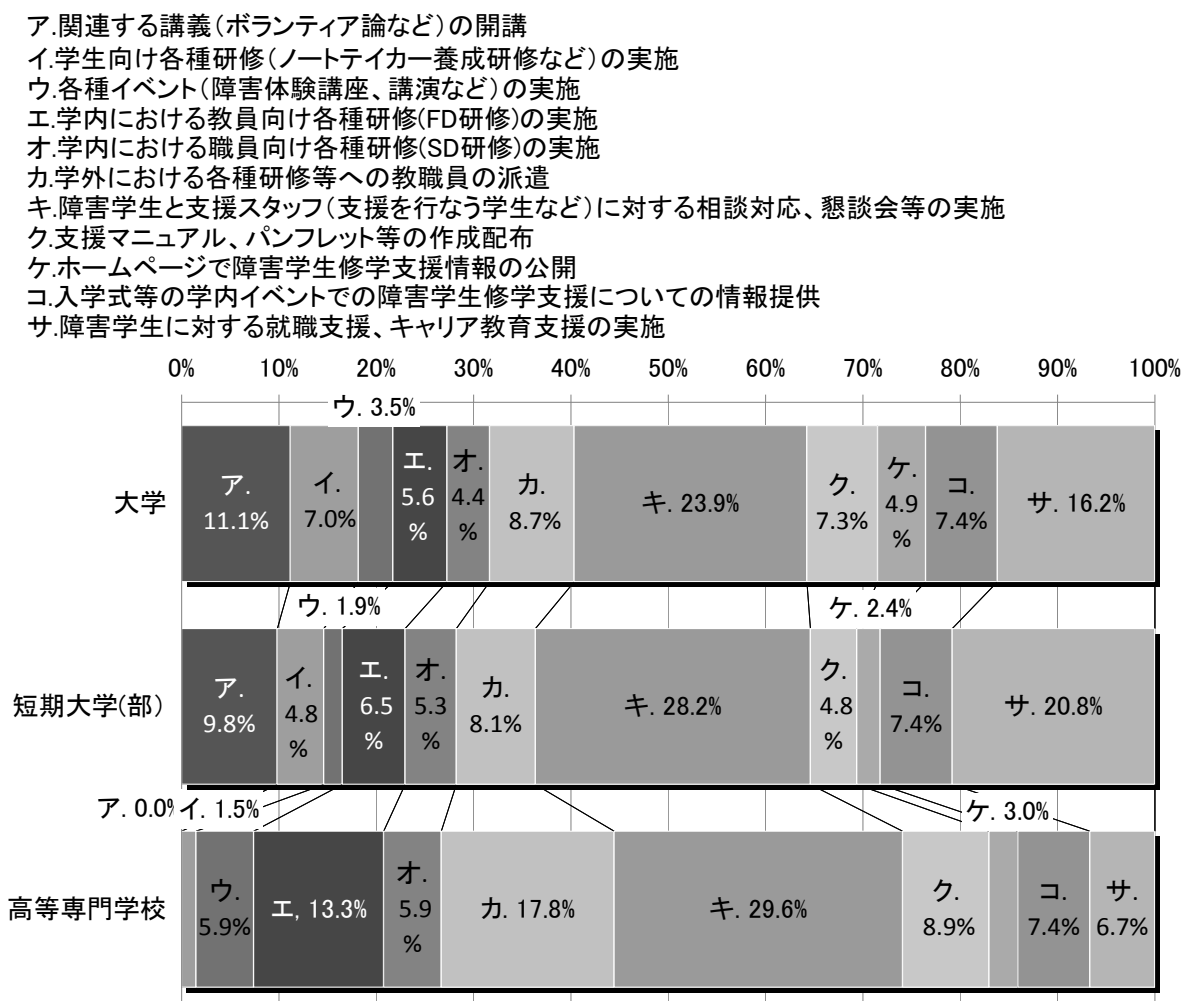


図15 研修・啓発活動実施状況(構成比)



8. 入学時に障害を理由とする特別な措置を行なった入学者数等

(1) 課程別

< 概要 >

平成23年度入学者選抜(平成23年度入学者)の際に特別な措置を行なった受験者数は2,325人(前年度2,300人)であった。そのうち、合格者は947人(同980人)、入学者は710人(同720人)であった。

< 結果 >

表35 特別な措置を行なった受験者・合格者・入学者数〔課程別〕

区 分		受験者 (人)	合格者 (人)	入学者 (人)
大学	学部(通学)	2,121 (2,103)	783 (833)	564 (580)
	学部(通信)	65 (37)	65 (37)	64 (37)
	大学院(通学)	75 (92)	52 (59)	44 (56)
	大学院(通信)	12 (5)	4 (4)	4 (4)
	専攻科	2 (5)	2 (3)	2 (3)
	小計	2,275 (2,242)	906 (936)	678 (680)
短期大学(部)	学科(通学)	32 (44)	29 (32)	22 (30)
	学科(通信)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	専攻科	2 (0)	1 (0)	1 (0)
	小計	34 (44)	30 (32)	23 (30)
高等専門学校	学科(通学)	15 (13)	10 (11)	8 (9)
	専攻科	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	小計	16 (14)	11 (12)	9 (10)
計		2,325 (2,300)	947 (980)	710 (720)

(2) 障害種別・学校種別

< 概要 >

平成23年度入学者のうち、受験時に特別措置を行なった障害学生数は710人(前年度720人)であった。AO入試、推薦入試、障害者特別入試の特別入試により入学した障害学生数は282人(同338人)、特別入試以外の入試により入学した障害学生数は312人(同281人)であった。

学種別には、大学678人(同680人)、短期大学23人(同30人)、高等専門学校9人(同10人)であった。

< 結果 >

表36 受験時に特別措置を行なった入学者数 [障害種別・学校種別]

区分	学部・学科(通学)						小計	(学部・学科) (通信)	(通学)大学	(通学)大学院	専攻科	計	
	特別入試			小計	以特別入試 以外の入試	小計							
	AO入試	推薦入試	障害者特別入試										
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
大学	視覚障害	盲	6 (4)	8 (6)	0 (1)	14 (11)	3 (3)	17 (14)	9 (1)	4 (5)	2 (0)	0 (0)	32 (20)
		弱視	15 (14)	16 (34)	0 (1)	31 (49)	20 (28)	51 (77)	8 (5)	4 (7)	1 (1)	0 (0)	64 (90)
	聴覚・言語障害	聾	14 (21)	46 (41)	2 (5)	62 (67)	46 (39)	108 (106)	0 (0)	6 (10)	0 (0)	0 (1)	114 (117)
		難聴	18 (27)	18 (24)	3 (3)	39 (54)	54 (37)	93 (91)	2 (0)	15 (11)	0 (0)	2 (2)	112 (104)
		言語障害のみ	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)
	肢体不自由	上肢機能障害	0 (0)	3 (1)	0 (0)	3 (1)	5 (1)	8 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (4)
		下肢機能障害	12 (11)	15 (23)	1 (3)	28 (37)	29 (28)	57 (65)	3 (7)	6 (10)	0 (0)	0 (0)	66 (82)
		上下肢機能障害	12 (16)	22 (20)	2 (0)	36 (36)	25 (11)	61 (47)	7 (3)	5 (10)	0 (0)	0 (0)	73 (60)
		他の機能障害	4 (1)	5 (6)	1 (1)	10 (8)	9 (16)	19 (24)	5 (4)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	25 (29)
	病弱・虚弱	重複	2 (2)	4 (6)	1 (0)	7 (8)	23 (35)	30 (43)	23 (5)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	55 (49)
		重複	8 (2)	8 (8)	1 (1)	17 (11)	8 (2)	25 (13)	4 (6)	2 (0)	0 (3)	0 (0)	31 (22)
	発達障害(診断書有)	LD	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (3)	1 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (4)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
		高機能自閉症等	0 (1)	2 (3)	0 (0)	2 (4)	8 (6)	10 (10)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (10)
		重複	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)	1 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)
	その他	10 (7)	6 (11)	0 (2)	16 (20)	64 (62)	80 (82)	0 (4)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	80 (87)	
	小計	102 (107)	153 (184)	11 (17)	266 (308)	298 (272)	564 (580)	64 (37)	44 (56)	4 (4)	2 (3)	678 (680)	
短期大学(部)	視覚障害	盲	0 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (2)
		弱視	0 (1)	0 (1)	1 (0)	1 (2)	1 (0)	2 (2)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (2)
	聴覚・言語障害	聾	2 (3)	3 (1)	0 (0)	5 (4)	0 (0)	5 (4)	0 (0)	- (-)	- (-)	1 (0)	6 (4)
		難聴	3 (3)	1 (4)	0 (0)	4 (7)	2 (1)	6 (8)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	6 (8)
		言語障害のみ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	肢体不自由	上肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		下肢機能障害	0 (2)	0 (2)	0 (0)	0 (4)	1 (0)	1 (4)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (4)
		上下肢機能障害	0 (2)	1 (0)	0 (0)	1 (2)	0 (1)	1 (3)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (3)
		他の機能障害	0 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (1)
	病弱・虚弱	重複	0 (0)	0 (3)	0 (0)	0 (3)	0 (0)	0 (3)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (3)
		重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	発達障害(診断書有)	LD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		高機能自閉症等	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (0)
		重複	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	0 (-)
	その他	0 (1)	1 (2)	0 (0)	1 (3)	2 (0)	3 (3)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	3 (3)	
	小計	5 (13)	10 (15)	1 (0)	16 (28)	6 (2)	22 (30)	0 (0)	- (-)	- (-)	1 (0)	23 (30)	
高等専門学校	視覚障害	盲	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		弱視	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	1 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (2)
	聴覚・言語障害	聾	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		難聴	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	1 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (2)
		言語障害のみ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	肢体不自由	上肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		下肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0)	3 (0)
		上下肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (1)
		他の機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (1)	1 (2)
	病弱・虚弱	重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (1)
		重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
	発達障害(診断書有)	LD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (1)
		高機能自閉症等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (1)
		重複	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	0 (-)
	その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)	
	小計	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	8 (7)	8 (9)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	9 (10)	
計		107 (120)	163 (201)	12 (17)	282 (338)	312 (281)	594 (619)	64 (37)	44 (56)	4 (4)	4 (4)	710 (720)	

(3) 入試要項等への障害のある者に対する配慮に関する記載状況

< 概要 >

平成23年度入学者選抜(平成23年度入学者)の入試要項等において、障害のある者への配慮に関する記載状況は、「要項(紙)及びホームページに記載している」と回答のあった学校が398校で、全体の33.0%、「要項(紙)のみに記載している」との回答のあった学校が403校で、全体の33.4%であった。

「要項(紙)及びホームページに記載している」398校のうち、事前相談に関する記載のある学校は393校で、「要項(紙)のみに記載している」403校のうち、事前相談に関する記載のある学校は393校であった。

< 結果 >

表37 入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況

区分	大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門学校 (校)	計 (校)	全学校1,206校 に対する実施率 (%)
要項(紙)及び ホームページに記載	297 (259)	62 (51)	39 (40)	398 (350)	33.0 (28.7)
	295 (253)	59 (49)	39 (40)	393 (342)	32.6 (28.0)
	2 (6)	3 (2)	0 (0)	5 (8)	0.4 (0.7)
要項(紙)のみに記載	298 (293)	96 (105)	9 (6)	403 (404)	33.4 (33.1)
	292 (289)	93 (102)	8 (6)	393 (397)	32.6 (32.5)
	6 (4)	3 (3)	1 (0)	10 (7)	0.8 (0.6)

9. 障害学生の卒業後の進路

進路状況（学校種別・障害種別）

< 概要 >

平成22年5月1日に大学学部の通学制、短期大学(部)の学科の通学制、高等専門学校の学科の、最高年次(※)に在籍していた障害学生1,903人(前年度1,526人)のうち、平成22年度卒業の障害学生は1,439人(同1,180人)であった。卒業した障害学生の進路状況は、進学者214人(同235人)であった。また、就職者677人(同548人)に、進学者のうち就職している者46人(同50人)を加えた全就職者数は723人(同598人)であった。

※最高年次とは「大学:4年次及び6年次、短期大学(部):2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校:5年次」をいう。

< 結果 >

表38 進路状況 [学校種別・障害種別]

区分	最高年次 平成22年度 障害学生数 (人)	平成22年度 卒業の障害学生数 (人)	平成22年度に卒業した障害学生の進路状況 (平成23年5月1日まで)														
			進学							就職者 (左記を除く) (人)	臨床研修医 (予定者を含む) (人)	専修学校・外国の学 校・教育訓練機関等 (人)	社会福祉施設・ 医療機関入所者 (人)	一時的な職に就いた者 (人)	左記以外の者 (人)	死亡・不詳の者 (人)	計 (人)
			大学院 研究科 (人)	大学学 部 (人)	短期大 学本 科 (人)	専攻 科 (人)	別 科 (人)	うち 就職 して いる 者 (人)									
大学	視覚障害	24	20	2	0	0	0	0	0	3	0	5	3	1	6	0	20
	弱視	95	64	5	6	0	2	1	2	34	0	1	5	0	10	0	64
	聴覚・ 言語障害	120	105	9	8	0	0	0	0	66	0	3	0	1	17	1	105
	難聴	207	164	10	13	0	0	0	5	89	0	5	3	4	31	9	164
	言語障害のみ	3	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	3
	上肢機能障害	66	55	2	4	0	0	0	4	39	0	0	1	1	3	5	55
	下肢機能障害	167	134	8	6	0	1	0	4	73	1	3	2	3	26	11	134
	上下肢機能障害	135	98	10	8	0	2	0	4	31	0	4	1	0	35	7	98
	他の機能障害	68	54	7	3	0	0	0	1	25	0	1	0	1	13	4	54
	病弱・虚弱	298	238	12	15	0	0	0	8	125	0	4	0	10	39	33	238
	重複	31	26	1	1	0	1	0	1	15	0	1	1	0	5	1	26
	LD	12	6	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	6
	ADHD	11	8	0	1	0	0	0	0	3	0	1	0	0	1	2	8
	高機能自閉症等	102	71	7	0	1	0	1	0	12	0	2	5	3	30	10	71
	重複	13	13	1	2	0	0	0	2	4	0	1	0	2	1	2	13
その他	339	203	11	3	0	0	0	2	3	73	1	5	2	23	52	31	203
小計	1,691 (1,396)	1,262 (1,065)	85 (106)	71 (82)	1 (0)	6 (5)	4 (5)	34 (48)	595 (508)	2 (5)	36 (34)	23 (12)	49 (37)	274 (199)	116 (72)	1,262 (1,065)	
短期大学(部)	視覚障害	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	弱視	6	4	0	0	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4
	聴覚・ 言語障害	7	6	0	0	0	1	0	1	3	0	0	0	0	1	1	6
	難聴	28	25	0	2	5	2	0	2	13	0	0	0	1	2	0	25
	言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	上肢機能障害	7	7	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	1	1	0	7
	下肢機能障害	25	24	0	3	4	0	1	2	12	0	1	0	0	3	0	24
	上下肢機能障害	8	7	0	1	2	1	0	2	2	0	0	0	0	1	0	7
	他の機能障害	3	3	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	病弱・虚弱	46	39	0	1	2	0	0	1	24	0	0	0	6	4	2	39
	重複	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	LD	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	ADHD	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	高機能自閉症等	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	重複	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	46	32	0	2	4	0	0	2	11	0	1	1	2	5	6	32	
小計	190 (107)	156 (93)	0 (0)	9 (12)	24 (10)	5 (5)	1 (0)	11 (1)	71 (35)	0 (0)	5 (5)	1 (2)	10 (2)	20 (20)	10 (2)	156 (93)	
高等専門学校	視覚障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	弱視	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	聴覚・ 言語障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	難聴	3	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
	言語障害のみ	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下肢機能障害	4	4	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4
	上下肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病弱・虚弱	2	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	重複	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	LD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ADHD	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	高機能自閉症等	5	5	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5
	重複	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	5	4	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	4	
小計	22 (23)	21 (22)	0 (0)	3 (4)	2 (0)	3 (6)	0 (0)	1 (1)	11 (5)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (5)	0 (0)	21 (22)	
計	1,903 (1,526)	1,439 (1,180)	85 (106)	83 (98)	27 (10)	14 (16)	5 (5)	46 (50)	677 (548)	2 (5)	42 (41)	24 (14)	59 (39)	295 (224)	126 (74)	1,439 (1,180)	

10. 発達障害学生支援状況（一部再掲）

発達障害学生の支援状況については、診断書のある発達障害学生に加え、発達障害の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、実際に教育上の配慮を行なっている者（特別な支援を行っていない者は除く）についても調査した。

(1) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数（学校種別）

< 概要 >

発達障害（診断書有）学生は1,453人で、内訳は「LD」116人、「ADHD」216人、「高機能自閉症等」1,037人、「重複」84人であった。

また、発達障害（診断書有）学生1,453人のうち、支援障害学生は1,063人で、内訳は「LD」83人、「ADHD」155人、「高機能自閉症等」769人、「重複」56人であった。

なお、発達障害（診断書無・配慮有）学生は2,310人で、内訳は「LD」275人、「ADHD」225人、「高機能自閉症等」1,247人であった。

< 結果 >

表39 発達障害学生数及び支援発達障害学生数[学校種別]

区分	大学		短期大学(部)		高等専門学校		計				
	障害学生	支援障害学生	障害学生	支援障害学生	障害学生	支援障害学生	障害学生	構成比	支援障害学生	構成比	
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	
発達障害 (診断書有) 再掲	LD	104 (71)	76 (54)	5 (2)	3 (2)	7 (8)	4 (4)	116 (81)	8.0 (7.6)	83 (60)	7.8 (7.4)
	ADHD	154 (98)	110 (63)	11 (5)	8 (5)	51 (37)	37 (25)	216 (140)	14.9 (13.2)	155 (93)	14.6 (11.5)
	高機能 自閉症等	849 (696)	649 (575)	55 (38)	38 (25)	133 (109)	82 (58)	1,037 (843)	71.4 (79.2)	769 (658)	72.3 (81.1)
	重複	72 (-)	48 (-)	3 (-)	1 (-)	9 (-)	7 (-)	84 (-)	5.8 (-)	56 (-)	5.3 (-)
	小計	1,179 (865)	883 (692)	74 (45)	50 (32)	200 (154)	130 (87)	1,453 (1,064)	100.0 (100.0)	1,063 (811)	100.0 (100.0)
発達障害 (診断書無 ・配慮有)	LD	-	257 (227)	-	13 (28)	-	5 (8)	-	-	275 (263)	11.9 (13.5)
	ADHD	-	192 (204)	-	22 (23)	-	11 (18)	-	-	225 (245)	9.7 (12.6)
	高機能 自閉症等	-	1,117 (1,239)	-	79 (103)	-	51 (94)	-	-	1,247 (1,436)	54.0 (73.9)
	区分不明	-	469 (-)	-	70 (-)	-	24 (-)	-	-	563 (-)	24.4 (-)
	小計	-	2,035 (1,670)	-	184 (154)	-	91 (120)	-	-	2,310 (1,944)	100.0 (100.0)
計	1,179 (865)	2,918 (2,362)	74 (45)	234 (186)	200 (154)	221 (207)	1,453 (1,064)	100.0 (100.0)	3,373 (2,755)	100.0 (100.0)	

(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数（学科（専攻）別）

< 概要 >

発達障害学生数及び支援発達障害学生の学科（専攻）別在籍状況は以下のとおりであった。

< 結果 >

表40 発達障害学生数及び支援発達障害学生数[学科（専攻）別]

区 分	発達障害（診断書有） 学生数 再掲					支援発達障害（診断 書有）学生数 再掲					発達障害（診断書無・ 配慮有）学生数					計 (②+③) (人)	構成比 (%)	
	L D	A D H D	自 閉 機 能 等	高 機 能 等	重 複	小 計 ①	L D	A D H D	自 閉 機 能 等	高 機 能 等	重 複	小 計 ②	L D	A D H D	自 閉 機 能 等			区 分 不 明
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
大学	人文科学	27	38	206	22	293	17	18	163	9	207	36	50	257	145	488	695	23.8
	社会科学	22	20	194	11	247	15	14	130	6	165	34	51	298	109	492	657	22.5
	理学	2	12	50	2	66	1	8	41	2	52	8	14	65	25	112	164	5.6
	工学	18	30	193	12	253	13	24	150	11	198	34	29	255	67	385	583	20.0
	農学	0	2	28	2	32	0	2	25	1	28	19	11	44	15	89	117	4.0
	保健 (医・歯学)	1	1	13	1	16	1	0	11	1	13	1	3	17	3	24	37	1.3
	保健(医・ 歯学を除く)	0	4	16	0	20	0	4	11	0	15	3	6	30	23	62	77	2.6
	商船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5	5	0.2
	家政	0	1	12	0	13	0	0	9	0	9	2	4	11	12	29	38	1.3
	教育	4	8	18	2	32	2	8	16	2	28	4	5	36	17	62	90	3.1
	芸術	3	8	42	5	58	1	5	24	2	32	7	8	23	21	59	91	3.1
	その他	27	30	77	15	149	26	27	69	14	136	104	11	81	32	228	364	12.5
	小計	104	154	849	72	1,179	76	110	649	48	883	257	192	1,117	469	2,035	2,918	100.0
短期大学 (部)	人文	1	0	12	1	14	0	0	9	0	9	0	2	8	5	15	24	10.3
	社会	0	0	4	1	5	0	0	2	0	2	2	2	6	7	17	19	8.1
	教養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3	3	1.3
	工業	0	0	2	1	3	0	0	2	1	3	1	0	0	0	1	4	1.7
	農業	1	0	1	0	2	1	0	1	0	2	0	2	0	1	3	5	2.1
	保健	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	0.9
	家政	2	3	10	0	15	1	2	4	0	7	5	7	15	19	46	53	22.6
	教育	0	5	7	0	12	0	3	6	0	9	2	8	15	19	44	53	22.6
	芸術	1	2	9	0	12	1	2	6	0	9	1	0	20	9	30	39	16.7
	その他	0	1	9	0	10	0	1	8	0	9	1	0	13	9	23	32	13.7
	小計	5	11	55	3	74	3	8	38	1	50	13	22	79	70	184	234	100.0
高等専門 学校	社会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	工業	7	49	133	9	198	4	36	82	7	129	5	11	51	24	91	220	99.5
	商船	0	2	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.5
	芸術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	7	51	133	9	200	4	37	82	7	130	5	11	51	24	91	221	100.0
計	116	216	1,037	84	1,453	83	155	769	56	1,063	275	225	1,247	563	2,310	3,373		

(3) 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数（学校種別）

< 概要 >

「発達障害（診断書有）学生が1人以上在籍する」学校は382校で、そのうち「支援発達障害（診断書有）学生が1人以上在籍する」学校は301校であった。

また、「発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍している」学校は397校であった。

発達障害全体を見ると、「発達障害（診断書有）学生又は発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍する」学校は587校で、全学校数1,206校の48.7%であり、そのうち「支援発達障害（診断書有）学生又は発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍する」学校は490校で、全学校数の40.6%であった。

< 結果 >

表41 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数[学校種別]

区 分		大学 (校)	短期大学(部) (校)	高等専門学校 (校)	計 (校)	
発達障害 (診断書有) 再掲	障害 学生	LD	56 (37)	5 (1)	6 (7)	67 (45)
		ADHD	80 (66)	10 (5)	22 (20)	112 (91)
		高機能自閉症等	258 (225)	37 (26)	37 (31)	332 (282)
		重複	41 (—)	3 (—)	8 (—)	52 (—)
		発達障害(診断書有) 学生が1人以上在籍 する学校数	298 (255)	44 (31)	40 (38)	382 (324)
	支援 障害 学生	LD	41 (28)	3 (1)	3 (3)	47 (32)
		ADHD	57 (49)	7 (5)	16 (10)	80 (64)
		高機能自閉症等	208 (188)	27 (19)	29 (22)	264 (229)
		重複	29 (—)	1 (—)	6 (—)	36 (—)
		支援発達障害(診断 書有)学生が1人以上 在籍する学校数	238 (208)	31 (24)	32 (24)	301 (256)
発達障害 (診断書無・ 配慮有)	支援 障害 学生	LD	78 (67)	12 (15)	4 (6)	94 (88)
		ADHD	93 (89)	15 (18)	10 (11)	118 (118)
		高機能自閉症等	223 (220)	32 (44)	19 (22)	274 (286)
		区分不明	126 (—)	33 (—)	7 (—)	166 (—)
		発達障害(診断書無・配 慮有)学生が1人以上 在籍する学校数	304 (263)	64 (59)	29 (30)	397 (352)
発達障害(診断書有)学生又は発達障害 (診断書無・配慮有)学生が1人以上 在籍する学校数		455 (356)	85 (72)	47 (44)	587 (472)	
全学校数に対する比率 (%)		58.6 (45.9)	22.8 (18.6)	82.5 (75.9)	48.7 (38.7)	
支援発達障害(診断書有)学生又は発達 障害(診断書無・配慮有)学生が1人 以上在籍する学校数		371 (330)	78 (67)	41 (35)	490 (432)	
全学校数に対する比率 (%)		47.8 (42.6)	20.9 (17.3)	71.9 (60.3)	40.6 (35.4)	
全学校数		776 (775)	373 (387)	57 (58)	1,206 (1,220)	

(4) 発達障害のある学生への支援（支援内容）

< 概要 >

「支援発達障害（診断書有）学生又は発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍している」と回答のあった490校（大学371校、短期大学（部）78校、高等専門学校41校）で行なわれている主な授業支援は、「実技・実習配慮」99校、「休憩室の確保」92校、「注意事項等文書伝達」91校、「教室内座席配慮」67校であった。

また、授業以外の支援は、「保護者との連携」が最も多く、384校で行なわれていた。これは、「支援発達障害（診断書有）学生又は発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍している」と回答のあった490校の78.4%であった。「学習指導（履修方法、学習方法等）」は352校で行なわれており71.8%、「社会的スキル指導（対人関係、自己管理等）」は312校で行なわれており63.7%であった。

< 結果 >

表42 支援発達障害学生支援内容〔授業支援及び授業以外の支援〕

区分	大学		短期大学(部)		高等専門学校		実施校数 (校)	490校中 の実施率 (%)	
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)			
授業支援 (再掲)	実技・実習配慮	71 (51)	19.1 (15.5)	16 (8)	20.5 (11.9)	12 (11)	29.3 (31.4)	99 (70)	20.2 (16.2)
	休憩室の確保	75 (63)	20.2 (19.1)	13 (12)	16.7 (17.9)	4 (6)	9.8 (17.1)	92 (81)	18.8 (18.8)
	注意事項等文書伝達	65 (44)	17.5 (13.3)	14 (6)	17.9 (9.0)	12 (5)	29.3 (14.3)	91 (55)	18.6 (12.7)
	教室内座席配慮	50 (32)	13.5 (9.7)	10 (10)	12.8 (14.9)	7 (8)	17.1 (22.9)	67 (50)	13.7 (11.6)
	チューター又はティーチング・アシストの活用	30 (29)	8.1 (8.8)	5 (6)	6.4 (9.0)	5 (5)	12.2 (14.3)	40 (40)	8.2 (9.3)
	講義内容録音許可	33 (25)	8.9 (7.6)	2 (1)	2.6 (1.5)	1 (2)	2.4 (5.7)	36 (28)	7.3 (6.5)
	試験時間延長・別室受験	31 (29)	8.4 (8.8)	0 (3)	0.0 (4.5)	4 (3)	9.8 (8.6)	35 (35)	7.1 (8.1)
	解答方法配慮	23 (16)	6.2 (4.8)	2 (2)	2.6 (3.0)	2 (3)	4.9 (8.6)	27 (21)	5.5 (4.9)
	使用教室配慮	19 (7)	5.1 (2.1)	1 (2)	1.3 (3.0)	2 (1)	4.9 (2.9)	22 (10)	4.5 (2.3)
	パソコンの持込使用許可	11 (11)	3.0 (3.3)	0 (0)	0.0 (0.0)	1 (1)	2.4 (2.9)	12 (12)	2.4 (2.8)
授業以外の支援	保護者との連携	291 (268)	78.4 (81.2)	55 (43)	70.5 (64.2)	38 (33)	92.7 (94.3)	384 (344)	78.4 (79.6)
	学習指導(履修方法、学習方法等) (◎)	277 (250)	74.7 (75.8)	52 (39)	66.7 (58.2)	23 (16)	56.1 (45.7)	352 (305)	71.8 (70.6)
	社会的スキル指導(対人関係、自己管理等) (◎)	240 (226)	64.7 (68.5)	44 (36)	56.4 (53.7)	28 (20)	68.3 (57.1)	312 (282)	63.7 (65.3)
	専門家(臨床心理士等)による心理療法(※)としての カウンセリング ※(◎)には含まれない心理的な内容	231 (205)	62.3 (62.1)	33 (30)	42.3 (44.8)	28 (19)	68.3 (54.3)	292 (254)	59.6 (58.8)
	進路・就職指導(◎)	198 (203)	53.4 (61.5)	38 (29)	48.7 (43.3)	12 (13)	29.3 (37.1)	248 (245)	50.6 (56.7)
	生活指導(食事、洗濯等) (◎)	99 (90)	26.7 (27.3)	10 (9)	12.8 (13.4)	6 (10)	14.6 (28.6)	115 (109)	23.5 (25.2)
	発達障害支援センターとの連携	85 (93)	22.9 (28.2)	15 (14)	19.2 (20.9)	12 (10)	29.3 (28.6)	112 (117)	22.9 (27.1)
	出身校との連携	77 (58)	20.8 (17.6)	18 (13)	23.1 (19.4)	13 (5)	31.7 (14.3)	108 (76)	22.0 (17.6)
特別支援学校との連携	11 (11)	3.0 (3.3)	2 (1)	2.6 (1.5)	5 (3)	12.2 (8.6)	18 (15)	3.7 (3.5)	

※実施率：各支援実施校数÷発達障害（診断有）学生又は、発達障害（診断無・配慮有）学生
が1人以上在籍学校数（学校種別）×100(%)

※授業支援、授業以外の支援に分け、実施校数の多い順に掲載

(5) 発達障害を理由とする特別措置（学校種別）

< 概要 >

平成23年度入学者のうち、受験時に特別措置を行なった発達障害（診断書有）学生は16人で、発達障害（診断書無・配慮有）学生は15人であった。

< 結果 >

表43 受験時に特別措置を行なった入学者数 [学校種別]

区分		学部・学科（通学）						学部・学科 （通信）	大学院 （通学）	大学院 （通信）	専攻科	計	
		特別入試					小計						
		A O 入試 (人)	推薦 入試 (人)	障害 者 特別 入試 (人)	小計 (人)	以特別 の 入試 (人)							
発達障害（診断書有）再掲	大学	LD	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (3)	1 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (4)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
		高機能自閉症等	0 (1)	2 (3)	0 (0)	2 (4)	8 (6)	10 (10)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (10)
		重複	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)	1 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)
		小計	0 (1)	2 (4)	0 (0)	2 (5)	11 (9)	13 (14)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (14)
	短期大学（部）	LD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		高機能自閉症等	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (0)
		重複	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	0 (-)
		小計	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	高等専門学校	LD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (1)
		高機能自閉症等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (1)
		重複	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	0 (-)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)
	計		0 (1)	3 (4)	0 (0)	3 (5)	12 (11)	15 (16)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (16)
発達障害（診断書無・配慮有）	大学	LD	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
		ADHD	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
		高機能自閉症等	0 (0)	2 (3)	0 (0)	2 (3)	4 (4)	6 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (7)
		区分不明	1 (-)	3 (-)	0 (-)	4 (-)	4 (-)	8 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	8 (-)
		小計	1 (1)	5 (4)	0 (0)	6 (5)	9 (4)	15 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (9)
	短期大学（部）	LD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		高機能自閉症等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		区分不明	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	高等専門学校	LD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		高機能自閉症等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		区分不明	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計		1 (1)	5 (4)	0 (0)	6 (5)	9 (4)	15 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (9)	

(6) 発達障害学生の卒業後の進路状況（学校種別）

< 概要 >

平成22年5月1日に大学学部の通学制、短期大学(部)の学科の通学制、高等専門学校の学科の最高年次(※)に在籍していた発達障害(診断書有)学生155人(前年度116人)のうち、平成22年度卒業の学生は110人(同90人)であった。卒業した発達障害(診断書有)学生の進路状況は、進学者17人(同12人)であった。また、就職者24人(同23人)に、進学者のうち就職している者2人(同1人)を加えた全就職者数は26人(同24人)であった。

また、同様に、発達障害(診断書無・配慮有)の最高年次在籍学生学生370人(同240人)のうち、平成22年度卒業の学生は259人(同177人)であり、そのうち、進学者は31人(同48人)、就職者は76人(同50人)、全就職者数は79人(同54人)であった。

※最高年次とは「大学：4年次及び6年次、短期大学(部)：2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校：5年次」をいう。

< 結果 >

表44 発達障害学生進路状況 [学校種別]

区分	最高年次障害学生数 (平成22年5月1日現在)	平成22年度卒業の障害学生数 (平成23年3月31日まで)	平成22年度卒業した障害学生の進路状況 ※平成23年5月1日まで															
			進学							就職者 (左記を除く)	臨床研修医 (予定者を含む)	専修学校・ 教育訓練機関等	医療機関 ・福祉施設 ・社会福祉 所等	一時的な 職に就いた者	左記以外 の者	死亡・不 詳の者	計	
			大学院 研究科	大学学 部	短期大 学本科	専攻科	別科	うち就 職してい る者	(人)									(人)
発達障害 (診断書有) 再掲	大学	LD	12	6	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	6
		ADHD	11	8	0	1	0	0	0	0	3	0	1	0	0	1	2	8
		高機能自閉症等	102	71	7	0	1	0	1	0	12	0	2	5	3	30	10	71
		重複	13	13	1	2	0	0	0	2	4	0	1	0	2	1	2	13
		小計	138 (100)	98 (77)	8 (3)	4 (3)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (1)	20 (20)	0 (0)	4 (7)	5 (2)	5 (5)	36 (29)	14 (7)	98 (77)
	短期大学 (部)	LD	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
		ADHD	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		高機能自閉症等	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
		重複	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	10 (9)	5 (6)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	5 (6)
	高等専門 学校	LD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ADHD	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
		高機能自閉症等	5	5	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5
重複		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		7 (7)	7 (7)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (2)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	7 (7)	
計	155 (116)	110 (90)	8 (3)	5 (6)	1 (0)	2 (2)	1 (1)	2 (1)	24 (23)	0 (0)	6 (9)	5 (2)	5 (5)	38 (32)	15 (7)	110 (90)		
発達障害 (診断書無・ 配慮有)	大学	LD	14	11	1	0	0	0	0	3	0	3	0	0	1	3	11	
		ADHD	25	14	0	1	0	0	0	6	0	0	0	2	5	0	14	
		高機能自閉症等	205	145	13	4	0	1	2	1	45	0	5	1	7	40	27	145
		区分不明	63	50	3	1	0	0	0	1	11	1	2	1	5	14	12	50
		小計	307 (183)	220 (137)	17 (14)	6 (19)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	2 (2)	65 (37)	1 (0)	10 (5)	2 (0)	14 (8)	60 (42)	42 (11)	220 (137)
	短期大学 (部)	LD	6	6	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	1	2	0	6
		ADHD	9	6	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	2	1	6
		高機能自閉症等	32	16	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	10	1	16	
		区分不明	9	6	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	2	0	6	
		小計	56 (48)	34 (34)	0 (0)	1 (1)	3 (6)	0 (3)	0 (0)	1 (2)	7 (13)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	2 (5)	16 (4)	2 (1)	34 (34)
	高等専門 学校	LD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ADHD	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
		高機能自閉症等	4	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
区分不明		1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
小計		7 (9)	5 (6)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	5 (6)	
計	370 (240)	259 (177)	17 (14)	7 (22)	3 (6)	2 (5)	2 (1)	3 (4)	76 (50)	1 (0)	12 (6)	3 (0)	16 (13)	76 (48)	44 (12)	259 (177)		

< 調査票 >

(調査の手引)

※ 日本学生支援機構のホームページからダウンロードできます。
http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/chosa11.html

平成 23 年度 (2011 年度)

大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査

調査の手引

I 調査の概要

本調査は、全国すべての大学、短期大学、高等専門学校を対象とし、障害のある学生の状況および修学支援に関する基本的事項を明らかにし、修学支援のより一層の充実を図ることを目的とした番皆統計調査であり、独立行政法人日本学生支援機構（以下 JASSO）が毎年実施しています。

調査は、統計的に処理を行ない、個々の学校の状況は公表しません。

個別情報や個人情報保護・管理については十分な配慮を行ない、収集した情報は、本調査に関する問い合わせや本機構の関連事業の実施のためにのみ利用し、目的外で利用することはありません。

〔1〕 調査の期日 平成 23 年 5 月 1 日現在

〔2〕 調査の内容

1. 学生数・活動や取組（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
 - (1) 学校全体の学生数
 - (2) 障害学生修学支援に関する活動や取組
2. 入学者選抜（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
 - (1) 入学者選抜における配慮
 - (2) 平成 23 年度入学者選抜における特別措置
3. 発達障害について（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
 - (1) 発達障害のある学生への支援における課題
 - (2) 発達障害のある学生への支援
4. 平成 22 年度卒業生（平成 22 年度の学部（通学課程）最髙年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください）
 - (1) 学部（通学課程）最髙年次及び卒業障害学生数
 - (2) 状況別卒業障害学生数（平成 23 年度 5 月 1 日現在）
5. 障害学生数（平成 23 年度に障害学生が在籍する場合にご回答ください）
大学・大学院
 - 学部（通学課程）の障害学生数（障害種別）
 - 学部（通信教育課程）の障害学生数（障害種別）
 - 大学院（通学課程）の障害学生数（障害種別）
 - 大学院（通信教育課程）の障害学生数（障害種別）
 - 専攻科の障害学生数（障害種別）
 - その他（診断書有）の内訳

短期大学

- 通学制⇒学科（通学課程）の障害学生数（障害種別）
 - 通信制⇒学科（通信教育課程）の障害学生数（障害種別）
 - 専攻科の障害学生数（障害種別）
 - その他（診断書有）の内訳
高等専門学校
 - 本科⇒学科（通学課程）の障害学生数（障害種別）
 - 専攻科の障害学生数（障害種別）
 - その他（診断書有）の内訳
6. 支援について（平成23年度に障害学生が在籍する場合にご回答ください）
- (1) 授業支援
 - (2) 授業以外の支援
7. 意見、要望（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
- (1) 障害学生の修学支援における課題
 - (2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等に関する課題
 - (3) 日本学生支援機構の障害学生修学支援の取組について

〔3〕提出の期限 平成23年8月19日（金）

〔4〕調査結果の公表

報告書：平成24年2月（予定）
調査結果はJASSOホームページ障害学生修学支援情報
（http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/index.html）で閲覧できます。

〔5〕調査票の配布

調査票は、各学校ごとにJASSOホームページからダウンロードしていただいていたものをご利用ください。なお、この「調査の手引」もホームページに掲載しています。

〔6〕調査票の提出

回答を記入したデータファイル（Excel）をメールに添付し、JASSOまで送信してください。

調査票のファイル名：学校番号（6桁の半角数字）の後に実態調査

（例：100999 実態調査）

※学校番号：JASSOが各学校の識別用に割り当てている番号です。調査票データファイルの「1. 学生数・活動や取組」シート「学校基本情報」の①学校名を記入すると

「学校番号」欄に表示されますのでご確認ください。

メールのタイトル：学校名

メールの送信先：kaitou@jasso.go.jp

事情によりメールにてデータファイルを送ることができない場合は、JASSO特別支援課までご相談ください。

〔7〕調査に関するお問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部特別支援課障害学生調査・分析係
電話番号：03-5520-6176 E-Mail：tokubetsushien@jasso.go.jp

II 調査票に係る取扱上の注意及び作成上の留意点

〔1〕調査票の取扱上の注意

情報保護のため、メールで提出する調査票データファイルには、以下の方法で読み取りパスワードを設定してください。

《読み取りパスワードを設定するには》

まず、回答を記入した調査票ファイルのコピーを作成し、ファイル名（P2参照）をつけず、

<パスワードの設定方法>

パスワードは、JASSOよりお送りした調査依頼文書（平成23年7月11日付学支特第23号）に記載してあります。

設定方法は使用するMicrosoft Excelのバージョンによって異なります。

Excel2000

- ① ファイルを開き、[ファイル]の[名前をつけて保存]を選択します。
- ② [ファイル名をつけて保存]画面のメニューバーの右端にある[ツール]ボタンをクリックし、プルダウンメニューから[全般オプション]を選択します。
- ③ [保存オプション]画面の[ファイルの共有]という項目で[読み取りパスワード]を設定してください。

Excel2003

- ① ファイルを開き、[ツール]の[オプション]を選択します。
- ② [オプション]画面の[セキュリティ]タブを選択します。
- ③ [このブックのファイル暗号化の設定]という項目で[読み取りパスワード]を設定してください。

Excel2007

- ① ファイルを開き、[Microsoft Office]ボタンをクリックし、[配布準備]の[ド

コメントの暗号化) を選択します。

② [ドキュメントの暗号化] 画面でパスワードを設定してください。

Excel2010

① [ファイル] タブをクリックします。

② ファイルを開き、[Backstage] ビューで [情報] を選択し、[アクセス許可] で [文書の保護] を選択します。

③ [パスワードを使用して暗号化] を選択し、パスワードを設定してください。

<パスワードの確認>

パスワードを設定したファイルを保存し、再度開いて、パスワードでロックを解除できることを確認の上、メールに添付して送信してください。

[2] 調査票の作成上の留意点

①セル、シート、ブックの編集はできません。

本調査票では、記入欄以外には記入できないようになっております。また、シートやセル、行、列の移動、削除、挿入等の編集もできません。ただし、自由記述欄の結合してあるセルを分割する等、一部編集できましてしまう箇所もありますので、ご記入の際にはご注意ください。また、自由記述欄で記入欄が足りない場合には、行は増やせませんので、末尾にある【追加記入用】シートをご利用ください。

②赤色や黄色のセル

本調査票には、記入すると赤色や黄色になるセルがあります。

<赤色のセル>記入した数や内容について、詳細や関連事項を記入する別表があるセルです。詳細や関連事項等の必要箇所を記入すると、白地に戻ります。

<黄色のセル>同じ表の中で不整合が起きていると、セルが黄色に表示されます。

(例：全学生数より入学者数の方が多い)

その不整合を修正すると、白地に戻ります。

回答後のご確認の際には、各設問にある【記入上の注意】を参考に、赤や黄色のセルが残っていないかご確認ください。

③記入内容の反映

各表の計の欄や、赤色、黄色のセル表示は、各欄の記入内容をすぐに反映しない場合があります。その場合は、ファイルのオプションにある「計算方法」が「手動」になっていますので、「自動」に変更してください。

④学校名の記入

「学校名」記入欄は「1. 学生数・活動や取組」シートの始めと終わりの計2箇所あります。確認のため、必ず2箇所とも記入してください。また「学校名」を記入すると、その左の欄に「学校番号」が表示されます。この「学校番号」は回答ファイルのファイル名に使用します。但し、学校法人名を加えて記入 (例：国立大学法人〇〇大学) した

場合には「学校番号」にエラー表示が出ますので、大学名のみを、略さず「〇〇大学」と記入してください。

[3] 昨年度調査との相違点

発達障害 (診断書有) の区分において、「LD」「ADHD」「高機能自閉症等」のほかに、これら3つのいずれかが重複している「重複」という区分を設けました。

また、発達障害 (診断書無・配慮有) では、これらの区分が分明でない場合の「区分不明」という欄を設けました。

《注》保健管理センターやカウンセラー、教員の判断、出身校からの要望、本人または保護者の申告などがある場合は、できるだけ「LD」「ADHD」「高機能自閉症等」の3つの区分で数を計上してください。どうしても区分が特定できない場合のみ、区分不明の欄に計上してください。

学校基本情報

- ① 学校名……学校の名称を記入してください。
- ② 主となる所在地の都道府県名を記入してください。なお、記入の際は末尾に「都」「府」「県」を付けてください。(例：京都府、青森県)
- ③ 連絡先 (電話番号・FAX番号) ……担当者の連絡先電話番号及びFAX番号を記入してください。
- ④ 担当部課室名……本調査の担当部課室名を記入してください。
- ⑤ 担当者……本調査の担当者(記入者)の役職・氏名(フリガナ)・E-Mailアドレスを記入してください。

1. 学生数・活動や取組
(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 学校全体の学生数
 - 大学・大学院
 - 学部(通学課程)、学部(通信教育課程)、大学院(通学課程)、大学院(通信教育課程)、専攻科の各シートにそれぞれの学生数を記入してください。
 - 短期大学
 - 学科(通学)は「学部(通学課程)」シートに、学科(通信)は「学部(通信教育課程)」シート、専攻科は「専攻科」シートにそれぞれの学生数を記入してください。
 - 高等専門学校
 - 本科(通学)は「学部(通学課程)」シートに、専攻科は「専攻科」シートにそれぞれの学生数を記入してください。

<本調査における用語の定義>

【障害学生】

「身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳」を有している学生又は「健康診断等において障害があることが明らかになった学生」(重複する場合は実数)。
※平成23年5月1日現在において在籍していたすべての障害学生数(障害があることについての申請が平成23年5月2日以降の場合を含む)を計上してください。
※各障害種の定義もご参照ください。

【支援障害学生】

学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている(今年度中の支援予定を含む)障害学生。
支援例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障
学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援等

【入学者】

1年次の入学者。2年次以上の編入者は含まない。

【特別措置】

入学者選抜において、診断書の提出に基づいて行なった、障害を理由とする合理的配慮(別室受験、時間延長等)。

※急性の疾病やけが等一過性のものでその後に回復の見込みのある者に対して行なった特別措置者数は計上しないでください。

<本調査における各障害種等の定義>

【視覚障害】

盲……視覚による教育が不可能又は著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用しての教育が必要
弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要

【聴覚・言語障害】

聾……両耳の聴力損失60デシベル以上、又は補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能、又は著しく困難な程度
難聴……両耳の聴力損失60デシベル未満、又は補聴器を使用すれば通常の話し声を解することが可能な程度

言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害(構音障害、音声障害、流暢性の障害、言語発達遅滞、口蓋裂)

【肢体不自由】

上肢機能障害……腕、手、指および各関節に関する機能障害
下肢機能障害……脚、足指および各関節に関する機能障害
上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害
他の機能障害……体幹(胴体)に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害および運動の障害

【病弱・虚弱】

以下のいずれかに該当している者。

○心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの、医師の診断書がある者。

○身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの、医師の診断書がある者。

又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者。

※上記は「学校教育法施行令 障害の程度」及び「身体障害者障害程度等級表」または

2. 入学者選抜

(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 入学者選抜における配慮

- ① 入学者選抜における配慮を周知している方法について回答してください。
 - ② 入学者選抜における事前相談受付について回答してください。
- (2) 平成 23 年度入学者選抜における特別措置
- ① 平成 23 年度入学者選抜において、診断書の提出に基づき特別措置を行なった受験生の数を記入してください。平成 23 年度大学入試センター「身体障害者に係る受験特別措置」(※1)内容に該当する特別措置と、次の③に該当する特別措置の両方を含んだ数を計上してください。
 - 急性の疾病やけが等、一過性のもので、その後回復の見込みのある者に対して行なった数は計上しないでください。
 - 「障害者特別入試」を「AO入試」または「推薦入試」の形式で行なった場合は、「障害者特別入試」に計上してください。(※2)
 - 受験者数及び合格者数は延べ数を、入学者数は実数を記入してください。
- ※1 【大学入試センター「身体障害者に係る受験特別措置」】
詳しくは、大学入試センターより配付された「平成 23 年度大学入試センター試験受験案内(別冊)」でご確認ください。
- ※2 <本調査における入試方式の区分>
【特別入試】以下の3つに分類される入試方式。
【AO入試】学校独自の選抜基準(アドミッション・ポリシー)に基づく入試。
【推薦入試】出身学校長の推薦に基づく、公募制、指定校対象、付属高等学校対象等の推薦入試。
【障害者特別入試】障害者を対象とする一般入試とは異なる選抜方式による入試。
【特別入試以外入試】上記に当てはまらない入試。一般入試、社会人入試、海外からの帰国生徒を対象とする入試、外国人を対象とする入試等。
- ② ①で記入した「その他(診断書有)」の内訳(障害名別)を記入してください。
※該当欄に記入しきれなかった場合は、末尾にある【追加記入用】シートをご利用ください。(新規シートの挿入はできません。)
 - ③ 入学者選抜で行なった特別措置のうち、大学入試センター「身体障害者等に係る受験特別措置」に記載されている内容以外の特別措置を行なった場合に、その内容を記入してください。
- ※該当欄に記入しきれなかった場合は、末尾にある【追加記入用】シートをご利用ください。(新規シートの挿入はできません。)

3. 発達障害について

(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 発達障害のある学生への支援における課題

- ① 発達障害のある学生への支援について、課題と感じていることがあれば該当欄に記入してください。
 - ② 発達障害があるという診断書はないが発達障害が疑われるために、学校が何らかの支援を行なっている学生の数を記入してください。学内の組織、部署等が業務として行なっている支援・配慮を計上してください。一部の教職員が個人的に行なっている支援・配慮は含みません。
- なお、この②で計上した学生数は、「1. 学生数・活動や取組」の(1)や、「5. 障害者学生数」の「学部(通学課程)」～「専攻科」の「障害者学生数」には含みません。
- (2) 発達障害のある学生への支援
- 診断書のある学生、及び診断書はないが何らかの支援(教育上の配慮等)を受けている学生((1)②で計上した学生)の両方について記入してください。
- ① 一覧に記載されているもののうち、行なっている支援の対象の欄に「1」を記入してください。カウセンセリングの中で行なっているものも含みます。
 - ② ①の一覧に記載されている支援方法以外で行なっている支援があれば、その支援方法をご記入のうえ、行なっている支援の対象の欄に「1」を記入してください。

4. 平成 22 年度卒業生

(平成 22 年度学部(通学課程)の最高年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください)

大学は学部(通学課程)、短期大学は学科(通学制)、高等専門学校は本科の、平成 22 年度の最高年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください。

(1) 平成 22 年度最高年次障害者学生数

- ① 昨年度調査時(平成 22 年 5 月 1 日現在)に最高年次に在籍していた障害者学生数を記入してください。
- 【最高年次】
大学：4 年次または 6 年次(4 年制、6 年制の両方が設置されている場合は、その合計数)
短期大学：2 年次または 3 年次(2 年制、3 年制の両方が設置されている場合は、その合計数)
高等専門学校：5 年次
- ② 平成 22 年 5 月 2 日から平成 23 年 3 月 31 日までに卒業した障害者学生数を記入してください。

(2) 状況別平成22年度卒業障害学生数(平成23年5月1日現在)

(1)の②で回答した卒業生の、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

【就職者】

給料、賃金、報酬その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いた者。雇用期間が一年以上であり勤務形態が正社員に準ずるものであれば「イ.就職者」、それ以外または不明の場合は「カ.一時的な仕事に従事」に計上してください。

自家・自営業に就いた者(継続的に本業として家業に従事する場合)も、「イ.就職者」の欄に計上してください。

家事の手伝いに就いた者は「上記(ア～カ以外)」の欄に計上してください。
夜間部の学生のうち在学中すでに職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある場合は「イ.就職者」の欄に計上してください。

「ア.進学者」のうちで職に就いている者については、「イ.就職者」に含めず、「②就職数」の欄に計上してください。

【臨床研修医】

医師法第16条の2及び歯科医師法第16条の2に基づき臨床研修を受ける者。また5月1日現在、臨床研修医となることが予定される者も含まれます。

【専修学校・外国の学校・教育訓練機関等入学者】

「ア.進学者」以外で、学校等に入学(在籍)している者。専修学校・各種学校、外国の学校、職業能力開発校等への入学者、研究生として入学した者等。

【社会福祉施設・医療機関入所者】

社会福祉施設に入所、又は医療機関に入院した者。
社会福祉施設・医療機関に就職した者は「イ.就職者」に計上してください。

【一時的な仕事に従事】

臨時的收入を目的とする仕事に就いた者。例えばアルバイト、パート等で一時的な仕事に就いた者を計上してください。

【上記(ア～カ)以外】

進学でも就職でもないことが明らかでない者。家事手伝いなどがここに含まれます。学校で具体的な状況を把握していない者であっても、進学でも就職でもないことが明らかであれば計上してください。

【不詳・死亡の者】

不詳とは、各欄のいずれに該当するかを学校で把握していない者、また、死亡とは、平成23年5月1日までに死亡した者をいいます。

5. 障害学生数

(平成23年度に障害学生が在籍している場合にご回答ください。)

学校種別に、それぞれ次のようにシートが分かれています。

大学・大学院

- 学部(通学課程)
- 学部(通信教育課程)
- 大学院(通学課程)
- 大学院(通信教育課程)
- 専攻科
- その他(診断書有)の内訳

短期大学

- 学部(通学課程)
- 学部(通信教育課程)
- 専攻科
- その他(診断書有)の内訳

高等専門学校

- 学部(通学課程)
- 専攻科
- その他(診断書有)の内訳

各シートには、それぞれ①全体の障害学生数 ②身体障害と発達障害の重複について
③学科(専攻)別障害学生数 を計上する表があります。障害学生が在籍するすべてのシートに記入してください。

また、学科(専攻)の分類は学校ごとに異なります。詳しくは「学校基本調査の手引」(http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/001/06020203/1302427.htm)の「学科系統分類表」の大分類をご確認ください。

なお、障害学生数の最後のシート「5. 障害学生数 その他(診断書有)の内訳」は、各シートで計上した障害種別のうち、「その他(診断書有)」の内訳を記入するシートです。具体的な障害名(例:統合失調症、パニック障害、高次脳機能障害等)を記入し、それぞれの数を計上してください。

【最低在学年限超過数】

各課程の最低在学年限(4年制ならば4年、6年制ならば6年)を超えて在学している障害学生数。オの休学者数は含みません。

6. 支援について

(平成 23 年度に障害学生が在籍している場合に回答してください。)

平成 23 年度に実施する(予定含む)支援について回答してください。

(1) 授業支援

① 障害種別に、実施している授業支援の欄に「1」を記入してください。支援者の欄があるものについては、実際にその支援を行なっている支援者の欄に「1」を記入してください。

【点訳・墨訳】

点訳……教材、配布資料などを点字に訳すこと。

墨訳(すみやく)……試験の点字解答を出題者が採点する際等、点字を墨字、活字に訳すこと。

【教材のテキストデータ化】

教材、配布資料などをテキストデータ化すること。パソコン上で「音声読み上げソフト」や「点訳ソフト」を利用するために行ないます。

【教材の拡大】

教材、配布資料などを拡大読書器でモニターに拡大表示したり、大きな文字で印刷したりすること。

【ガイドヘルプ】

学内の移動の際に、歩行介助及び誘導を行なうこと。主として講義と講義の間の教室移動のサポートをいいます。

【リーディングサービス】

教材や配布資料などを音声で読み上げる(文字を音声に訳す)こと。主として講義中に板書されたものをその場で口頭で伝える「代読」と、利用者と支援者が対面しながら資料等を読み上げる「対面朗読」があります。

【手話通訳】

講義内容や周りの様子等を手話で伝えること。

【ノートテイク】

講義内容や周りの様子等を筆記し、文字で伝えること。

【パソコンテイク】

講義内容や周りの様子等をパソコンに入力し、文字で伝えること。

【ビデオ教材字幕付け・文字起こし】

教材等として使用される映像メディアの台詞やナレーションをテキスト化し、字幕として挿入する、または紙面に記すこと。

【チューター又はフェイチャーング・アシスタントの活用】

大学院の学生や担当教員等が学部学生等に対し、生活や講義、実験・実習、演

習等の補助や助言等を行なう学内制度を活用した支援のこと。

【試験時間延長・別室受験】

定期試験の際に、通常の試験時間を延長して行なう措置のこと。点字の読み取りや筆記、代筆等が必要で、通常に比べて時間を要する場合には実施します。多くの場合は別室を用意しての受験となります。

【解答方法配慮】

障害の状況に応じて、試験時の解答方法を選択できるようにすること。

【パソコンの持込使用許可】

授業中にパソコンを利用するため、学校(教員)が持込を許可すること。

【注意事項等文書伝達】

定期試験の際、通常は口頭で受験者に伝達する注意事項を文書にして配付あるいは板書すること。

【使用教室配慮】

授業で使用する教室を、移動しやすい教室にしたり、修学に適した広さ・設備のある教室にすること。

【実技・実習配慮】

いわゆる座学以外の授業(体育等の実技(体育等の実技、専門教育での実習、学外実習等)において、障害の状況に応じて配慮すること。

【教室内座席配慮】

教室内での座席を、障害学生が受講しやすい位置に配慮すること。

【FM補聴器/マイク使用】

講義者の声を、専用のマイクを通じて補聴器を装着した学生に伝える支援技術の活用。またはその器材の貸し出し等を行なうこと。

【専用机・イス・スペース確保】

車いす用の机の配置やスペースの確保等、障害学生が円滑に受講したり、学生生活を送るために、障害の状況や特性に合わせて設備又はそれに関連する配慮を行なうこと。

【読み上げソフト使用】

電子データを音声データに変換する音声読み上げソフトの活用。またはその貸し出し等を行なうこと。

【講義内容録音許可】

講義内容の録音を学校(教員)が許可すること。

【休憩室の確保】

休み時間や空き時間に、障害学生が休憩することのできる部屋・スペースを設けること。

② 実施している授業支援で、①で挙げられたもの以外がある場合には、その内容と

FAQ よくある質問集

○全般的な質問

Q：障害学生在籍していませんが、回答しなければいけませんか？

A：「1. 学生数・活動や取組」「2. 入学者選抜」「3. 発達障害について」「7. 意見・要望」シートに、ご回答ください。また、昨年度最髙年次に障害学生在籍していた場合は「4. 平成 22 年度卒業生」シートにもご回答ください。

Q：今年度から新入生の募集を停止しています。回答する必要がありますか。

A：学生在籍している間は回答してください。まったく在籍学生がいなない場合はその旨ご連絡ください。

Q：キャンパスが分かれていますので、キャンパスごとに回答してもいいですか？

A：お手数ですが、1校1回答でお願いします。いずれかのキャンパスでまとめてください。

Q：記入欄が足りません。行を追加してもいいですか。

A：行や列、セルやシートの追加、削除等はできません。「7. 意見・要望」シートの次にある「追加記入用」シートを利用して更にも足りない場合は、回答ファイルを送信する際にメール本文に、内容を記載してください。

Q：5月1日現在と、現時点では学生数が変わっていますが、どの時点の数値を記入した方がいいですか。

A：平成 23 年 5 月 1 日時点の数値を記入してください。

Q：研修生は対象となりますか？

A：研修生、研究生、科目等履修生、聴講生、別科生は調査対象外です。

Q：2年生から3年生に進級する時点で留年し、2年生が2回目の学生がいます。この学生は「最低在学年限超過数」に計上しますか。

A：最低在学年限は、4年制であれば4年、6年制であれば6年となります。問いの2年生は3年次以降の課程のある学生で、最低在学年限には達していないため、計上の対象とはなりません。

支援者について、障害種別に記入してください。

(2) 授業以外の支援

授業に関するもの以外（履修相談、学内、学外の学生生活上の支援、設備の設置や改修、キャリア・就職支援等）で実施している支援がありましたら、その内容や支援者について、障害種別に記入してください。

7. 意見・要望

(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください。)

(1) 障害学生修学支援の課題について

(2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等の課題について

(3) JASSOの障害学生修学支援の取組について

○調査票記入後の確認事項

1. 全般的事項

(1) 学校名、所在地は正しく表示されていますか。

(2) 連絡先（電話・FAX番号）、担当部課室名、担当者の役職・氏名（フリガナ）・E-Mailアドレスに誤りはありませんか。

(3) 前年度調査でご回答いただいた内容と比較して、各項目の数値に著しい差はありませんか。

(4) 記入漏れシートはありませんか。

2. 項目別事項

各項目の記入欄に、赤色や黄色のセルは残っていませんか？ セルが黄で表示される場合は、同じ表内の別の数値と不整合がないかご確認ください。セルが赤で表示される場合は、欄外に赤文字で記載された箇所と不整合がないかご確認ください。

Q:平成28年5月1日現在、学費未納の学生は、学生数に計上しますか。

A:学校に籍のある学生はすべて計上してください。除籍処分となった学生は計上の対象となりません。

○調査票の取得と回答方法について

Q:「調査票」「調査の手引」がダウンロードできません。どうしたらいいですか。

A:ご担当者のメールアドレスに送信しますので、日本学生支援機構特別支援課 (E-Mail: tokubetsushien@jasso.go.jp または電話: 03-5520-6176) までご連絡ください。

Q:メールで回答を送りましたが、間違はなく届くかどうか不安です。

A:メール送信時に、開封確認をつけてください。受信時に開封確認を返信します。

Q:先に送った回答に誤りがありました。どうしたらいいですか。

A:修正後の回答をメールでお送りください。メールのタイトルや回答ファイル名は、先にご送っていただいたものと同じものにしてください。

○障害についての質問

Q:学校では障害があることを把握していますが、本人の希望で障害者手帳を取得していない学生がいます。障害学生に計上しますか。

A:計上してください。ただし、学校が、事情に鑑み、計上することに問題があると判断した場合はその限りではありません。

Q:障害があるらしいが、手帳や診断書があるかどうかを把握していない学生がいます。学生に確認しなければいけませんか。

A:「らしい」は含みません。学校が把握している障害学生数を計上してください。

Q:視覚障害の盲、弱視、聴覚障害の聾、難聴を区別して把握していません。調査票にはどのように記入したらいいですか。

A:「調査の手引」の各障害の項を参考に、いずれかを判断して該当する欄に計上してください。

Q:発達障害（診断書有）で、LD、ADHD、高機能自閉症等の重複している学生がいます。調査票にはどのように記入したらいいですか。

A:本年度調査より、発達障害の重複している学生数を計上する欄を設けました。この欄に記入してください。

Q:発達障害らしい学生がいて、対応に気をつけています。この場合「3. 発達障害について」の(1)～②に計上しますか。

A:「発達障害らしい」という推察が、複数の教職員によって共有されていて、組織的な配慮、対応が行なわれている場合は計上してください。教職員個人が「発達障害らしい」と思ひ、個人的に配慮している場合は含みません。

Q:身体障害と発達障害の両方のある学生がいます。障害学生数は両方に計上しますか。

A:身体障害と発達障害の重複する学生については、基本的には該当する身体障害種の項に身体障害学生として計上してください。「発達障害」や「重複」の項には計上しないでください。発達障害については「5. 障害学生数」各シートの②「身体障害と発達障害の重複について」で詳しく聞いていますので、こちらに計上してください。

Q:最近、障害があることがわかった学生がいて、5月1日現在にはそのことを把握していませんが、この学生は障害学生数に含めますか。

A:5月1日現在、在籍していた学生については、障害のあることの把握がそれ以降であったとしても、障害学生数に含めてください。

○活動や取組、支援について

Q:障害学生修学支援に関する活動や取組において「演習」は②の「講義」、③の「研修」のどちらに当てはまりますか。

A:概論的な座学等であれば「講義」、現場作業やテクニカルな内容であれば「研修」として、どちらからより近い方に回答してください。

Q:学生組織が障害学生支援を行なっています。この場合、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。

A:学校が学生組織に依頼している等、学校が関与している場合には、支援障害学生に計上してください。学校が関与していない場合は、支援障害学生には該当しません。

Q:一般学生が自主的に障害学生を支援しています。この場合、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。

A: 学校に申し出がなく、学校が支援していない場合は、支援障害学生には該当しません。

Q: 自主的に障害学生を支援している学生から、ノートテイクのための入室許可の申し出があり、許可しました。この場合は、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。

A: 支援入室の許可は、学校の支援として支援障害学生に計上してください。ただし、この場合のノートテイクは学校が実施している支援としての計上には含まれません。

Q: 学内にスロープ等のバリアフリー設備を設けます。これは支援として計上しますか。

A: バリアフリー設備の設置については、特に支援として計上する必要はありません。

< 調査票 >

(大学・大学院用)

※ 日本学生支援機構のホームページからダウンロードできます。
http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/chosa11.html

3. 発達障害について（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）

(1) 発達障害のある学生への支援における課題

① 発達障害のある学生への支援は、高等教育機関によっても授業の課題の1つと見られます。課題と見られている事項に記入してください。(複数回答可)

Table with 10 rows for selecting support issues. Options include: 1. 課題と見られているものの中に記入してください。 (Check if seen as a task), 2. 1その期間に記入しなかった場合は、その内容を空欄にしてください。 (If not entered, leave blank), 3. 教員の発達障害のある学生への理解 (Faculty understanding), 4. 周囲の学生の発達障害のある学生への理解 (Peer understanding), 5. 発達障害のある学生の出席者の理解 (Attendance understanding), 6. 支援体制・参画の連携 (Support/Participation cooperation), 7. 個人情報の取扱い (Personal info handling), 8. その他 (Others).

② 発達障害があることの診断書はないが発達障害ではないかと思われる、なんらかの支援(教育上の配慮等)を行っている学生がいる場合、その数を記入してください。

【記入上の注意】 1. 若年(専攻)の別は各大学ごとに異なります。詳細は学校基本情報の手引の28ページの2. 専攻系統分類表の(大分類)をご確認ください。

Table for recording the number of students with developmental disabilities. Columns include: 専攻(通称) (Major), 学級(通称) (Class), and columns for each disability type: LD, ADHD, 聴覚障害, 視覚障害, 知的障害, 発達性知的障害, 自閉性障害, 学習障害, 情緒障害, 身体障害, 精神障害, 統合失調症, 気分障害, 不安障害, 双極性障害, 躁鬱病, 強迫性障害, 摂食障害, 睡眠障害, 物質使用障害, 性被害, その他. Rows list various faculties like 人文科学, 社会科学, 理学, etc.

Table for recording the number of students with developmental disabilities. Columns include: 学級(通称) (Class), 専攻(通称) (Major), and columns for each disability type: LD, ADHD, 聴覚障害, 視覚障害, 知的障害, 発達性知的障害, 自閉性障害, 学習障害, 情緒障害, 身体障害, 精神障害, 統合失調症, 気分障害, 不安障害, 双極性障害, 躁鬱病, 強迫性障害, 摂食障害, 睡眠障害, 物質使用障害, 性被害, その他. Rows list various faculties like 人文科学, 社会科学, 理学, etc.

(2) 発達障害のある学生への支援 ① 発達障害のある学生に対して学内で行なっている支援のうち、授業支援以外で行なっている支援の欄に「1」を記入してください。カウゼリングの中で行なっている場合も含みます。授業支援については、「6. 支援」についてシートの(1)～①に記入してください。

【記入上の注意】 1. 「6. 発達障害のある学生への支援」の項に支援障害学生が計上されていると「7. 診断書有」欄の「白文字」で表示されます。授業支援以外に行なっている支援は、以下の1～4に記入しなかった場合は、「イ. 診断書無」欄の「白文字」で表示されます。授業支援以外に行なっている支援が除外されている場合は、両方の欄に「0」を記入してください。

Table for recording support methods. Columns: 支援方法 (Support Method), 診断書有 (Diagnosis Present), 診断書無 (Diagnosis Absent). Rows list methods like 1. 個別支援(個別指導), 2. 講師・教員指導, 3. 体系的スキル指導(導入講座、自己管理等), 4. カウゼリング, 5. 発達支援センター等との連携, 6. 特別支援学卒との連携, 7. 出身校との連携, 8. 家族等との連携, 9. 専門家(臨床心理士等)による心理療法(※)としてのカウンセリング (※上記1～4には含まれない心理的内容).

② 上記以外に発達障害のある学生に行なっている支援がありししたら、ご記入ください。

Table for recording additional support. Columns: 支援方法 (Support Method), 診断書有 (Diagnosis Present), 診断書無 (Diagnosis Absent). Rows 10-11.

4. 平成22年度卒業生（平成22年度の学部（通学課程）属高卒年に属する学生が在籍している場合、二回添付ください）

(1) 学部（通学課程）属高卒年次及び卒業生数

【記入上の注意】 ① 令和2年4月1日現在の在籍数、卒業生数は平成23年3月31日現在の平成22年度卒業生数を入力してください。
② 属高卒年次卒業生は、学部（通学課程）属高卒年次に属する卒業生を指します。②の属高卒年次卒業生数をご記入いただくは、自校に属する、②を属高卒年次卒業生として入力してください。
③ 卒業生数は、属高卒年次卒業生として入力するものと属高卒年次卒業生として入力しないものとを区別して入力してください。

Table with columns for 学部種別 (Faculty Category), 属高卒年次 (属高卒年次), 卒業生数 (卒業生数), and 在籍数 (在籍数). Rows include 預かり学生, 聴覚・言語障害, 肢体不自由, etc.

セルが空欄の場合は、①の属高卒年次卒業生の合計を参照してください。
セルが赤字の場合は、②の属高卒年次卒業生の合計を参照してください。
セルが緑色の場合は、③の属高卒年次卒業生の合計を参照してください。
セルが黄色の場合は、④の属高卒年次卒業生の合計を参照してください。

(2) 状況別卒業生数（平成23年5月1日現在）

【記入上の注意】 ① 令和2年4月1日現在の在籍数、卒業生数は平成23年5月1日現在の在籍数を入力してください。
② 属高卒年次卒業生は、学部（通学課程）属高卒年次に属する卒業生を指します。②の属高卒年次卒業生数をご記入いただくは、自校に属する、②を属高卒年次卒業生として入力してください。
③ 卒業生数は、属高卒年次卒業生として入力するものと属高卒年次卒業生として入力しないものとを区別して入力してください。

Table with columns for 状況 (Status), 属高卒年次 (属高卒年次), 卒業生数 (卒業生数), and 在籍数 (在籍数). Rows include 預かり学生, 聴覚・言語障害, 肢体不自由, etc.

セルが空欄の場合は、①の属高卒年次卒業生の合計を参照してください。
セルが赤字の場合は、②の属高卒年次卒業生の合計を参照してください。
セルが緑色の場合は、③の属高卒年次卒業生の合計を参照してください。
セルが黄色の場合は、④の属高卒年次卒業生の合計を参照してください。

Main data table with columns for 学部種別 (Faculty Category), 属高卒年次 (属高卒年次), 卒業生数 (卒業生数), and 在籍数 (在籍数). Rows include 預かり学生, 聴覚・言語障害, 肢体不自由, etc.

令和2年4月1日現在の在籍数、卒業生数は平成23年5月1日現在の在籍数を入力してください。
属高卒年次卒業生は、学部（通学課程）属高卒年次に属する卒業生を指します。②の属高卒年次卒業生数をご記入いただくは、自校に属する、②を属高卒年次卒業生として入力してください。

5. 障害学生数(障害学生数) (平成23年度、学部(通学課程)に障害学生が在籍している場合に2回該当しない)

① 学部(通学課程)全体の障害学生数

【記入上の注意】
 1 その他(除前項)には、該当する障害学生の合計数を記入し、その内訳(別 統合失調症、パニック障害、高次脳機能障害)を備考欄に記入し、[E] 障害学生数、その他(除前項)の内訳(シート)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。
 2 備考欄については、[E] 障害学生数、その他(除前項)の内訳(シート)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。
 3 この表には、入力する人数を記載するセルが必ずあります。セルの色は、赤いセルが記入すべき項目、青いセルが記入しない項目を示しています。
 4 本学は、障害学生数(障害学生数)の集計を、平成23年度(令和5年)の4月1日現在に行っています。
 5 本学は、障害学生数(障害学生数)の集計を、平成23年度(令和5年)の4月1日現在に行っています。
 6 本学は、障害学生数(障害学生数)の集計を、平成23年度(令和5年)の4月1日現在に行っています。
 7 本学は、障害学生数(障害学生数)の集計を、平成23年度(令和5年)の4月1日現在に行っています。

障害種別	A. 人文学部		B. 総合学部		C. 工学		D. 工学		E. 農学		F. 農学(工学)	
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
発達障害(診断書あり)												
LD												
ADHD												
その他(診断書あり)												
合計												

② 身体障害と発達障害の重複について

【記入上の注意】身体障害と発達障害の重複している学生について、その障害種別の数を記入してください。
 なお、重複の学部については、この表以外では身体障害学生として計上し、発達障害及び重複の項には計上しないでください。

障害種別	A. 人文学部		B. 総合学部		C. 工学		D. 工学		E. 農学		F. 農学(工学)	
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
発達障害(診断書あり)												
LD												
ADHD												
その他(診断書あり)												
合計												

障害種別	A. 人文学部		B. 総合学部		C. 工学		D. 工学		E. 農学		F. 農学(工学)	
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
発達障害(診断書あり)												
LD												
ADHD												
その他(診断書あり)												
合計												

障害種別	A. 人文学部		B. 総合学部		C. 工学		D. 工学		E. 農学		F. 農学(工学)	
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
発達障害(診断書あり)												
LD												
ADHD												
その他(診断書あり)												
合計												

③ 学部(専攻)別障害学生数

【記入上の注意】 学部(専攻)別には、各大学2年に限ります。2記入の際は、専攻基本課の「2023年度(令和5年)の2 学部系統分類表」(6ページ)をご確認ください。

障害種別	A. 人文学部		B. 総合学部		C. 工学		D. 工学		E. 農学		F. 農学(工学)	
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
発達障害(診断書あり)												
LD												
ADHD												
その他(診断書あり)												
合計												

障害種別	G. 農学(工学)		H. 農学		I. 工学		J. 工学		K. 農学		L. その他	
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
発達障害(診断書あり)												
LD												
ADHD												
その他(診断書あり)												
合計												

次のシート
 ○その他(除前項)には、該当する障害学生の合計数を記入し、その内訳(別 統合失調症、パニック障害、高次脳機能障害)を備考欄に記入してください。
 ○備考欄については、[E] 障害学生数、その他(除前項)の内訳(シート)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。
 ○この表には、入力する人数を記載するセルが必ずあります。セルの色は、赤いセルが記入すべき項目、青いセルが記入しない項目を示しています。

5. 障害学生数(障害種別) (平成23年度、学部(通商教育課程)に障害学生が在籍している場合に二回書くは)

① 障害学生数(障害種別)全体の障害学生数

- 【記入上の注意】
- その他(診断書)には、該当する障害学生(合計数)を記入し、その内訳(例: 統合失調症、知的障害、高度脳機能障害)を併記する。その他(診断書)の内訳(例: 統合失調症、知的障害、高度脳機能障害)を併記する。その他(診断書)の内訳(例: 統合失調症、知的障害、高度脳機能障害)を併記する。
 - 重複については、「E. 障害学生数」の欄(診断書)の内訳(例: 統合失調症、知的障害、高度脳機能障害)を併記する。その他(診断書)の内訳(例: 統合失調症、知的障害、高度脳機能障害)を併記する。
 - この欄には、入力する学年(学年)を記入する。学年(例: 1年次)を記入する。学年(例: 1年次)を記入する。学年(例: 1年次)を記入する。
- 【その他(診断書)】は、E. 障害学生数、その他(診断書)の内訳(例: 統合失調症、知的障害、高度脳機能障害)を併記する。その他(診断書)の内訳(例: 統合失調症、知的障害、高度脳機能障害)を併記する。

障害種別	A. 人文学部		B. 経済学部		C. 法学部		D. 工学部		E. 農学部		F. 農工学部	
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
発達障害(診断書あり)												
LD												
ADHD												
発達障害(診断書なし)												
LD												
ADHD												
発達障害(診断書あり)												
LD												
ADHD												
発達障害(診断書なし)												
LD												
ADHD												
合計												

② 身体障害と発達障害の重複について

- 【記入上の注意】身体障害と発達障害の重複している学生について、その障害種別の数を記入してください。
- なお、重複の学部については、この表以外では身体障害学生として計上し、発達障害及び重複の項には計上しないください。

障害種別	ア		イ		ウ		エ		オ		カ		キ		ク		ケ		コ		
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ	ク	ケ	コ	
発達障害(診断書あり)																					
LD																					
ADHD																					
発達障害(診断書なし)																					
LD																					
ADHD																					
発達障害(診断書あり)																					
LD																					
ADHD																					
発達障害(診断書なし)																					
LD																					
ADHD																					
合計																					

③ 学科(専攻)別障害学生数

【記入上の注意】学科(専攻)別は各大学ごとに異なります。ご記入の際は本校基本課の「2023年度2学期の2学科系統分類表」(2学期)をご確認ください。

障害種別	A. 人文学部		B. 経済学部		C. 法学部		D. 工学部		E. 農学部		F. 農工学部	
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
発達障害(診断書あり)												
LD												
ADHD												
発達障害(診断書なし)												
LD												
ADHD												
発達障害(診断書あり)												
LD												
ADHD												
発達障害(診断書なし)												
LD												
ADHD												
合計												

次のとおり

- その他(診断書)に「発達障害」を記入した場合は、「E. 農学部」の内訳(例: 農学)に記入してください。
- その他(診断書)に「発達障害」を記入していない場合は、「F. 農工学部」の内訳(例: 農工)に記入してください。
- 「発達障害」を記入していない場合は、「F. 農工学部」の内訳(例: 農工)に記入してください。

5. 障害学生数(障害種別) (平成23年度、大学院(進学課程)に障害学生が在籍している場合にご回答ください)

(1)障害学生数(障害種別)

【記入上の注意】
1 その他(診断書)には、該当する障害学生(含)の学歴を記入し、その内訳(統合失調症、パニック障害、高次脳機能障害...)

Table with columns for disability types (e.g., 発達障害(診断書あり), LD, ADHD) and years (2021, 2022, 2023).

(2)身体障害と発達障害の重複について

【記入上の注意】身体障害と発達障害の重複している学生について、その障害種別の数を記入してください。

Table for overlapping disabilities, similar to the first table but with a separate column for '重複している学生'.

③ 学科(専攻)別障害学生数

【記入上の注意】 学科(専攻)別は各大学ごとに異なります。ご記入の際は学級基本調査の年度の28ページ(2)学科系統分類表の(6)分欄をご確認ください。

Table showing disability counts by faculty (A-L) and category (e.g., 聴覚障害, 身体障害).

Table showing disability counts by faculty (G-L) and category, similar to the previous table.

次のシート
○その他(診断書)には、該当する障害学生(含)の学歴を記入し、その内訳(統合失調症、パニック障害、高次脳機能障害...)

5. 障害学生数(通值教育課程) (平成23年度、大学院(通值教育課程)) (障害学生数(通值課程))

① 大学院(通值教育課程)全体の障害学生数

- 【記入上の注意】
 - その他(診断書)には、該当する障害学生(含)の科目を記入し、その内訳(病名・病状・程度、ハンディ障、高度脳機能障害)を併記する。その他(診断書)の内訳(診断書)に、障害名ごとに詳細を記入していただく。
 - 障害学生数については、「15. 障害学生数」の欄に、障害名ごとに詳細を記入していただく。
 - これは計上しない。計上は身体障害の当該のみに計上し、重症と軽度の両方に計上しない。
- この表には、入力する人数を記載するセルが必ずあります。
- 「身体障害」が「発達障害」に分類される場合があります。その場合は「発達障害」の欄に「発達障害」として入力してください。
- 「その他(診断書)」欄は、「15. 障害学生数」の欄に「その他(診断書)」と記入し、その内訳を併記していただく。
- それぞれの欄に記入する人数は、必ずセルが埋まっていることを確認してください。

障害種別	A. 大学院(通值教育課程)		B. 大学院(通值教育課程)		C. 大学院(通值教育課程)		D. 大学院(通值教育課程)		E. 大学院(通值教育課程)		F. 大学院(通值教育課程)	
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
発達障害(診断書あり)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
発達障害(診断書なし)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
LD	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
ADHD	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
その他(診断書あり)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
その他(診断書なし)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
計												

② 身体障害と発達障害の重複について

- 【記入上の注意】身体障害と発達障害の重複している学生について、その障害種別の数を記入してください。
- なお、重複の学則については、この表以外で身体障害学生として計上し、発達障害及び重複の項には計上しないでください。

障害種別	A. 大学院(通值教育課程)		B. 大学院(通值教育課程)		C. 大学院(通值教育課程)		D. 大学院(通值教育課程)		E. 大学院(通值教育課程)		F. 大学院(通值教育課程)	
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
発達障害(診断書あり)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
発達障害(診断書なし)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
LD	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
ADHD	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
その他(診断書あり)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
その他(診断書なし)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
計												

③ 学科(専攻)別障害学生数

【記入上の注意】 学科(専攻)別は各大学院ごとに記載します。ご記入の際は学位基本課程の科目の28ページの2. 学科系統分類表の「6. 学期」までご確認ください。

障害種別	A. 大学院(通值教育課程)		B. 大学院(通值教育課程)		C. 大学院(通值教育課程)		D. 大学院(通值教育課程)		E. 大学院(通值教育課程)		F. 大学院(通值教育課程)	
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
発達障害(診断書あり)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
発達障害(診断書なし)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
LD	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
ADHD	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
その他(診断書あり)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
その他(診断書なし)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ	キ
計												

次のシート
 ○その他(診断書)に「発達障害」と記載された場合、「15. 障害学生数」の欄に「発達障害」として計上してください。
 ○「発達障害」と記載された場合、「15. 障害学生数」の欄に「発達障害」として計上してください。
 ○「発達障害」と記載された場合、「15. 障害学生数」の欄に「発達障害」として計上してください。

5. 障害学生数一と政科 平成23年度、専攻科に障害学生が在籍している場合に二回記入ください。

(1) 障害学生数(障害種別)

① 専攻科全体の障害学生数

- 【記入上の注意】
 - その他(除前項)には、該当する障害学生を合計を記入し、その内訳(性別、統合失調症、パニック障害、高度脳機能障害)を併記してください。[E] 障害学生数、その他(除前項)の内訳(性別)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。
 - 2 専攻科については、[E] 障害学生数、その他(除前項)の内訳(性別)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。
 - 3 この表には、入力する人数を記載するセルが必ずあります。セルが赤字で表示されている場合は、入力した人数が0であることを示しています。また、セルが赤字で表示されている場合は、入力した人数が0であることを示しています。
- 【その他(除前項)】
 - その他(除前項)とは、[E] 障害学生数、その他(除前項)の内訳(性別)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。
 - その他(除前項)とは、[E] 障害学生数、その他(除前項)の内訳(性別)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。
 - その他(除前項)とは、[E] 障害学生数、その他(除前項)の内訳(性別)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。

専攻科の障害学生数 (障害種別)	ア		イ		ウ		エ		オ	
	障害学生数	アの割合 障害学生数	障害学生数	アの割合 障害学生数	障害学生数	ウの割合 障害学生数	障害学生数	エの割合 障害学生数	障害学生数	オの割合 障害学生数
発達障害(診断書あり)										
LD										
ADHD										
発達障害(診断書あり)										
その他(診断書あり)										
計										

② 専攻科全体の障害学生数

- 【記入上の注意】
 - その他(除前項)には、該当する障害学生を合計を記入し、その内訳(性別、統合失調症、パニック障害、高度脳機能障害)を併記してください。
 - その他(除前項)とは、[E] 障害学生数、その他(除前項)の内訳(性別)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。
 - その他(除前項)とは、[E] 障害学生数、その他(除前項)の内訳(性別)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。

専攻科の障害学生数 (障害種別)	ア		イ		ウ		エ		オ	
	障害学生数	アの割合 障害学生数	障害学生数	イの割合 障害学生数	障害学生数	ウの割合 障害学生数	障害学生数	エの割合 障害学生数	障害学生数	オの割合 障害学生数
発達障害(診断書あり)										
LD										
ADHD										
発達障害(診断書あり)										
その他(診断書あり)										
計										

③ 専攻科全体の障害学生数

- 【記入上の注意】
 - その他(除前項)には、該当する障害学生を合計を記入し、その内訳(性別、統合失調症、パニック障害、高度脳機能障害)を併記してください。
 - その他(除前項)とは、[E] 障害学生数、その他(除前項)の内訳(性別)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。
 - その他(除前項)とは、[E] 障害学生数、その他(除前項)の内訳(性別)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。

専攻科の障害学生数 (障害種別)	ア		イ		ウ		エ		オ	
	障害学生数	アの割合 障害学生数	障害学生数	イの割合 障害学生数	障害学生数	ウの割合 障害学生数	障害学生数	エの割合 障害学生数	障害学生数	オの割合 障害学生数
発達障害(診断書あり)										
LD										
ADHD										
発達障害(診断書あり)										
その他(診断書あり)										
計										

④ 専攻科全体の障害学生数

- 【記入上の注意】
 - その他(除前項)には、該当する障害学生を合計を記入し、その内訳(性別、統合失調症、パニック障害、高度脳機能障害)を併記してください。
 - その他(除前項)とは、[E] 障害学生数、その他(除前項)の内訳(性別)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。
 - その他(除前項)とは、[E] 障害学生数、その他(除前項)の内訳(性別)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。

専攻科の障害学生数 (障害種別)	ア		イ		ウ		エ		オ	
	障害学生数	アの割合 障害学生数	障害学生数	イの割合 障害学生数	障害学生数	ウの割合 障害学生数	障害学生数	エの割合 障害学生数	障害学生数	オの割合 障害学生数
発達障害(診断書あり)										
LD										
ADHD										
発達障害(診断書あり)										
その他(診断書あり)										
計										

③ 学科(専攻)別障害学生数

【記入上の注意】 学科(専攻)別は各大学ごとに異なります。ご記入の際は学校基本情報の手冊の28ページの2 学科系統分類表の「大分類」までご確認ください。

障害種別	A. 人文学部		B. 総合学		C. 工学		D. 工学		E. 農学		F. 農学(畜産)	
	ア	イ	ア	イ	ア	イ	ア	イ	ア	イ	ア	イ
発達障害												
LD												
ADHD												
発達障害(診断書あり)												
その他(診断書あり)												
計												

障害種別	G. 農学(畜産)		H. 農学		I. 農学		J. 農学		K. 農学		L. その他	
	ア	イ	ア	イ	ア	イ	ア	イ	ア	イ	ア	イ
発達障害												
LD												
ADHD												
発達障害(診断書あり)												
その他(診断書あり)												
計												

次のシート
 ○その他(除前項)には、該当する障害学生を合計を記入し、その内訳(性別、統合失調症、パニック障害、高度脳機能障害)を併記してください。
 ○その他(除前項)とは、[E] 障害学生数、その他(除前項)の内訳(性別)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。
 ○その他(除前項)とは、[E] 障害学生数、その他(除前項)の内訳(性別)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。

6. 支援について（平成23年度に障害学生が在籍している場合に回答してください。）

- (1) 授業支援（平成23年度実施（予定含む）についてご回答ください。）
 ① 学内で行なっている支援について、障害種別に該当欄に「1」を記入してください。
 行っていない支援の欄は空欄のままで結構です。

【記入上の注意】 障害種名の欄が「白文字」になっているのは、他シートへの回答で「支援障害学生が1人以上在籍する」となっている障害種です。それらの「支援障害学生」が受けている支援方法に必ず「1」を記入してください。

支援方法	支援者	障害種別				
		視覚・聴覚・言語障害	肢体・不自由	病弱・虚弱	重複	その他
1 点訳・墨取	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
2 教材のテキストデータ化	学生 外部(支援組織、ボランティア)					
3 教材の拡大	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
4 ガイドヘルプ	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
5 リーディングサービス	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
6 手話通訳	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
7 ノートテイク	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
8 ハンコンテイク	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
9 デジタル教材字幕付付・文字起こし	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
10 手・カメラ・スマホ・タブレットの活用	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
11 試験時間延長・別室受験						
12 障害方法配慮						
13 ハソコソの併用使用許可						
14 注意事項等文書伝達						
15 使用放棄配慮						
16 実技・実習配慮						
17 教室内座席配慮						
18 FM補聴器/マイク使用						
19 専用机・イス・スベース調整						
20 席み上げソフト使用						
21 講義内容録音許可						
22 休講室の確保						

- ② 上記以外の授業支援がありましたら、その支援方法を記入してください。
 また、支援者をリストから選び、該当する障害種の欄に「1」を記入してください。

支援方法	支援者	障害種別				
		視覚・聴覚・言語障害	肢体・不自由	病弱・虚弱	重複	その他
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						

- (2) 授業以外の支援（平成23年度実施（予定含む）についてご回答ください。）
 授業に関するもの以外の支援を行っている場合は、その支援内容と支援者（発達障害を除く）を記入してください。

※発達障害については3. 発達障害についてシートにご記入ください。

【記入上の注意】 障害種名の欄が「白文字」になっているのは、「5. 障害学生数」シートへの回答で「支援障害学生」が1人以上在籍するとなっている障害種です。それらの「支援障害学生」が受けている授業支援以外の支援がある場合に「1」を記入してください。

支援方法	障害種別				
	視覚・聴覚・言語障害	肢体・不自由	病弱・虚弱	重複	その他
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					

次に「7. 意見・要望」シートをご記入ください。

7. 意見、要望 (数量のある学生の存続の判断に関わらずご返答ください)

(1) 障害学生の修学支援について、課題と感じられていること、お困りになっていることがありましたら、ご記入ください。

Empty text box for student feedback.

(2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等に関して、課題と感じられていることがありましたら、ご記入ください。

Empty text box for student feedback.

(3) 日本学生支援機構の障害学生修学支援の取組について、ご意見、ご要望をご記入ください。

Empty text box for student feedback.

◆ご協力ありがとうございました◆

ご記入内容を確認し、ご返信いたします。ご返信のうえ、追加記入がございましたら、JASSOまでメールにてご連絡ください。

【追加記入用】

【記入上の注意】 以下は、他シートの該当欄に記入しきれなかった内容を記入していただくためのリストです。本来の該当欄に記入しきれない場合のみご利用ください。

1. 学生数・活動や取組 (2)-② 障害学生支援に関連する取組(ボランティア等)を実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

1. 学生数・活動や取組 (2)-③ 障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイカー養成等)を実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

1. 学生数・活動や取組 (2)-④ 障害学生支援に関する講座・講演等イベントを実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

1. 学生数・活動や取組 (2)-⑤ 障害学生支援に関する(学内)教員研修(FD等)を実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

1. 学生数・活動や取組 (2)-⑥ 障害学生支援に関する(学内)職員研修(SD等)を実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

1. 学生数・活動や取組 (2)-⑦ 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣を実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

2. 入学者選抜 (2)-② ①で記入した、その他(診断書者)の内訳(障害名別)をご記入ください。

Large table for recording disability types and counts for admission selection.

2. 入学者選抜 (2)-④ 平成22年度入学者選抜における特別措置のうち、大学入試センター「身体障害者等に係る受験特別措置」内容以外の特別措置を行なった場合、その内容を記入ください。

Table for recording special measures for admission selection.

< 調査票 >

(短期大学(部)用)

※ 日本学生支援機構のホームページからダウンロードできます。
http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/chosa11.html

2. 入学支援

(1) 入学支援における配慮

- ① 入学支援における配慮(特別費)を、入試要項またはホームページに記載している場合は、備考1に記入してください。

入学支援における配慮(特別費)について	入学支援における配慮(特別費)を、入試要項またはホームページに記載している場合は、備考1に記入してください。
---------------------	--

(2) 平成23年度入学支援に関する特別費に関する申請書の受付状況、期間等をご記入ください。

【記入上の注意】
1. 該当する受付状況の欄に「1」を記入し、受付期間を記入してください。
2. 申請期間が異なる場合は、その期間を記入してください。

区分	申請期間	受付期間
1. 入学支援		
2. その他		

(2) 平成23年度入学支援における特別費

- ① 平成23年度入学支援において、特別費を行なった職種、職種数、合計金額、入学者数をご記入ください。
- ② 平成23年度入学支援において、特別費を行なった職種、職種数、合計金額、入学者数をご記入ください。

区分	職種	職種数	合計金額	入学者数
1. 入学支援				
2. その他				

② ①で記入した、その他(特別費)の内訳(職種名)をご記入ください。

職種名	職種数	合計金額	入学者数
1. 入学支援			
2. その他			

③ 平成23年度入学支援に関する特別費の申請書の受付状況、期間等をご記入ください。

【記入上の注意】
1. 申請期間が異なる場合は、その期間を記入してください。
2. 申請期間が異なる場合は、その期間を記入してください。

区分	申請期間	受付期間
1. 入学支援		
2. その他		

※本欄の記入は、平成23年度入学支援に関する特別費の申請書の受付状況、期間等をご記入ください。

平成23年度(2011年度) 大学、短期大学及び高等専門学校における履修のある学生の修学支援に関する実態調査

【記入上の注意】
1. 該当する学生の人数を記入し、申請書の提出がない場合は、申請書の提出を申請していません。
2. 申請書の提出がない場合は、申請書の提出を申請していません。

学校種別	1. 学校種別	2. 学校種別	3. 学校種別	4. 学校種別	5. 学校種別
1. 大学	2. 短期大学	3. 高等専門学校	4. 大学	5. 短期大学	6. 高等専門学校

(1) 学校全体の生徒数

【記入上の注意】
1. 該当する学生の人数を記入し、申請書の提出がない場合は、申請書の提出を申請していません。
2. 申請書の提出がない場合は、申請書の提出を申請していません。

区分	全学生数	入学数	卒業数	特別費のある学生数
1. 大学				
2. 短期大学				
3. 高等専門学校				

(2) 履修学生修学支援に関する活動や取組

- ① 履修学生修学支援に関して、以下の活動や取組を実施している場合は、「1」を記入してください。
- ② 履修学生修学支援に関する講義(ポリアティア等)を実施している場合、その内容を記入してください。

【記入上の注意】
1. 実施している場合は、実施期間(月)と実施回数(回)を記入してください。
2. 実施していない場合は、「0」を記入してください。

区分	実施期間	実施回数
1. 大学		
2. 短期大学		
3. 高等専門学校		

③ 履修学生修学支援に関する学生向け研修(ノートテイク差延等)を実施している場合、その内容を記入してください。

区分	実施期間	実施回数
1. 大学		
2. 短期大学		
3. 高等専門学校		

④ 履修学生修学支援に関する講義、講演等イベントを実施している場合、その内容を記入してください。

区分	実施期間	実施回数
1. 大学		
2. 短期大学		
3. 高等専門学校		

⑤ 履修学生修学支援に関する(学内)教員研修(FD等)を実施している場合、その内容を記入してください。

区分	実施期間	実施回数
1. 大学		
2. 短期大学		
3. 高等専門学校		

⑥ 履修学生修学支援に関する(学内)教員研修(SD等)を実施している場合、その内容を記入してください。

区分	実施期間	実施回数
1. 大学		
2. 短期大学		
3. 高等専門学校		

⑦ 履修学生修学支援に関する学外研修への教員派遣を実施している場合、その内容を記入してください。

区分	実施期間	実施回数
1. 大学		
2. 短期大学		
3. 高等専門学校		

⑧ 履修学生支援の主たる担当部署を記入してください。

担当部署	担当者	氏名	職名	所属
1. 大学				
2. 短期大学				
3. 高等専門学校				

※本欄の記入は、平成23年度入学支援に関する特別費の申請書の受付状況、期間等をご記入ください。

※本欄の記入は、平成23年度入学支援に関する特別費の申請書の受付状況、期間等をご記入ください。

3. 発達障害について (障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 発達障害のある学生への支援における課題

① 発達障害のある学生への支援は、高等教育機関によっても頻繁の課題の1つと見られます。課題と認められている事項に記入してください。(複数回答可)

【記入上の注意】

1 課題と認められているものに記入してください。

2 1つの欄に1行を記入した場合は、その内容を転記してください。

Table with 10 rows for selecting support issues. Rows include: 教員への発達障害のある学生への対応, 教員への発達障害のある学生への理解, 周囲の学生の発達障害のある学生への理解, 発達障害のある学生への支援, 支援体制・影響の把握, その他.

② 発達障害があることの診断書がないが発達障害ではないかと思われる、なんらかの支援(教育上の配慮等)を行っている学生がいる場合、その数を記入してください。

【記入上の注意】

1 学年(専攻の別)は各大学ごとに要になります。詳細は学校基本情報の手引の28ページの2. 専攻系統分類表の(大分類)をご確認ください。

2 専攻(通称専攻)は、

Large table for recording student counts by faculty and disability type. Columns include faculty names (e.g., 人文科学, 理学, 工学) and disability types (e.g., LD, ADHD, LD). Rows are color-coded by faculty.

Table for recording student counts by faculty and disability type. Columns include faculty names (e.g., 人文科学, 理学, 工学) and disability types (e.g., LD, ADHD, LD). Rows are color-coded by faculty.

(2) 発達障害のある学生への支援
① 発達障害のある学生に対して学内で行なっている支援のうち、授業支援以外で行なっている支援の欄に1行を記入してください。カテゴリーの中で行なっている場合も含まれます。授業支援については、16. 支援についてシートの(1)～①に記入してください。

【記入上の注意】
1 16. 発達障害のある学生への支援(診断書)の項に支援障害学生が計上されていると「ア. 診断書(白文字)」文字で表示されます。授業支援以外に行なっている支援は、以下の1～5に記入してください。
2 (1)～5で記入された支援(記述)を行なっている学生を計上した場合は、「イ. 診断書(黒文字)」文字で表示されます。授業支援以外に行なっている支援は、以下の1～5に記入してください。
3 両方に記入している場合は、両方の欄に1行を記入してください。

Table for recording support methods. Columns include support method (e.g., 1. 学習指導(履修方法, 学習方法等)), and counts for 'ア. 診断書(白文字)' and 'イ. 診断書(黒文字)'.

② 上記以外に発達障害のある学生に行なっている支援がありししたら、ご記入ください。

Table for recording additional support methods. Columns include support method and counts for 'ア. 診断書(白文字)' and 'イ. 診断書(黒文字)'.

4. 平成22年度卒業生（平成22年度の学部（通学課程）属高卒年に属する学生が在籍している場合、二回張ください）

(1) 学部（専攻科）属高卒年次及び卒業学生数

【記入上の注意】
 1 学部（専攻科）属高卒年次卒業生は、卒業学生数は平成23年3月31日現在の平成22年度卒業生学生数を記入してください。
 2 専攻科属高卒年次卒業生は、卒業学生数は平成23年3月31日現在の平成22年度卒業生学生数を記入してください。
 3 卒業生が専攻科属高卒年次卒業生として入学した場合は、(2)の属高卒年次卒業生学生数を記入してください。由緒に属する場合は、(2)を記入してください。
 4 学部（専攻科）属高卒年次卒業生は、卒業学生数は平成23年3月31日現在の平成22年度卒業生学生数を記入してください。

学部（専攻科）	属高卒年次卒業生		計
	卒業生数 1日現在	卒業生数 31日現在	
理学部			
工学部			
経済学部			
法学部			
文学部			
教育学部			
健康学部			
国際学部			
総合学部			
その他の学部（専攻科）			
計			

※以上、学部（専攻科）属高卒年次卒業生は、(2)の属高卒年次卒業生学生数を記入してください。

①セルが空欄の場合は、(2)の属高卒年次卒業生学生数を参照してください。
 ②セルが空欄の場合は、(2)の属高卒年次卒業生学生数を参照してください。
 ③セルが空欄の場合は、(2)の属高卒年次卒業生学生数を参照してください。
 ④セルが空欄の場合は、(2)の属高卒年次卒業生学生数を参照してください。

(2) 状況別卒業生学生数（平成23年5月1日現在）

【記入上の注意】
 1 (1)の合計より平成22年度卒業生学生数について記入してください。
 2 (1)の合計より平成22年度卒業生学生数について記入してください。
 3 ②は、①のうち既述している者（平成23年4月1日現在の人数）を記入してください。
 4 ④には、②を除いた人数を記入してください。

状況	学部（専攻科）	① A-Eの状況別					E 別科
		A 学部	B 専攻科	C 専攻科	D 専攻科	E 専攻科	
7. 漢字者	理学部						
	工学部						
	経済学部						
	法学部						
	文学部						
	教育学部						
	健康学部						
	国際学部						
	総合学部						
	その他の学部（専攻科）						
	計						

状況	学部（専攻科）	② A-Eの状況別					E 別科
		A 学部	B 専攻科	C 専攻科	D 専攻科	E 専攻科	
7. 漢字者	理学部						
	工学部						
	経済学部						
	法学部						
	文学部						
	教育学部						
	健康学部						
	国際学部						
	総合学部						
	その他の学部（専攻科）						
	計						

学部（専攻科）	状況	① A-Eの状況別					E 別科
		A 学部	B 専攻科	C 専攻科	D 専攻科	E 専攻科	
7. 漢字者	理学部						
	工学部						
	経済学部						
	法学部						
	文学部						
	教育学部						
	健康学部						
	国際学部						
	総合学部						
	その他の学部（専攻科）						
	計						

学部（専攻科）	状況	② A-Eの状況別					E 別科
		A 学部	B 専攻科	C 専攻科	D 専攻科	E 専攻科	
7. 漢字者	理学部						
	工学部						
	経済学部						
	法学部						
	文学部						
	教育学部						
	健康学部						
	国際学部						
	総合学部						
	その他の学部（専攻科）						
	計						

学部（専攻科）	状況	① A-Eの状況別					E 別科
		A 学部	B 専攻科	C 専攻科	D 専攻科	E 専攻科	
7. 漢字者	理学部						
	工学部						
	経済学部						
	法学部						
	文学部						
	教育学部						
	健康学部						
	国際学部						
	総合学部						
	その他の学部（専攻科）						
	計						

①セルが空欄の場合は、(2)の属高卒年次卒業生学生数を参照してください。
 ②セルが空欄の場合は、(2)の属高卒年次卒業生学生数を参照してください。
 ③セルが空欄の場合は、(2)の属高卒年次卒業生学生数を参照してください。
 ④セルが空欄の場合は、(2)の属高卒年次卒業生学生数を参照してください。

5. 障害学生数(学修) (平成23年度、学期(通学課程)) (障害学生が在籍している場合) (ご回答ください)

① 学修(通学課程)全体の障害学生数

【記入上の注意】

- その数(診断書)には、該当する障害学生(合計数)を記入し、その内訳(例: 統合失調症、パニック障害、高次脳機能障害)を併記してください。【注】障害学生数(その数(診断書))の内訳(シート)に、障害名ごとに詳細数を記入してください。
 - 2学期については、1学期(通学課程)の学修(通学課程)に、障害学生が在籍している場合は、重複して記載してください。
 - この数には、入学者(入学)と卒業生(卒業)の両方を合算して記載してください。
- 【その他】
- 「その他(診断書)」欄には、1学期(通学課程)の内訳(シート)とご記入いただく欄に併記してください。
 - 「その他(診断書)」欄には、1学期(通学課程)の内訳(シート)とご記入いただく欄に併記してください。
 - 「その他(診断書)」欄には、1学期(通学課程)の内訳(シート)とご記入いただく欄に併記してください。

障害種別	A. 入学者数		B. 卒業生数		C. 通学		D. 工学		E. 農学		F. 看護(看護学)	
	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数
発達障害(診断書あり)												
LD												
LD(AD/HD)												
発達障害(診断書あり)												
その他の発達障害(診断書あり)												
計												

② 身体障害と発達障害の重複について

【記入上の注意】身体障害と発達障害の重複している学生について、その障害種別の数を記入してください。なお、該当の学修については、この表以外では障害学生として計上し、発達障害及び重複の項には計上しないでください。

障害種別	A		B		C		D		E		F	
	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数
発達障害(診断書あり)												
ADHD												
発達障害(診断書あり)												
その他の発達障害(診断書あり)												
計												

障害種別	A		B		C		D		E		F	
	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数
発達障害(診断書あり)												
ADHD												
発達障害(診断書あり)												
その他の発達障害(診断書あり)												
計												

障害種別	A		B		C		D		E		F	
	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数
発達障害(診断書あり)												
発達障害(診断書あり)												
発達障害(診断書あり)												
その他の発達障害(診断書あり)												
計												

③ 学修(専攻)別障害学生数

【記入上の注意】 学修(専攻)別は各大学ごとに異なります。ご記入の際は学修(専攻)別の20ページの2. 学修(専攻)別障害学生数の欄にご記入ください。

障害種別	A. 入学者数		B. 卒業生数		C. 工学		D. 工学		E. 農学		F. 看護(看護学)	
	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数
発達障害(診断書あり)												
LD												
LD(AD/HD)												
発達障害(診断書あり)												
その他の発達障害(診断書あり)												
計												

障害種別	A. 入学者数		B. 卒業生数		C. 工学		D. 工学		E. 農学		F. 看護(看護学)	
	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 障害学生数
発達障害(診断書あり)												
LD												
LD(AD/HD)												
発達障害(診断書あり)												
その他の発達障害(診断書あり)												
計												

次のシート
○その数(診断書)には、重複して記載した場合は、「1」を記載する(重複記載)の旨を記入してください。
○その数(診断書)には、重複して記載した場合は、「1」を記載する(重複記載)の旨を記入してください。
○その数(診断書)には、重複して記載した場合は、「1」を記載する(重複記載)の旨を記入してください。

5. 障害学生数(障害種別) (1)障害学生数(障害種別)

① 身体障害(重複教育課程)全体の障害学生数

【記入上の注意】
1 その他(診断書有)には、該当する障害学生の合計数を記入し、その内訳(例:統合失調症、パニック障害、高度脳機能障害)を併記する。
2 併記については、「E. 障害学生数(その他(診断書有))の内訳」に、障害名ごとに併記数を記入してください。
3 この表には、入力する人数(重複されるセルが複数ある)は、重複する人数(重複セル)の合計として入力してください。

Table with columns for disability types (e.g., 発達障害(診断書有), LD, ADHD) and years (2023年度, 2024年度, 2025年度). Rows include categories like 特別障害, 聴覚・言語障害, 身体不自由, etc.

② 身体障害と発達障害の重複について

【記入上の注意】身体障害と発達障害の重複している学生について、その障害種別の数を記入してください。なお、重複の学生については、この表以外で身体障害学生として計上し、発達障害及び重複の項には計上しないでください。

Table similar to the one above, but with an additional column for '重複' (Overlap) to track students with both physical and developmental disabilities.

③ 学科(専攻)別障害学生数

【記入上の注意】学科(専攻)別は各大学ごとに異なります。ご記入の際は学校基本情報の手冊の28ページの2.学科系統分類表の(5)分類をご確認ください。

Large table showing disability counts by faculty (A-L) and category. Columns include A-L 各専攻 and 計. Rows include 特別障害, 聴覚・言語障害, 身体不自由, etc.

次のとおり、

- その他(診断書有)に障害学生数を記入した場合は、障害学生数(その他(診断書有))の内訳に1単位ご記入ください。
○他の(診断書有)に障害学生数を記入している場合は、障害学生数のうち重複の数を1単位ご記入ください。
○障害学生数が重複している場合は重複の数だけ記入してください。 → 16. 支援について(1)単位ご記入ください。

5. 障害学生数一級政科 平成26年度、専攻科に障害学生が在籍している場合に二回答ください

(1) 障害学生数(障害種別)

① 専攻科全体の障害学生数

【記入上の注意】

- 1 その他(診断書有)とは、該当する障害学生の合計数を記入し、その内訳(例：統合失調症、パニック障害、高度脳機能障害)を備考欄に記入してください。【注】障害学生数(その他(診断書有))の内訳シートに、障害名ごとに詳細数を記入してください。
- 2 その他(診断書有)とは、該当する障害学生数(その他(診断書有))の内訳シートに、障害名ごとに詳細数を記入してください。
- 3 この欄には、入力するべきと判定されるセルが必ずあります。【注】診断書有(診断書有)の欄に「その他(診断書有)」と記入する場合は、その他(診断書有)の内訳シートを記入してください(白紙に限りません)。【注】その他(診断書有)とは、該当する障害学生数(その他(診断書有))の内訳シートを記入してください(白紙に限りません)。

障害種別	A. 人文学部		B. 総合学部		C. 工学		D. 工学		E. 農学		F. 農学(工学)	
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	ク	ケ
発達障害(診断書有)												
LD												
その他(診断書有)												
計												

② 身体障害と発達障害の重複について

【記入上の注意】身体障害と発達障害の重複している学生について、その重複種別の数を記入してください。なお、該当の学部については、この表以外に身体障害学生として計上し、発達障害及び重複の項には計上しないでください。

障害種別	ア		イ		ウ		エ		オ		カ		キ		ク		ケ		コ	
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	ク	ケ	コ	ク	ケ	コ	ク	ケ	コ	
発達障害(診断書有)																				
ADHD																				
その他(診断書有)																				
計																				

③ 学科(専攻)別障害学生数

【記入上の注意】 学科(専攻)別は各大学ごとに異なります。ご記入の際は学校基本調査の付録の28ページの2 学科系統分類表の(5)分類にご確認ください。

障害種別	A. 人文学部		B. 総合学部		C. 工学		D. 工学		E. 農学		F. 農学(工学)	
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	ク	ケ
発達障害(診断書有)												
LD												
その他(診断書有)												
計												

次のシート
○その他(診断書有)に発達障害と重複した場合は、「F. 農学」の欄に重複種別の内訳とともに入力してください。
○その他(診断書有)に発達障害と重複した場合は、「F. 農学」の欄に入力してください。
○障害学生が在籍している学部すべてに記入が義務づけられています。

5. 履修学生数その他(修習者)の内訳 (平成23年度に履修学生が存在している科目に回答ください)

- ① 履修学生数(その他(修習者))
 - 1. 履修学生(1)の内訳(履修者の名を挙げておきますので、履修者名を記入してください。)
 - 2. 学年(履修者本人が所属している学年)を記述し、その学年の履修者数、7/25時点の履修者数、7/25時点の履修者数(修習者)を記述し、7/25時点の履修者数(修習者)を記述してください。
 - 3. 履修者数(その他(修習者))の内訳(履修者の名を挙げておきますので、履修者名を記入してください。)

学科(履修者)

学科(履修者)	内訳	イ	エ
※学科(履修者)分類は必ずこの順序で、各その他(修習者)に該当する履修者(修習者)を記述し、7/25時点の履修者数(修習者)を記述してください。学年(履修者本人が所属している学年)を記述し、その学年の履修者数、7/25時点の履修者数、7/25時点の履修者数(修習者)を記述してください。7/25時点の履修者数(修習者)を記述してください。	履修学生数 7/25時点の履修者数 7/25時点の履修者数(修習者)		
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			
56			
57			
58			
59			
60			
61			
62			
63			
64			
65			
66			
67			
68			
69			
70			
71			
72			
73			
74			
75			
76			
77			
78			
79			
80			
81			
82			
83			
84			
85			
86			
87			
88			
89			
90			
91			
92			
93			
94			
95			
96			
97			
98			
99			
100			

※この表の右の欄は、学科(履修者)の
その他(修習者)を参照

学科(履修者)

学科(履修者)

学科(履修者)	内訳	イ	エ
※学科(履修者)分類は必ずこの順序で、各その他(修習者)に該当する履修者(修習者)を記述し、7/25時点の履修者数(修習者)を記述してください。学年(履修者本人が所属している学年)を記述し、その学年の履修者数、7/25時点の履修者数、7/25時点の履修者数(修習者)を記述してください。7/25時点の履修者数(修習者)を記述してください。	履修学生数 7/25時点の履修者数 7/25時点の履修者数(修習者)		
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			
56			
57			
58			
59			
60			
61			
62			
63			
64			
65			
66			
67			
68			
69			
70			
71			
72			
73			
74			
75			
76			
77			
78			
79			
80			
81			
82			
83			
84			
85			
86			
87			
88			
89			
90			
91			
92			
93			
94			
95			
96			
97			
98			
99			
100			

※この表の右の欄は、学科(履修者)の
その他(修習者)を参照

学科料

学科(履修者)	内訳	イ	エ
※学科(履修者)分類は必ずこの順序で、各その他(修習者)に該当する履修者(修習者)を記述し、7/25時点の履修者数(修習者)を記述してください。学年(履修者本人が所属している学年)を記述し、その学年の履修者数、7/25時点の履修者数、7/25時点の履修者数(修習者)を記述してください。7/25時点の履修者数(修習者)を記述してください。	履修学生数 7/25時点の履修者数 7/25時点の履修者数(修習者)		
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			
56			
57			
58			
59			
60			
61			
62			
63			
64			
65			
66			
67			
68			
69			
70			
71			
72			
73			
74			
75			
76			
77			
78			
79			
80			
81			
82			
83			
84			
85			
86			
87			
88			
89			
90			
91			
92			
93			
94			
95			
96			
97			
98			
99			
100			

※この表の右の欄は、学科料の
その他(修習者)を参照

- ※この表に修習者数を記載してはならない科目がある場合は、修習者数を「0」と記載してください。
- ※この表に修習者数を記載してはならない科目がある場合は、修習者数を「0」と記載してください。
- ※この表に修習者数を記載してはならない科目がある場合は、修習者数を「0」と記載してください。

6. 支援について（平成23年度に障害学生が在籍している場合に回答してください。）

- (1) 授業支援（平成23年度実施（予定含む）についてご回答ください。）
 ① 学内で行なっている支援について、障害種別に該当欄に「1」を記入してください。
 行っていない支援の欄は空欄のままで結構です。

【記入上の注意】 障害種名の欄「白文字」になっているのは、他シートへの回答で「支援障害学生が1人以上在籍する」となっている障害種です。それらの「支援障害学生が受けている支援方法に必ず「1」を記入してください。

支援方法	支援者	障害種別				
		視覚・聴覚・障害	聴覚・言語・障害	肢体・不自由・障害	病弱・重複	その他
1 点訳・墨訳	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
2 教材のテキストデータ化	学生 外部(支援組織、ボランティア)					
3 教材の拡大	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
4 ガイドヘルプ	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
5 リーディングサービス	学生 外部(支援組織、ボランティア)					
6 手話通訳	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
7 ノートテイク	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
8 ハンコンテイク	学生 外部(支援組織、ボランティア)					
9 デジタル教材字幕付け・文字起こし	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
10 チャット・又はチャット・リアクションの活用	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
11 試験時間延長・別室受験						
12 障害方法配慮						
13 ハソコンの普及使用許可						
14 注意事項等文書伝達						
15 使用放棄配慮						
16 実技・実習配慮						
17 教室内座席配慮						
18 FM補聴器/マイク使用						
19 専用知・イス・スベース確保						
20 席み上げソフト使用						
21 講義内容録音許可						
22 休講室の確保						

- ② 上記以外の授業支援がありましたら、その支援方法を記入してください。
 また、支援者をリストから選び、該当する障害種の欄に「1」を記入してください。

支援方法	支援者	障害種別				
		視覚・聴覚・障害	聴覚・言語・障害	肢体・不自由・障害	病弱・重複	その他
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						

- (2) 授業以外の支援（平成23年度実施（予定含む）についてご回答ください。）
 授業に関するもの以外の支援を行っている場合は、その支援内容と支援者（発達障害を除く）を記入してください。

※発達障害について①3、発達障害について①シートにご記入ください。

【記入上の注意】 障害種名の欄「白文字」になっているのは、「5. 障害学生数」シートへの回答で「支援障害学生」が1人以上在籍するとなっている障害種です。それらの「支援障害学生」が受けている授業支援以外の支援がある場合に「1」を記入してください。

支援方法	障害種別				
	視覚・聴覚・障害	聴覚・言語・障害	肢体・不自由・障害	病弱・重複	その他
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					

次に「7. 意見・要望」シートをご記入ください。

7. 意見、要望 (得意のある学生の存続の判断に関わらずご回答ください)

(1) 障害学生の修学支援について、課題と感じられていること、お困りになっていることがありましたら、ご記入ください。

Blank text area for student feedback.

(2) 障害学生の選抜、就労、キャリア教育等に関して、課題と感じられていることがありましたら、ご記入ください。

Blank text area for student feedback.

(3) 日本学生支援機構の障害学生修学支援の取組について、ご意見、ご要望をご記入ください。

Blank text area for student feedback.

◆ご協力ありがとうございました◆

ご記入内容を再度ご確認ください。ご質問の際は、お問い合わせ先(メール)をJASSCOまでメールにてご連絡ください。

【追加記入用】

【記入上の注意】 以下は、他シートの該当欄に記入しきれなかった内容を記入していただくためのリストです。本来の該当欄に記入しきれない場合のみご利用ください。

1. 学生数・活動や取組 (2)-② 障害学生支援に関連する障壁(ボランティア等)を実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

1. 学生数・活動や取組 (2)-③ 障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイカー養成等)を実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

1. 学生数・活動や取組 (2)-④ 障害学生支援に関する講座・講演等イベントを実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

1. 学生数・活動や取組 (2)-⑤ 障害学生支援に関する(学内)教員研修(FD等)を実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

1. 学生数・活動や取組 (2)-⑥ 障害学生支援に関する(学内)職員研修(SD等)を実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

1. 学生数・活動や取組 (2)-⑦ 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣を実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

2. 入学者選抜 (2)-② ①で記入した、その他(診断書者)の内訳(障害名別)をご記入ください。

Table with columns for disability types and counts.

2. 入学者選抜 (2)-④ 平成29年度入学者選抜における特別措置のうち、大学入試センター「身体障害者等に係る受験特別措置」内容以外の特別措置を行なった場合、その内容を記入してください。

Table for special measures with columns for measure type and count.

< 調査票 >

(高等専門学校用)

※ 日本学生支援機構のホームページからダウンロードできます。
http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/chosa11.html

平成23年度(2011年度) 大学、短期大学及び高等専門学校における履修のある学生の修学支援に関する実態調査 (高等専門学校用)

【記入上の注意】
 1 調査対象は高等専門学校に在籍する学生に限りますが、学校事務局が実施できない場合は、増設する等の理由でご回答ください。
 2 調査対象を記入できない場合は、学校事務局が実施できません。実施できない場合は、理由を記載してください。(例、×専修、○専修型)

1) 学校名	No.	2) 学生生活活動の担当事業	3) 調査年度	4) 調査年度
5) 担当部署	6) 担当部署	7) 担当部署	8) 担当部署	9) 担当部署

※本調査の回答に関するお問い合わせは、本調査実施の担当課にお願いいたします。ご回答が完了した場合はご連絡させていただきます。

1. 学生数、活動や取組 (履修のある学生の在籍の情報を正確に回答してください)

【記入上の注意】
 1 該当する学生に該当しない場合は、欄に記入しない欄は空白のままにしてください。
 2 調査対象を記入できない場合は、理由を記載してください。理由を記載しない場合は、調査対象を記入できないと見做されます。
 3 記入する上、実施が完了する場合は、欄に記入しない欄は空白のままにしてください。実施が完了しない場合は、調査対象を記入できないと見做されます。

全学生数	専修学生数	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度

(2) 修学支援に関する活動や取組 (平成23年度(実施) (専修を含む)についてご回答ください)

① 履修学生修学支援に関して、以下の活動や取組を実施している場合は、「1」を記入してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

② 履修学生修学支援に関連する講義(ボランティア等)を実施している場合、その内容を記入してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

③ 履修学生修学支援に関する学生向け研修(ノーティカ一巻成等)を実施している場合、その内容を記入してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

④ 履修学生修学支援に関する講義、講演等イベントを実施している場合、その内容を記入してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

⑤ 履修学生修学支援に関する(学内)教員研修(FD等)を実施している場合、その内容を記入してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

⑥ 履修学生修学支援に関する(学内)教員研修(SD等)を実施している場合、その内容を記入してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

⑦ 履修学生修学支援に関する学外研修への教員派遣を実施している場合、その内容を記入してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

⑧ 履修学生支援の主たる担当部署を記入してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

※本調査の実施は高等専門学校にのみであり、ご回答が完了した場合はご連絡させていただきます。

※履修のため一学年休学を記入してください。
 ※履修(記入)した学校名と重複している上、セルが赤く表示されます。ご確認ください。

次に2. 入学支援について回答してください。

2. 入学支援 (履修のある学生の在籍の有無に関わらず2回答ください)

(1) 入学支援における取組

① 入学支援における取組(特別支援)を、入学支援システムページに記載している場合は、欄に「1」を記入してください。
 【記入上の注意】 該当する欄に「1」を記入してください。欄に記入していない場合は、欄に「0」を記入してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

(2) 平成23年度入学支援に関する特別支援(特別支援)を、入学支援システムページに記載している場合は、欄に「1」を記入してください。

【記入上の注意】
 1 該当する受入枠の欄に「1」を記入し、受入期間を明記してください。その期間を記入してください。
 2 受入期間を明記せず、受入期間を明記しない場合は、欄に「0」を記入してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

(3) 平成23年度入学支援における特別支援

① 平成23年度入学支援において、特別支援を行なった支援者、関係者、関係者をご記入ください。
 【記入上の注意】
 1 専修(通学課程)、専修(通学課程)、専修(通学課程)、専修(通学課程)を記入してください。
 2 その他(特別支援)は専修(通学課程)、専修(通学課程)、専修(通学課程)を記入してください。
 3 専修(通学課程)は専修(通学課程)、専修(通学課程)を記入してください。
 4 専修(通学課程)は専修(通学課程)、専修(通学課程)を記入してください。
 5 専修(通学課程)は専修(通学課程)、専修(通学課程)を記入してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

② ①で記入した、その他(特別支援)の内訳(部署名)をご記入ください。

【記入上の注意】 最大10行まで記載できます。10行以上ある場合は、追加記入シートに記入してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

③ 平成23年度入学支援における特別支援(特別支援)を、入学支援システムページに記載している場合は、欄に「1」を記入してください。

【記入上の注意】
 1 専修(通学課程)は専修(通学課程)、専修(通学課程)を記入してください。
 2 専修(通学課程)は専修(通学課程)、専修(通学課程)を記入してください。
 3 専修(通学課程)は専修(通学課程)、専修(通学課程)を記入してください。
 4 専修(通学課程)は専修(通学課程)、専修(通学課程)を記入してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

次に3. 入学支援について回答してください。

3. 発達障害について（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）

(1) 発達障害のある学生への支援における課題

① 発達障害のある学生への支援は、高等教育機関によっても授業の課題の1つと見られます。課題と捉えられている事項に記入してください。(複数回答可)

Table with 2 columns: 課題 (課題) and 人数 (人数). Rows include: 1 課題と捉えられているものに関し記入してください, 2 その他 関し記入してください, 教員への発達障害のある学生への対応, 教員への発達障害のある学生への理解, 周囲の学生の発達障害のある学生への理解, 発達障害のある学生の出席者の把握, 支援体制・影響の把握, その他.

② 発達障害があることの診断書はないが発達障害ではないかと思われる、なんらかの支援(教育上の配慮等)を行っている学生がいる場合、その数を記入してください。

【記入上の注意】上記1と2の区分は各大学ごとに異なります。詳細は各校基本組織の付録Jの28ページ2 学科系統分類表の(大分類)をご確認ください。

Table with 5 columns: 学科別/障害種別, ア, イ, ウ, エ. Rows include: 人文科学, 社会科学, 理学, 工学, 農学, 保健(医・歯学), 保健(医・歯学を除く), 情報, 家政, 教育, 芸術, その他, 計.

Table with 5 columns: 学科別/障害種別, ア, イ, ウ, エ. Rows include: 人文科学, 社会科学, 理学, 工学, 農学, 保健(医・歯学), 保健(医・歯学を除く), 情報, 家政, 教育, 芸術, その他, 計.

(2) 発達障害のある学生への支援
① 発達障害のある学生に対して学内で行なっている支援のうち、授業支援以外で行なっている支援の欄に「は」を記入してください。カウゼリングの中で行なっている場合も含みます。授業支援については、「6. 支援」についてシート(1)～①に記入してください。

【記入上の注意】
1 「6. 発達障害のある学生への支援」の項に支援種別が計上されていると「ア. 診断書無し(白文字)」文字で表示されます。授業支援以外に行なっている支援は「イ. 診断書有り(青文字)」文字で表示されます。授業支援以外に行なっている支援は「は」で表示されます。
2 「1」～「3」までの支援は記載を行なっている学生を計上した場合は、「イ. 診断書無し(白文字)」文字で表示されます。授業支援以外に行なっている支援は「は」で表示されます。
3 両方に記入している場合は、両方の欄に「は」を記入してください。

Table with 2 columns: 支援方法, 診断書有り/無し. Rows include: 1 学習指導(履修方法・学習方法等), 2 連絡・相談指導, 3 体系的スキル指導(導入講座・自己管理等), 4 個別支援(個別指導・個別相談等), 5 発達障害支援センター等の連携, 6 特別支援学卒との連携, 7 出陣化との連携, 8 専門家(臨床心理士等)による心理療法(※)としてのカウンセリング, 9 その他(※)。

Table with 2 columns: 支援方法, 診断書有り/無し. Rows include: 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17.

5. 障害学生数(障害種別) (平成23年度、学部(通学課程)に障害学生が在籍している場合)に一回該当しない)

① 学部(通学課程)全体の障害学生数

【記入上の注意】
1 その他(診断書)には、該当する障害学生の合計数を記入し、その内訳(例) 統合失調症、パニック障害、高次脳機能障害
2 等特については、「E. 障害学生数」その他(診断書)の内訳シートに、障害名ごとに詳細数を記入してください。
3 この表には、入力すると承認されるセルが少なくなります。診断書が承認されたセルが少なくなると、この表は承認されません。
【その他の診断書】
「その他(診断書)」欄は、「E. 障害学生数」その他(診断書)の内訳シートとご記入いただく白紙に限り、それぞれ該当する項目を記入し、赤いセルが現れないようご確認下さい。

Table with columns for disability types (e.g., 発達障害(診断書種別), LD, ADHD) and rows for academic years (7/2025, 7/2024, 7/2023, 7/2022, 7/2021, 7/2020, 7/2019, 7/2018, 7/2017, 7/2016, 7/2015). Includes a total row at the bottom.

② 身体障害と発達障害の重複について

【記入上の注意】身体障害と発達障害の重複している学生について、その障害種別の数を記入して下さい。
なお、該当の学部については、この表以外で身体障害学生として計上し、発達障害及び重複の項には計上しないて下さい。

Table similar to the previous one, but with an additional column for '重複' (Overlap) for each disability type.

③ 学科(専攻)別障害学生数

【記入上の注意】 学科(専攻)分欄は各大学二に課せられています。ご記入の際は本校基本課取の手の28ページの2. 学科系統分欄表の(5)分欄)をご確認ください。

Table showing disability counts by department (A. 人文学部 to F. 看護(看護学)) and disability type.

Table showing disability counts by department (G. 看護(看護学) to L. その他) and disability type.

次のシート
○その他(診断書)に障害学生が記入した場合は、「E. 障害学生数」その他(診断書)の内訳シートにも記入下さい。
○その他(診断書)に障害学生が記入した場合は、「E. 障害学生数」その他(診断書)の内訳シートにも記入下さい。
○障害学生が在籍している欄すべてに記入が義務づけられています。⇒「E. 支援について」シートをご記入下さい。

5. 障害学生数—E. 専攻科—E. 専攻科—平成26年度、専攻科に障害学生が在籍している場合に二回書くはよい

(1) 障害学生数(障害種別)

① 専攻科全体の障害学生数

【記入上の注意】

- 1 その他(診断書有)には、該当する障害学生数の合計数を記入し、その内訳(例：統合失調症、パニック障害、高度脳機能障害)を併記する。その他(診断書有)の内訳(例：統合失調症、パニック障害、高度脳機能障害)を併記すること(詳細は記入してください)。
- 2 その他(診断書有)には、該当する障害学生数の合計数を記入し、その内訳(例：統合失調症、パニック障害、高度脳機能障害)を併記する。その他(診断書有)の内訳(例：統合失調症、パニック障害、高度脳機能障害)を併記すること(詳細は記入してください)。
- 3 この欄には、入力するべきとされるセルが示されています。セルが赤い場合は、そのセルに入力すべき項目が赤字で表示されます。【その他(診断書有)】欄は、「E. 障害学生数」の内訳(例：統合失調症、パニック障害、高度脳機能障害)を併記すること(詳細は記入してください)。

障害種別	A. 人文学部		B. 総合工学部		C. 工学部		D. 工学部		E. 専攻科		F. 専攻科(工学部)	
	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数
発達障害(診断書有)												
LD												
ADHD												
その他(診断書有)												
計												

② 身体障害と発達障害の重複について

【記入上の注意】身体障害と発達障害の重複している学生について、その重複種別の数を記入してください。なお、該当の学号については、この表以外に身体障害学生として計上し、発達障害及び重複の項には計上しないて下さい。

障害種別	A. 人文学部		B. 総合工学部		C. 工学部		D. 工学部		E. 専攻科		F. 専攻科(工学部)	
	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数
発達障害(診断書有)												
ADHD												
その他(診断書有)												
計												

③ 学域(専攻)別障害学生数

【記入上の注意】学域(専攻)別は各大学二に課せらる。二記入の際は学校基本調査の「学域」の2. 学域系統分類表の「学域」まで記載ください。

障害種別	A. 人文学部		B. 総合工学部		C. 工学部		D. 工学部		E. 専攻科		F. 専攻科(工学部)	
	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数	7/0/25 障害学生数	7/0/25 支障 体学数
発達障害(診断書有)												
LD												
ADHD												
その他(診断書有)												
計												

次のシート
○その他(診断書有)には、該当する障害学生数の合計数を記入し、その内訳(例：統合失調症、パニック障害、高度脳機能障害)を併記すること(詳細は記入してください)。
○その他(診断書有)には、該当する障害学生数の合計数を記入し、その内訳(例：統合失調症、パニック障害、高度脳機能障害)を併記すること(詳細は記入してください)。
○その他(診断書有)には、該当する障害学生数の合計数を記入し、その内訳(例：統合失調症、パニック障害、高度脳機能障害)を併記すること(詳細は記入してください)。

5. 障害学生とその取組(修習者)の内訳 (平成23年度に障害学生が在籍している科目に回答ください)

(1) 障害学生数とその内訳

- 1. 1学年1科目に1科目以上の履修を認められており、履修が認められていない。また、履修が認められていない科目は、履修が認められていない科目として扱われる。
- 2. 学年毎に履修する科目数をカウントする。また、1科目につき1科目として扱われる。1科目につき1科目として扱われる。1科目につき1科目として扱われる。
- 3. 1科目につき1科目として扱われる。1科目につき1科目として扱われる。1科目につき1科目として扱われる。

修習者(修習者数)

学年(履修者)	科目	ア	イ
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			
56			
57			
58			
59			
60			
61			
62			
63			
64			
65			
66			
67			
68			
69			
70			
71			
72			
73			
74			
75			
76			
77			
78			
79			
80			
81			
82			
83			
84			
85			
86			
87			
88			
89			
90			
91			
92			
93			
94			
95			
96			
97			
98			
99			
100			

※この表の右のセルに、学年(履修者数)の合計を記載してください。

修習者

(2) 障害学生数とその内訳

- 1. 1学年1科目に1科目以上の履修を認められており、履修が認められていない。また、履修が認められていない科目は、履修が認められていない科目として扱われる。
- 2. 学年毎に履修する科目数をカウントする。また、1科目につき1科目として扱われる。1科目につき1科目として扱われる。1科目につき1科目として扱われる。
- 3. 1科目につき1科目として扱われる。1科目につき1科目として扱われる。1科目につき1科目として扱われる。

修習者(修習者数)

学年(履修者)	科目	ア	イ
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			
56			
57			
58			
59			
60			
61			
62			
63			
64			
65			
66			
67			
68			
69			
70			
71			
72			
73			
74			
75			
76			
77			
78			
79			
80			
81			
82			
83			
84			
85			
86			
87			
88			
89			
90			
91			
92			
93			
94			
95			
96			
97			
98			
99			
100			

※この表の右のセルに、学年(履修者数)の合計を記載してください。

6. 支援について（平成23年度に障害学生が在籍している場合に回答してください。）

- (1) 授業支援（平成23年度実施（予定含む）についてご回答ください。）
 ① 学内で行なっている支援について、障害種別に該当欄に「1」を記入してください。
 行っていない支援の欄は空欄のままで結構です。

【記入上の注意】障害種名の欄「白文字」になっているのは、他シートへの回答で「支援障害学生が1人以上在籍する」となっている障害種です。それらの「支援障害学生」が受けている支援方法に必ず「1」を記入してください。

支援方法	支援者	障害種別				
		聴覚・言語障害	肢体・不自由	病弱・虚弱	重複	その他
1 点訳・墨訳	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
2 教材のテキストデータ化	学生 外部(支援組織、ボランティア)					
3 教材の拡大	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
4 ガイドヘルプ	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
5 リーディングサービス	学生 外部(支援組織、ボランティア)					
6 手話通訳	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
7 ノートテイク	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
8 ハンコンテイク	学生 外部(支援組織、ボランティア)					
9 デジタル教材字幕付付・文字起こし	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
10 手・カメラ又はスマートフォン・タブレットの活用	教職員 学生 外部(支援組織、ボランティア)					
11 試験時間延長・別室受験						
12 障害方法配慮						
13 ハソコンの貸し出し使用許可						
14 注意事項等文書伝達						
15 使用放棄配慮						
16 実技・実習配慮						
17 教室内座席配慮						
18 F/W補聴器/マイク使用						
19 専用机・イス・スベース確保						
20 読み上げソフト使用						
21 講義内容録音許可						
22 休憩室の確保						

- ② 上記以外の授業支援がありましたら、その支援方法を記入してください。
 また、支援者をリストから選び、該当する障害種の欄に「1」を記入してください。

支援方法	支援者	障害種別				
		聴覚・言語障害	肢体・不自由	病弱・虚弱	重複	その他
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						

- (2) 授業以外の支援（平成23年度実施（予定含む）についてご回答ください。）
 授業に関するもの以外の支援を行っている場合は、その支援内容と支援者（発達障害を除く）を記入してください。

※発達障害について①3、発達障害について①シートにご記入ください。

【記入上の注意】障害種名の欄「白文字」になっているのは、「5. 障害学生数」シートへの回答で「支援障害学生」が1人以上在籍するとなっている障害種です。それらの「支援障害学生」が受けている授業支援以外の支援がある場合に「1」を記入してください。

支援方法	障害種別				
	聴覚・言語障害	肢体・不自由	病弱・虚弱	重複	その他
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					

次に「7. 意見・要望」シートをご記入ください。

7. 意見、要望 (得意のある学生の存続の判断に関わらずご回答ください)

(1) 障害学生の修学支援について、課題と感じられていること、お困りになっていることがありましたら、ご記入ください。

Blank text area for student feedback.

(2) 障害学生の選抜、就労、キャリア教育等に関して、課題と感じられていることがありましたら、ご記入ください。

Blank text area for student feedback.

(3) 日本学生支援機構の障害学生修学支援の取組について、ご意見、ご要望をご記入ください。

Blank text area for student feedback.

◆ご協力ありがとうございました◆

ご記入内容を再度ご確認ください。ご質問の上、障がいハブワードでログインしたファイル名をJASCOまでメールにてご連絡ください。

【追加記入用】

【記入上の注意】 以下は、他シートの該当欄に記入しきれなかった内容を記入していただくためのリストです。本来の該当欄に記入しきれない場合のみご利用ください。

1. 学生数・活動や取組 (2)-② 障害学生支援に関連する障壁(オンライン等)を実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

1. 学生数・活動や取組 (2)-③ 障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイカー養成等)を実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

1. 学生数・活動や取組 (2)-④ 障害学生支援に関する講座・講演等イベントを実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

1. 学生数・活動や取組 (2)-⑤ 障害学生支援に関する(学内)教員研修(FD等)を実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

1. 学生数・活動や取組 (2)-⑥ 障害学生支援に関する(学内)職員研修(SD等)を実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

1. 学生数・活動や取組 (2)-⑦ 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣を実施している場合、その内容を記入してください。

Table with 2 columns: 名称, 参加人数

2. 入学者選抜 (2)-② ①で記入した、その他(診断書者)の内訳(障害名別)をご記入ください。

Table with columns for disability types and counts.

2. 入学者選抜 (2)-④ 平成29年度入学者選抜における特別措置のうち、大学入試センター「身体障害者等に係る受験特別措置」内容以外の特別措置を行なった場合、その内容を記入してください。

Table for special measures with columns for measure type and count.

平成 23 年度（2011 年度）
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

平成 24 年 2 月

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部 特別支援課

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1

TEL 03-5520-6176 FAX 03-5520-6051

E-mail:tokubetsushien@jasso.go.jp